

法人単位資金収支計算書

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	547,745,000	529,638,385	18,106,615	
	経常経費寄附金収入	70,000	1,072,000	-1,002,000	
	受取利息配当金収入	100,000	162,490	-62,490	
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入		0	0	
	その他の収入	2,945,000	4,402,439	-1,457,439	
	事業活動収入計（１）	550,860,000	535,275,314	15,584,686	
	支出				
	人件費支出	416,011,000	412,899,202	3,111,798	
	事業費支出	108,679,000	93,588,983	15,090,017	
	事務費支出	35,673,000	27,703,211	7,969,789	
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息支出		0	0	
	その他の支出	168,000	140,000	28,000	
	流動資産評価損等による資金減少額		0	0	
	事業活動支出計（２）	560,531,000	534,331,396	26,199,604	
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）	-9,671,000	943,918	-10,614,918	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	12,093,000	5,000,000	7,093,000	
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入		0	0	
	施設整備等収入計（４）	12,093,000	5,000,000	7,093,000	
	支出				
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出		0	0	
	固定資産取得支出	16,727,000	16,203,839	523,161	
その他の活動による収支	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,979,000	4,167,240	-188,240	
	施設整備等支出計（５）	20,706,000	20,371,079	334,921	
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）	-8,613,000	-15,371,079	6,758,079	
	収入				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金収入		0	0	
	社会福祉連携推進業務長期貸付金回収収入		0	0	
	積立資産取崩収入	7,800,000	11,370,752	-3,570,752	
その他の活動による収支	その他の活動収入計（７）	7,800,000	11,370,752	-3,570,752	
	支出				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出		0	0	
	社会福祉連携推進業務長期貸付金支出		0	0	
	積立資産支出	4,202,000	3,601,080	600,920	
	その他の活動による支出		0	0	
	その他の活動支出計（８）	4,202,000	3,601,080	600,920	
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）	3,598,000	7,769,672	-4,171,672	
予備費支出（１０）		1,260,000		0	
		-1,260,000			
当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）		-14,686,000	-6,657,489	-8,028,511	
前期末支払資金残高（１２）			156,122,631	-156,122,631	
当期末支払資金残高（１１）＋（１２）		-14,686,000	149,465,142	-164,151,142	

資金収支内訳表

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
事業活動による収支	収入						
	介護保険事業収入	529,638,385	0	0	529,638,385		529,638,385
	経常経費寄附金収入	1,072,000	0	0	1,072,000		1,072,000
	受取利息配当金収入	162,490	0	0	162,490		162,490
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入	0	0	0	0		0
	その他の収入	4,402,439	0	0	4,402,439		4,402,439
	事業活動収入計（１）	535,275,314	0	0	535,275,314	0	535,275,314
	支出						
	人件費支出	412,899,202	0	0	412,899,202		412,899,202
	事業費支出	93,588,983	0	0	93,588,983		93,588,983
施設整備等による収支	事務費支出	27,703,211	0	0	27,703,211		27,703,211
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息支出	0	0	0	0		0
	その他の支出	140,000	0	0	140,000		140,000
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	0		0
	事業活動支出計（２）	534,331,396	0	0	534,331,396	0	534,331,396
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）	943,918	0	0	943,918	0	943,918
	収入						
	施設整備等補助金収入	5,000,000	0	0	5,000,000		5,000,000
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入	0	0	0	0		0
	施設整備等収入計（４）	5,000,000	0	0	5,000,000	0	5,000,000
その他の活動による収支	支出						
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	0		0
	固定資産取得支出	16,203,839	0	0	16,203,839		16,203,839
	ファイナンス・リース債務の返済支出	4,167,240	0	0	4,167,240		4,167,240
	施設整備等支出計（５）	20,371,079	0	0	20,371,079	0	20,371,079
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）	-15,371,079	0	0	-15,371,079	0	-15,371,079
	収入						
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金収入	0	0	0	0		0
	社会福祉連携推進業務長期貸付金回収収入	0	0	0	0		0
	積立資産取崩収入	11,370,752	0	0	11,370,752		11,370,752
その他の活動による収支	その他の活動収入計（７）	11,370,752	0	0	11,370,752	0	11,370,752
	支出						
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出	0	0	0	0		0
	社会福祉連携推進業務長期貸付金支出	0	0	0	0		0
	積立資産支出	3,601,080	0	0	3,601,080		3,601,080
	その他の活動による支出	0	0	0	0		0
	その他の活動支出計（８）	3,601,080	0	0	3,601,080	0	3,601,080
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）	7,769,672	0	0	7,769,672	0	7,769,672
	当期資金収支差額合計（１０）＝（３）＋（６）＋（９）	-6,657,489	0	0	-6,657,489	0	-6,657,489
	前期末支払資金残高（１１）	156,122,631	0	0	156,122,631		156,122,631
	当期末支払資金残高（１０）＋（１１）	149,465,142	0	0	149,465,142	0	149,465,142

第一号第三様式（第十七条第四項関係）

社会福祉事業区分 資金収支内訳表

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		比謝川の里	合計	内部取引消去	事業区分合計
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	529,638,385	529,638,385		529,638,385
	経常経費寄附金収入	1,072,000	1,072,000		1,072,000
	受取利息配当金収入	162,490	162,490		162,490
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入		0		0
	その他の収入	4,402,439	4,402,439		4,402,439
	事業活動収入計（１）	535,275,314	535,275,314	0	535,275,314
	支出				
	人件費支出	412,899,202	412,899,202		412,899,202
	事業費支出	93,588,983	93,588,983		93,588,983
	事務費支出	27,703,211	27,703,211		27,703,211
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息支出		0		0
施設整備等による収支	その他の支出	140,000	140,000		140,000
	流動資産評価損等による資金減少額		0		0
	事業活動支出計（２）	534,331,396	534,331,396	0	534,331,396
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）	943,918	943,918	0	943,918
	収入				
	施設整備等補助金収入	5,000,000	5,000,000		5,000,000
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入		0		0
	施設整備等収入計（４）	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000
	支出				
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出		0		0
	固定資産取得支出	16,203,839	16,203,839		16,203,839
	ファイナンス・リース債務の返済支出	4,167,240	4,167,240		4,167,240
その他の活動による収支	施設整備等支出計（５）	20,371,079	20,371,079	0	20,371,079
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）	-15,371,079	-15,371,079	0	-15,371,079
	収入				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金収入		0		0
	社会福祉連携推進業務長期貸付金回収収入		0		0
	積立資産取崩収入	11,370,752	11,370,752		11,370,752
	その他の活動収入計（７）	11,370,752	11,370,752	0	11,370,752
	支出				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出		0		0
	社会福祉連携推進業務長期貸付金支出		0		0
	積立資産支出	3,601,080	3,601,080		3,601,080
	その他の活動による支出		0		0
その他の活動による収支	その他の活動支出計（８）	3,601,080	3,601,080	0	3,601,080
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）	7,769,672	7,769,672	0	7,769,672
	当期資金収支差額合計（１０）＝（３）＋（６）＋（９）	-6,657,489	-6,657,489	0	-6,657,489
	前期末支払資金残高（１１）	156,122,631	156,122,631		156,122,631
	当期末支払資金残高（１０）＋（１１）	149,465,142	149,465,142	0	149,465,142

第一号第四様式（第十七条第四項関係）

比謝川の里拠点区分 資金収支計算書

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	介護保険事業収入	547,745,000	529,638,385	18,106,615	
	施設介護料収入	234,400,000	227,668,264	6,731,736	
	介護報酬収入	207,050,000	202,892,496	4,157,504	
	利用者負担金収入（公費）	2,100,000	1,250,776	849,224	
	利用者負担金収入（一般）	25,250,000	23,524,992	1,725,008	
	居宅介護料収入	108,329,000	100,127,710	8,201,290	
	介護報酬収入	93,918,000	87,885,136	6,032,864	
	介護予防報酬収入	334,000	405,423	-71,423	
	介護負担金収入（公費）	1,001,000	786,642	214,358	
	介護負担金収入（一般）	12,854,000	11,005,462	1,848,538	
	介護予防負担金収入（公費）	220,000	25,545	194,455	
	介護予防負担金収入（一般）	2,000	19,502	-17,502	
	地域密着型介護料収入	89,139,000	88,415,695	723,305	
	介護報酬収入	74,180,000	72,727,528	1,452,472	
	介護予防報酬収入	3,600,000	4,116,618	-516,618	
	介護負担金収入（公費）	647,000	1,265,923	-618,923	
	介護負担金収入（一般）	10,215,000	9,843,271	371,729	
	介護予防負担金収入（公費）	23,000	124,416	-101,416	
	介護予防負担金収入（一般）	474,000	337,939	136,061	
	居宅介護支援介護料収入	16,900,000	15,303,470	1,596,530	
	居宅介護支援介護料収入	16,900,000	15,303,470	1,596,530	
	介護予防・日常生活支援総合事業収入	6,287,000	4,597,777	1,689,223	
	事業費収入	5,414,000	4,082,147	1,331,853	
	事業負担金収入（公費）	105,000	37,359	67,641	
	事業負担金収入（一般）	768,000	478,271	289,729	
	利用者等利用料収入	88,112,000	83,400,441	4,711,559	
	施設サービス利用料収入	125,000	198,070	-73,070	
	居宅介護サービス利用料収入	231,000	433,710	-202,710	
	地域密着型介護サービス利用料収入	2,495,000	2,159,193	335,807	
	食費収入（公費）	670,000	437,758	232,242	
	食費収入（一般）	35,280,000	35,905,192	-625,192	
	食費収入（特定）	18,530,000	14,875,622	3,654,378	
	居住費収入（公費）	1,000		1,000	
	居住費収入（一般）	19,540,000	19,106,442	433,558	
	居住費収入（特定）	11,240,000	10,284,454	955,546	
	その他の事業収入	4,578,000	10,125,028	-5,547,028	
	補助金事業収入（公費）	2,470,000	7,760,058	-5,290,058	
	受託事業収入（公費）	1,290,000	1,407,509	-117,509	
	受託事業収入（一般）	8,000	18,961	-10,961	
	その他の事業収入	810,000	938,500	-128,500	
	（保険等査定減）			0	
	経常経費寄附金収入	70,000	1,072,000	-1,002,000	
	受取利息配当金収入	100,000	162,490	-62,490	
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収入			0	
	その他の収入	2,945,000	4,402,439	-1,457,439	
	受入研修費収入	97,000	50,000	47,000	
	利用者等外給食費収入	198,000	140,000	58,000	
	雑収入	2,650,000	4,212,439	-1,562,439	
	一般	2,650,000	2,611,279	38,721	
	内部取引		1,601,160	-1,601,160	
	事業活動収入計（1）	550,860,000	535,275,314	15,584,686	
	人件費支出	416,011,000	412,899,202	3,111,798	
	役員報酬支出	7,590,000	6,735,000	855,000	
	職員給料支出	170,583,000	167,668,665	2,914,335	
	職員賞与支出	40,391,000	40,371,719	19,281	
	非常勤職員給与支出	140,267,000	139,285,856	981,144	
	退職給付支出	1,127,000	5,021,072	-3,894,072	
	法定福利費支出	56,053,000	53,816,890	2,236,110	
	事業費支出	108,699,000	93,588,983	15,110,017	
	給食費支出	38,398,000	37,253,708	1,144,292	
	介護用品費支出	6,206,000	5,807,593	398,407	
	医薬品費支出	46,000		46,000	
	保健衛生費支出	3,363,000	2,580,088	782,912	

支出	医療費支出	77,000	38,781	38,219	
	被服費支出	212,000	16,500	195,500	
	教養娯楽費支出	2,493,000	1,396,843	1,096,157	
	日用品費支出	2,249,000	1,711,493	537,507	
	本人支給金支出			0	
	水道光熱費支出	22,482,000	19,508,309	2,973,691	
	燃料費支出	4,080,000	2,386,244	1,693,756	
	消耗器具備品費支出	10,927,000	8,123,268	2,803,732	
	保険料支出	2,179,000	1,634,542	544,458	
	賃借料支出	10,314,000	8,702,295	1,611,705	
	一般	10,314,000	7,101,135	3,212,865	
	内部取引		1,601,160	-1,601,160	
	葬祭費支出			0	
	車輛費支出	5,652,000	4,429,319	1,222,681	
	雑支出	21,000		21,000	
	事務費支出	35,653,000	27,703,211	7,949,789	
	福利厚生費支出	2,938,000	2,452,125	485,875	
	職員被服費支出	538,000	64,371	473,629	
	旅費交通費支出	122,000	41,150	80,850	
	研修研究費支出	1,443,000	785,884	657,116	
	事務消耗品費支出	1,823,000	1,637,171	185,829	
	印刷製本費支出	1,053,000	749,496	303,504	
	修繕費支出	3,484,000	1,152,984	2,331,016	
	通信運搬費支出	2,873,000	2,610,148	262,852	
	会議費支出	117,000	34,846	82,154	
	広報費支出	162,000		162,000	
	業務委託費支出	4,957,000	4,772,920	184,080	
	手数料支出	1,083,000	528,279	554,721	
	土地・建物賃借料支出	8,759,000	8,758,656	344	
	租税公課支出	346,000	271,930	74,070	
	保守料支出	2,963,000	2,918,675	44,325	
	渉外費支出	795,000	329,900	465,100	
	諸会費支出	531,000	303,000	228,000	
	雑支出	1,666,000	291,676	1,374,324	
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息支出			0	
	その他の支出	168,000	140,000	28,000	
	利用者等外給食費支出	168,000	140,000	28,000	
	雑支出			0	
	流動資産評価損等による資金減少額	0	0	0	
	貸倒損失額			0	
	徴収不能額			0	
	事業活動支出計（２）	560,531,000	534,331,396	26,199,604	
	事業活動資金収支差額（３）＝（１）－（２）	-9,671,000	943,918	-10,614,918	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	12,093,000	5,000,000	7,093,000	
	施設整備等補助金収入	12,093,000	5,000,000	7,093,000	
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金収入			0	
	施設整備等収入計（４）	12,093,000	5,000,000	7,093,000	
	支出				
	社会福祉連携推進業務設備資金借入金元金償還支出			0	
	固定資産取得支出	16,727,000	16,203,839	523,161	
	建物取得支出			0	
	車輛運搬具取得支出	2,000,000	1,850,000	150,000	
その他の活動による収支	器具及び備品取得支出	14,727,000	14,353,839	373,161	
	（何）取得支出			0	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	3,979,000	4,167,240	-188,240	
	施設整備等支出計（５）	20,706,000	20,371,079	334,921	
	施設整備等資金収支差額（６）＝（４）－（５）	-8,613,000	-15,371,079	6,758,079	
	収入				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金収入			0	
	社会福祉連携推進業務長期貸付金回収収入			0	
	積立資産取崩収入	7,800,000	11,370,752	-3,570,752	
	退職給付引当資産取崩収入		3,570,752	-3,570,752	
その他の活動による収支	建物建設積立資産取崩収入	7,800,000	7,800,000	0	
	その他の活動収入計（７）	7,800,000	11,370,752	-3,570,752	
	支出				
	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金元金償還支出			0	
	社会福祉連携推進業務長期貸付金支出			0	
	積立資産支出	4,202,000	3,601,080	600,920	
	退職給付引当資産支出	4,202,000	3,601,080	600,920	
	建物建設積立資産支出			0	
	その他の活動による支出	0	0	0	

	長期前払費用			0	
	その他の活動支出計（８）	4,202,000	3,601,080	600,920	
	その他の活動資金収支差額（９）＝（７）－（８）	3,598,000	7,769,672	-4,171,672	
	予備費支出（１０）	1,260,000		0	
		-1,260,000			
	当期資金収支差額合計（１１）＝（３）＋（６）＋（９）－（１０）	-14,686,000	-6,657,489	-8,028,511	
	前期末支払資金残高（１２）		156,122,631	-156,122,631	
	当期末支払資金残高（１１）＋（１２）	-14,686,000	149,465,142	-164,151,142	

第二号第一様式（第二十三条第四項関係）

法人単位事業活動計算書

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	529,638,385	518,390,569	11,247,816
	経常経費寄附金収益	1,072,000	244,721	827,279
	その他の収益	916,320	452,832	463,488
	サービス活動収益計（１）	531,626,705	519,088,122	12,538,583
	費用			
	人件費	413,562,358	400,409,530	13,152,828
	事業費	92,316,381	99,699,074	-7,382,693
	事務費	27,703,211	36,588,651	-8,885,440
	減価償却費	34,793,699	32,792,859	2,000,840
サービス活動増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,481,854	-14,798,651	316,797
	貸倒損失額	0		0
	貸倒引当金繰入	0		0
	徴収不能引当金繰入	0	22,552	-22,552
	サービス活動費用計（２）	553,893,795	554,714,015	-820,220
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）	-22,267,090	-35,625,893	13,358,803
サービス活動増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	162,490	80,228	82,262
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収益	0		0
	その他のサービス活動外収益	1,884,959	-472,689	2,357,648
	サービス活動外収益計（４）	2,047,449	-392,461	2,439,910
	費用			
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息	0		0
	その他のサービス活動外費用	140,000	6,962,815	-6,822,815
	サービス活動外費用計（５）	140,000	6,962,815	-6,822,815
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	1,907,449	-7,355,276	9,262,725
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		-20,359,641	-42,981,169	22,621,528
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	5,000,000	0	5,000,000
	固定資産受贈額	0	0	0
	固定資産売却益	0	0	0
	サービス区分間繰入金収益	6,821,000	0	6,821,000
	サービス区分間固定資産移管収益	0	0	0
	その他の特別収益	22,552	102,734	-80,182
	特別収益計（８）	11,843,552	102,734	11,740,818
	費用			
	資産評価損	0	0	0
特別増減の部	固定資産売却損・処分損	8	44	-36
	国庫補助金等特別積立金積立額	5,000,000	0	5,000,000
	サービス区分間繰入金費用	6,821,000	0	6,821,000
	サービス区分間固定資産移管費用	0	0	0
	その他の特別損失	0	0	0
	特別費用計（９）	11,821,008	44	11,820,964
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	22,544	102,690	-80,146
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		-20,337,097	-42,878,479	22,541,382
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）	152,470,468	160,520,147	-8,049,679
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）	132,133,371	117,641,668	14,491,703
	基本金取崩額（１４）	0	0	0
	その他の積立金取崩額（１５）	7,800,000	34,828,800	-27,028,800
	その他の積立金積立額（１６）	0	0	0
次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		139,933,371	152,470,468	-12,537,097

事業活動内訳表

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	529,638,385			529,638,385		529,638,385
	経常経費寄附金収益	1,072,000			1,072,000		1,072,000
	その他の収益	916,320			916,320		916,320
	サービス活動収益計（１）	531,626,705	0	0	531,626,705	0	531,626,705
	人件費	413,562,358			413,562,358		413,562,358
	事業費	92,316,381			92,316,381		92,316,381
	事務費	27,703,211			27,703,211		27,703,211
	減価償却費	34,793,699			34,793,699		34,793,699
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,481,854			-14,481,854		-14,481,854
	貸倒損失額	0			0		0
	貸倒引当金繰入	0			0		0
	徴収不能引当金繰入	0			0		0
	サービス活動費用計（２）	553,893,795	0	0	553,893,795	0	553,893,795
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）	-22,267,090	0	0	-22,267,090	0	-22,267,090
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	162,490			162,490		162,490
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収益	0			0		0
	その他のサービス活動外収益	1,884,959			1,884,959		1,884,959
	サービス活動外収益計（４）	2,047,449	0	0	2,047,449	0	2,047,449
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息	0			0		0
	その他のサービス活動外費用	140,000			140,000		140,000
	サービス活動外費用計（５）	140,000	0	0	140,000	0	140,000
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	1,907,449	0	0	1,907,449	0	1,907,449
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		-20,359,641	0	0	-20,359,641	0	-20,359,641
特別増減の部	施設整備等補助金収益	5,000,000			5,000,000		5,000,000
	固定資産受贈額	0			0		0
	固定資産売却益	0			0		0
	サービス区分間繰入金収益	6,821,000			6,821,000		6,821,000
	サービス区分間固定資産移管収益	0			0		0
	その他の特別収益	22,552			22,552		22,552
	特別収益計（８）	11,843,552	0	0	11,843,552	0	11,843,552
	資産評価損	0			0		0
	固定資産売却損・処分損	8			8		8
	国庫補助金等特別積立金積立額	5,000,000			5,000,000		5,000,000
	サービス区分間繰入金費用	6,821,000			6,821,000		6,821,000
	サービス区分間固定資産移管費用	0			0		0
	その他の特別損失	0			0		0
	特別費用計（９）	11,821,008	0	0	11,821,008	0	11,821,008
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	22,544	0	0	22,544	0	22,544
当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）		-20,337,097	0	0	-20,337,097	0	-20,337,097
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）	152,470,468			152,470,468		152,470,468
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）	132,133,371	0	0	132,133,371	0	132,133,371
	基本金取崩額（１４）				0		0
	その他の積立金取崩額（１５）	7,800,000			7,800,000		7,800,000
	その他の積立金積立額（１６）				0		0
次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）		139,933,371	0	0	139,933,371	0	139,933,371

第二号第三様式（第二十三条第四項関係）

社会福祉事業区分 事業活動内訳表

（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		比謝川の里	合計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収益				
	介護保険事業収益	529,638,385	529,638,385		529,638,385
	経常経費寄附金収益	1,072,000	1,072,000		1,072,000
	その他の収益	916,320	916,320		916,320
	サービス活動収益計（１）	531,626,705	531,626,705	0	531,626,705
	費用				
	人件費	413,562,358	413,562,358		413,562,358
	事業費	92,316,381	92,316,381		92,316,381
	事務費	27,703,211	27,703,211		27,703,211
	減価償却費	34,793,699	34,793,699		34,793,699
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,481,854	-14,481,854		-14,481,854
サービス活動増減の部	貸倒損失額	0	0		0
	貸倒引当金繰入	0	0		0
	徴収不能引当金繰入	0	0		0
	サービス活動費用計（２）	553,893,795	553,893,795	0	553,893,795
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）	-22,267,090	-22,267,090	0	-22,267,090
サービス活動増減の部	収益				
	受取利息配当金収益	162,490	162,490		162,490
	社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収益	0	0		0
	その他のサービス活動外収益	1,884,959	1,884,959		1,884,959
	サービス活動外収益計（４）	2,047,449	2,047,449	0	2,047,449
	費用				
	社会福祉連携推進業務借入金支払利息	0	0		0
	その他のサービス活動外費用	140,000	140,000		140,000
	サービス活動外費用計（５）	140,000	140,000	0	140,000
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）	1,907,449	1,907,449	0	1,907,449
	経常増減差額（７）＝（３）＋（６）	-20,359,641	-20,359,641	0	-20,359,641
特別増減の部	収益				
	施設整備等補助金収益	5,000,000	5,000,000		5,000,000
	固定資産受贈額	0	0		0
	固定資産売却益	0	0		0
	サービス区分間繰入金収益	6,821,000	6,821,000		6,821,000
	サービス区分間固定資産移管収益	0	0		0
	その他の特別収益	22,552	22,552		22,552
	特別収益計（８）	11,843,552	11,843,552	0	11,843,552
	費用				
	資産評価損	0	0		0
	固定資産売却損・処分損	8	8		8
特別増減の部	国庫補助金等特別積立金積立額	5,000,000	5,000,000		5,000,000
	サービス区分間繰入金費用	6,821,000	6,821,000		6,821,000
	サービス区分間固定資産移管費用	0	0		0
	その他の特別損失	0	0		0
	特別費用計（９）	11,821,008	11,821,008	0	11,821,008
	特別増減差額（１０）＝（８）－（９）	22,544	22,544	0	22,544
	当期活動増減差額（１１）＝（７）＋（１０）	-20,337,097	-20,337,097	0	-20,337,097
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額（１２）	152,470,468	152,470,468		152,470,468
	当期末繰越活動増減差額（１３）＝（１１）＋（１２）	132,133,371	132,133,371	0	132,133,371
	基本金取崩額（１４）	0	0		0
	その他の積立金取崩額（１５）	7,800,000	7,800,000		7,800,000
	その他の積立金積立額（１６）	0	0		0
	次期繰越活動増減差額（１７）＝（１３）＋（１４）＋（１５）－（１６）	139,933,371	139,933,371	0	139,933,371

第二号第四様式（第二十三条第四項関係）
比謝川の里拠点区分 事業活動計算書
（自）令和4年4月1日 （至）令和5年3月31日

（単位：円）

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	529,638,385	518,390,569	11,247,816
	施設介護料収益	227,668,264	220,037,676	7,630,588
	介護報酬収益	202,892,496	195,803,165	7,089,331
	利用者負担金収益（公費）	1,250,776	1,315,194	-64,418
	利用者負担金収益（一般）	23,524,992	22,919,317	605,675
	居宅介護料収益	100,127,710	95,798,583	4,329,127
	介護報酬収益	87,885,136	83,244,893	4,640,243
	介護予防報酬収益	405,423	1,168,344	-762,921
	介護負担金収益（公費）	786,642	1,279,441	-492,799
	介護負担金収益（一般）	11,005,462	9,976,089	1,029,373
	介護予防負担金収益（公費）	25,545	112,743	-87,198
	介護予防負担金収益（一般）	19,502	17,073	2,429
	地域密着型介護料収益	88,415,695	91,707,423	-3,291,728
	介護報酬収益	72,727,528	76,213,160	-3,485,632
	介護予防報酬収益	4,116,618	4,226,702	-110,084
	介護負担金収益（公費）	1,265,923	866,813	399,110
	介護負担金収益（一般）	9,843,271	9,828,504	14,767
	介護予防負担金収益（公費）	124,416	148,077	-23,661
	介護予防負担金収益（一般）	337,939	424,167	-86,228
	居宅介護支援介護料収益	15,303,470	19,566,510	-4,263,040
	居宅介護支援介護料収益	15,303,470	19,566,510	-4,263,040
	介護予防・日常生活支援総合事業収益	4,597,777	5,967,578	-1,369,801
	事業費収益	4,082,147	5,151,010	-1,068,863
	事業負担金収益（公費）	37,359	71,580	-34,221
	事業負担金収益（一般）	478,271	744,988	-266,717
	利用者等利用料収益	83,400,441	81,715,236	1,685,205
	施設サービス利用料収益	198,070	160,120	37,950
	居宅介護サービス利用料収益	433,710	543,590	-109,880
	地域密着型介護サービス利用料収益	2,159,193	2,328,754	-169,561
	食費収益（公費）	437,758	427,733	10,025
	食費収益（一般）	35,905,192	33,695,263	2,209,929
	食費収益（特定）	14,875,622	15,402,780	-527,158
	居住費収益（公費）			0
	居住費収益（一般）	19,106,442	18,595,410	511,032
	居住費収益（特定）	10,284,454	10,561,586	-277,132
	その他の利用料収益			0
	その他の事業収益	10,125,028	3,597,563	6,527,465
	補助金事業収益（公費）	7,760,058	1,246,183	6,513,875
	補助金事業収益（一般）			0
	受託事業収益（公費）	1,407,509	1,272,317	135,192
	受託事業収益（一般）	18,961	10,563	8,398
	その他の事業収益	938,500	1,068,500	-130,000
	経常経費寄附金収益	1,072,000	244,721	827,279
	その他の収益	916,320	452,832	463,488
	共済会退職共済金収益	916,320	452,832	463,488
	サービス活動収益計（1）	531,626,705	519,088,122	12,538,583
	人件費	413,562,358	400,409,530	13,152,828
	役員報酬	6,468,332	6,463,332	5,000
	職員給料	168,432,230	190,094,717	-21,662,487
	職員賞与	28,211,882	25,101,274	3,110,608
	賞与引当金繰入	18,280,820	17,647,992	632,828
	非常勤職員給与	135,537,408	107,009,339	28,528,069
	退職給付費用	5,051,400	4,451,812	599,588
	法定福利費	51,580,286	49,641,064	1,939,222
	事業費	92,316,381	101,300,234	-8,983,853

費用	給食費	37,253,708	33,735,364	3,518,344	
	介護用品費	5,807,593	5,372,048	435,545	
	医薬品費		11,333	-11,333	
	保健衛生費	2,580,088	2,448,646	131,442	
	医療費	38,781	1,310	37,471	
	被服費	16,500		16,500	
	教養娯楽費	1,396,843	1,383,933	12,910	
	日用品費	1,711,493	1,572,872	138,621	
	水道光熱費	19,508,309	19,978,822	-470,513	
	燃料費	2,386,244	3,537,409	-1,151,165	
	消耗器具備品費	8,123,268	19,942,306	-11,819,038	
	保険料	1,963,100	2,062,918	-99,818	
	賃借料	7,101,135	7,313,769	-212,634	
	車輛費	4,429,319	3,912,533	516,786	
	雑費		26,971	-26,971	
	事務費	27,703,211	36,588,651	-8,885,440	
	福利厚生費	2,452,125	2,203,866	248,259	
	職員被服費	64,371	244,515	-180,144	
	旅費交通費	41,150	74,340	-33,190	
	研修研究費	785,884	739,876	46,008	
	事務消耗品費	1,637,171	1,517,266	119,905	
	印刷製本費	749,496	755,165	-5,669	
	修繕費	1,152,984	11,562,752	-10,409,768	
	通信運搬費	2,610,148	2,388,368	221,780	
	会議費	34,846	16,191	18,655	
	広報費			0	
	業務委託費	4,772,920	3,724,752	1,048,168	
	手数料	528,279	824,635	-296,356	
	土地・建物賃借料	8,758,656	8,548,656	210,000	
	租税公課	271,930	96,600	175,330	
	保守料	2,918,675	1,904,892	1,013,783	
	渉外費	329,900	394,123	-64,223	
	諸会費	303,000	300,500	2,500	
	雑費	291,676	1,292,154	-1,000,478	
	減価償却費	34,793,699	32,792,859	2,000,840	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	-14,481,854	-14,798,651	316,797	
	貸倒損失額			0	
	貸倒引当金繰入			0	
	徴収不能引当金繰入		22,552	-22,552	
	サービス活動費用計（２）	553,893,795	556,315,175	-2,421,380	
	サービス活動増減差額（３）＝（１）－（２）		-22,267,090	-37,227,053	14,959,963
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	162,490	80,228	82,262
		社会福祉連携推進業務貸付金受取利息収益			0
		その他のサービス活動外収益	1,884,959	1,128,471	756,488
		受入研修費収益	50,000	24,200	25,800
		利用者等外給食収益	140,000	188,650	-48,650
		雑収益	1,694,959	915,621	779,338
		サービス活動外収益計（４）	2,047,449	1,208,699	838,750
	費用	社会福祉連携推進業務借入金支払利息			0
		その他のサービス活動外費用	140,000	6,962,815	-6,822,815
		利用者等外給食費	140,000	188,650	-48,650
		雑損失		6,774,165	-6,774,165
		サービス活動外費用計（５）	140,000	6,962,815	-6,822,815
	サービス活動外増減差額（６）＝（４）－（５）		1,907,449	-5,754,116	7,661,565
経常増減差額（７）＝（３）＋（６）		-20,359,641	-42,981,169	22,621,528	
	施設整備等補助金収益	5,000,000	0	5,000,000	
	施設整備等補助金収益	5,000,000		5,000,000	
	設備資金借入金元金償還補助金収益			0	
	固定資産受贈額			0	
	固定資産売却益	0	0	0	
	建物売却益			0	

特別増減の部	収益	車輛運搬具売却益			0
		器具及び備品売却益			0
		(何)売却益			0
		サービス区分間繰入金収益	6,821,000		6,821,000
		サービス区分間固定資産移管収益			0
		その他の特別収益	22,552	102,734	-80,182
		貸倒引当金戻入益			0
		徴収不能引当金戻入益	22,552	102,734	-80,182
	特別収益計(8)		11,843,552	102,734	11,740,818
	費用	資産評価損			0
		固定資産売却損・処分損	8	44	-36
		建物売却損・処分損			0
		車輛運搬具売却損・処分損	1	2	-1
		器具及び備品売却損・処分損	7	42	-35
		国庫補助金等特別積立金積立額	5,000,000		5,000,000
		サービス区分間繰入金費用	6,821,000		6,821,000
		サービス区分間固定資産移管費用			0
		その他の特別損失			0
	特別費用計(9)		11,821,008	44	11,820,964
	特別増減差額(10) = (8) - (9)		22,544	102,690	-80,146
当期活動増減差額(11) = (7) + (10)		-20,337,097	-42,878,479	22,541,382	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		152,470,468	160,520,147	-8,049,679
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		132,133,371	117,641,668	14,491,703
	基本金取崩額(14)				0
	その他の積立金取崩額(15)		7,800,000	34,828,800	-27,028,800
	その他の積立金積立額(16)		0	0	0
	建物建設積立金積立額				0
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		139,933,371	152,470,468	-12,537,097

法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	184,840,796	190,066,125	-5,225,329	流動負債	58,475,152	54,746,520	3,728,632
現金	136,847	85,519	51,328	事業未払金	6,200,098	5,383,923	816,175
預金	97,030,495	109,276,031	-12,245,536	その他の未払金			0
事業未収金	77,466,633	78,555,001	-1,088,368	社会福祉連携推進業務短期運営資金借入金			0
未収補助金	7,760,000	70,000	7,690,000	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金			0
立替金	67,483	19,997	47,486	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金			0
前払費用	1,968,176	1,753,571	214,605	1年以内返済予定リース債務	4,873,440	3,461,040	1,412,400
1年以内回収予定社会福祉連携推進業務長期貸付金			0	未払費用	29,120,794	28,253,565	867,229
1年以内長期前払費用	54,762	328,558	-273,796	預り金			0
サービス区分間貸付金			0	職員預り金			0
短期貸付金	356,400		356,400	サービス区分間借入金			0
貸倒引当金			0	賞与引当金	18,280,820	17,647,992	632,828
徴収不能引当金		-22,552	22,552				
固定資産	573,748,062	590,411,812	-16,663,750	固定負債	40,515,720	36,314,480	4,201,240
基本財産	206,440,851	225,318,253	-18,877,402	社会福祉連携推進業務設備資金借入金			0
建物	205,440,851	224,318,253	-18,877,402	設備資金借入金			0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金			0
その他の固定資産	367,307,211	365,093,559	2,213,652	リース債務	15,851,880	11,544,720	4,307,160
建物	27,612,347	30,003,664	-2,391,317	退職給付引当金	24,663,840	24,769,760	-105,920
構築物	991,577	1,273,486	-281,909	負債の部合計	98,990,872	91,061,000	7,929,872
車輜運搬具	8,255,132	8,796,543	-541,411	純資産の部			
器具及び備品	39,083,175	31,413,764	7,669,411	基本金	109,177,217	109,177,217	0
建設仮勘定			0	国庫補助金等特別積立金	165,867,478	175,349,332	-9,481,854
有形リース資産	14,422,980	6,580,860	7,842,120	その他の積立金	244,619,920	252,419,920	-7,800,000
権利	76,440	76,440	0	人件費積立金	3,000,000	3,000,000	0
ソフトウェア			0	建物建設積立金	241,619,920	249,419,920	-7,800,000
無形リース資産	6,190,800	8,313,360	-2,122,560	次期繰越活動増減差額	139,933,371	152,470,468	-12,537,097
社会福祉連携推進業務長期貸付金			0	(うち当期活動増減差額)	-20,337,097	-42,878,479	22,541,382
退職給付引当資産	24,663,840	24,769,760	-105,920				
人件費積立資産	3,000,000	3,000,000	0				
建物建設積立資産	241,619,920	249,419,920	-7,800,000				
差入保証金	1,391,000	1,391,000	0				
長期前払費用		54,762	-54,762				
貸倒引当金			0	純資産の部合計	659,597,986	689,416,937	-29,818,951
資産の部合計	758,588,858	780,477,937	-21,889,079	負債及び純資産の部合計	758,588,858	780,477,937	-21,889,079

第三号第二様式（第二十七条第四項関係）

貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	社会福祉事業	公益事業	収益事業	合計	内部取引消去	法人合計
資産の部						
流動資産	184,840,796	0	0	184,840,796	0	184,840,796
現金	136,847	0	0	136,847		136,847
預金	97,030,495	0	0	97,030,495		97,030,495
事業未収金	77,466,633	0	0	77,466,633		77,466,633
未収補助金	7,760,000	0	0	7,760,000		7,760,000
立替金	67,483	0	0	67,483		67,483
前払費用	1,968,176	0	0	1,968,176		1,968,176
1年以内回収予定社会福祉連携推進業務長期貸付金	0	0	0	0		0
1年以内長期前払費用	54,762	0	0	54,762		54,762
サービス区分間貸付金	0	0	0	0		0
短期貸付金	356,400	0	0	356,400		356,400
貸倒引当金	0	0	0	0		0
徴収不能引当金	0	0	0	0		0
固定資産	573,748,062	0	0	573,748,062	0	573,748,062
基本財産	206,440,851	0	0	206,440,851	0	206,440,851
建物	205,440,851	0	0	205,440,851		205,440,851
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000		1,000,000
その他の固定資産	367,307,211	0	0	367,307,211	0	367,307,211
建物	27,612,347	0	0	27,612,347		27,612,347
構築物	991,577	0	0	991,577		991,577
車輛運搬具	8,255,132	0	0	8,255,132		8,255,132
器具及び備品	39,083,175	0	0	39,083,175		39,083,175
建設仮勘定	0	0	0	0		0
有形リース資産	14,422,980	0	0	14,422,980		14,422,980
権利	76,440	0	0	76,440		76,440
ソフトウェア	0	0	0	0		0
無形リース資産	6,190,800	0	0	6,190,800		6,190,800
社会福祉連携推進業務長期貸付金	0	0	0	0		0
退職給付引当資産	24,663,840	0	0	24,663,840		24,663,840
人件費積立資産	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
建物建設積立資産	241,619,920	0	0	241,619,920		241,619,920
差入保証金	1,391,000	0	0	1,391,000		1,391,000
長期前払費用	0	0	0	0		0
貸倒引当金	0	0	0	0		0
資産の部合計	758,588,858	0	0	758,588,858	0	758,588,858
負債の部						
流動負債	58,475,152	0	0	58,475,152	0	58,475,152
事業未払金	6,200,098	0	0	6,200,098		6,200,098
その他の未払金	0	0	0	0		0
社会福祉連携推進業務短期運営資金借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金	0	0	0	0		0
1年以内返済予定リース債務	4,873,440	0	0	4,873,440		4,873,440
未払費用	29,120,794	0	0	29,120,794		29,120,794
預り金	0	0	0	0		0
職員預り金	0	0	0	0		0
サービス区分間借入金	0	0	0	0		0
賞与引当金	18,280,820	0	0	18,280,820		18,280,820
固定負債	40,515,720	0	0	40,515,720	0	40,515,720
社会福祉連携推進業務設備資金借入金	0	0	0	0		0
設備資金借入金	0	0	0	0		0
社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金	0	0	0	0		0
リース債務	15,851,880	0	0	15,851,880		15,851,880
退職給付引当金	24,663,840	0	0	24,663,840		24,663,840
負債の部合計	98,990,872	0	0	98,990,872	0	98,990,872
純資産の部						
基本金	109,177,217	0	0	109,177,217		109,177,217
国庫補助金等特別積立金	165,867,478	0	0	165,867,478		165,867,478
その他の積立金	244,619,920	0	0	244,619,920	0	244,619,920
人件費積立金	3,000,000	0	0	3,000,000		3,000,000
建物建設積立金	241,619,920	0	0	241,619,920		241,619,920
次期繰越活動増減差額	139,933,371	0	0	139,933,371		139,933,371
(うち当期活動増減差額)	-20,337,097	0	0	-20,337,097		-20,337,097
純資産の部合計	659,597,986	0	0	659,597,986	0	659,597,986
負債及び純資産の部合計	758,588,858	0	0	758,588,858	0	758,588,858

第三号第三様式（第二十七条第四項関係）
社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表

令和5年3月31日現在

(単位：円)

勘定科目	比謝川の里	合計	内部取引消去	事業区分計
資産の部				
流動資産	184,840,796	184,840,796	0	184,840,796
現金	136,847	136,847		136,847
預金	97,030,495	97,030,495		97,030,495
事業未収金	77,466,633	77,466,633		77,466,633
未収補助金	7,760,000	7,760,000		7,760,000
立替金	67,483	67,483		67,483
前払費用	1,968,176	1,968,176		1,968,176
1年以内回収予定社会福祉連携推進業務長期貸付金		0		0
1年以内長期前払費用	54,762	54,762		54,762
サービス区分間貸付金		0		0
短期貸付金	356,400	356,400		356,400
貸倒引当金		0		0
徴収不能引当金		0		0
固定資産	573,748,062	573,748,062	0	573,748,062
基本財産	206,440,851	206,440,851	0	206,440,851
建物	205,440,851	205,440,851		205,440,851
定期預金	1,000,000	1,000,000		1,000,000
その他の固定資産	367,307,211	367,307,211	0	367,307,211
建物	27,612,347	27,612,347		27,612,347
構築物	991,577	991,577		991,577
車輛運搬具	8,255,132	8,255,132		8,255,132
器具及び備品	39,083,175	39,083,175		39,083,175
建設仮勘定		0		0
有形リース資産	14,422,980	14,422,980		14,422,980
権利	76,440	76,440		76,440
ソフトウェア		0		0
無形リース資産	6,190,800	6,190,800		6,190,800
社会福祉連携推進業務長期貸付金		0		0
退職給付引当資産	24,663,840	24,663,840		24,663,840
人件費積立資産	3,000,000	3,000,000		3,000,000
建物建設積立資産	241,619,920	241,619,920		241,619,920
差入保証金	1,391,000	1,391,000		1,391,000
長期前払費用		0		0
貸倒引当金		0		0
資産の部合計	758,588,858	758,588,858	0	758,588,858
負債の部				
流動負債	58,475,152	58,475,152	0	58,475,152
事業未払金	6,200,098	6,200,098		6,200,098
その他の未払金		0		0
社会福祉連携推進業務短期運営資金借入金		0		0
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金		0		0
1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金		0		0
1年以内返済予定リース債務	4,873,440	4,873,440		4,873,440
未払費用	29,120,794	29,120,794		29,120,794
預り金		0		0
職員預り金		0		0
サービス区分間借入金		0		0
賞与引当金	18,280,820	18,280,820		18,280,820
固定負債	40,515,720	40,515,720	0	40,515,720
社会福祉連携推進業務設備資金借入金		0		0
設備資金借入金		0		0
社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金		0		0
リース債務	15,851,880	15,851,880		15,851,880
退職給付引当金	24,663,840	24,663,840		24,663,840
負債の部合計	98,990,872	98,990,872	0	98,990,872

純資産の部				
基本金	109,177,217	109,177,217		109,177,217
国庫補助金等特別積立金	165,867,478	165,867,478		165,867,478
その他の積立金	244,619,920	244,619,920	0	244,619,920
人件費積立金	3,000,000	3,000,000		3,000,000
建物建設積立金	241,619,920	241,619,920		241,619,920
次期繰越活動増減差額	139,933,371	139,933,371		139,933,371
(うち当期活動増減差額)	-20,337,097	-20,337,097		-20,337,097
純資産の部合計	659,597,986	659,597,986	0	659,597,986
負債及び純資産の部合計	758,588,858	758,588,858	0	758,588,858

比謝川の里拠点区分 貸借対照表
令和5年3月31日現在

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	184,840,796	190,066,125	-5,225,329	流動負債	58,475,152	54,746,520	3,728,632
現金	136,847	85,519	51,328	事業未払金	6,200,098	5,383,923	816,175
預金	97,030,495	109,276,031	-12,245,536	その他の未払金			0
事業未収金	77,466,633	78,555,001	-1,088,368	社会福祉連携推進業務短期運営資金借入金			0
未収補助金	7,760,000	70,000	7,690,000	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務設備資金借入金			0
立替金	67,483	19,997	47,486	1年以内返済予定社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金			0
前払費用	1,968,176	1,753,571	214,605	1年以内返済予定リース債務	4,873,440	3,461,040	1,412,400
1年以内回収予定社会福祉連携推進業務長期貸付金			0	未払費用	29,120,794	28,253,565	867,229
1年以内長期前払費用	54,762	328,558	-273,796	預り金			0
サービス区分貸付金			0	職員預り金			0
短期貸付金	356,400		356,400	サービス区分借入金			0
貸倒引当金			0	賞与引当金	18,280,820	17,647,992	632,828
徴収不能引当金		-22,552	22,552				
固定資産	573,748,062	590,411,812	-16,663,750	固定負債	40,515,720	36,314,480	4,201,240
基本財産	206,440,851	225,318,253	-18,877,402	社会福祉連携推進業務設備資金借入金			0
建物	205,440,851	224,318,253	-18,877,402	設備資金借入金			0
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	社会福祉連携推進業務長期運営資金借入金			0
その他の固定資産	367,307,211	365,093,559	2,213,652	リース債務	15,851,880	11,544,720	4,307,160
建物	27,612,347	30,003,664	-2,391,317	退職給付引当金	24,663,840	24,769,760	-105,920
構築物	991,577	1,273,486	-281,909	負債の部合計	98,990,872	91,061,000	7,929,872
車両運搬具	8,255,132	8,796,543	-541,411	純資産の部			
器具及び備品	39,083,175	31,413,764	7,669,411	基本金	109,177,217	109,177,217	0
建設仮勘定			0	国庫補助金等特別積立金	165,867,478	175,349,332	-9,481,854
有形リース資産	14,422,980	6,580,860	7,842,120	その他の積立金	244,619,920	252,419,920	-7,800,000
権利	76,440	76,440	0	人件費積立金	3,000,000	3,000,000	0
ソフトウェア			0	建物建設積立金	241,619,920	249,419,920	-7,800,000
無形リース資産	6,190,800	8,313,360	-2,122,560	次期繰越活動増減差額	139,933,371	152,470,468	-12,537,097
社会福祉連携推進業務長期貸付金			0	(うち当期活動増減差額)	-20,337,097	-42,878,479	22,541,382
退職給付引当資産	24,663,840	24,769,760	-105,920				
人件費積立資産	3,000,000	3,000,000	0				
建物建設積立資産	241,619,920	249,419,920	-7,800,000				
差入保証金	1,391,000	1,391,000	0				
長期前払費用		54,762	-54,762				
貸倒引当金			0	純資産の部合計	659,597,986	689,416,937	-29,818,951
資産の部合計	758,588,858	780,477,937	-21,889,079	負債及び純資産の部合計	758,588,858	780,477,937	-21,889,079

現況報告書（令和5年4月1日現在）

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
47 沖縄県	325 中頭郡嘉手納町	47000	2360005002409	01 一般法人	01 運営中
(7)法人の名称	幸仁会				
(8)主たる事務所の住所	沖縄県	中頭郡嘉手納町	字久得242番地の2		
(9)主たる事務所の電話番号	098-957-3000	(10)主たる事務所のFAX番号	098-957-3311	(11)従たる事務所の有無	2 無
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページURL	http://www.hijyagawanosato.com		(14)法人のメールアドレス	info@hijyagawanosato.or.jp	
(15)法人の設立認可年月日	平成2年10月8日	(16)法人の設立登記年月日	平成2年10月19日		

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7名以上10名以内	(2)評議員の現員	8	(3-6)評議員全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	200,000
(3-1)評議員の氏名	(3-3)評議員の任期		(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
(3-2)評議員の職業					
富山 みゆき	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4
東江 清隆	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4
世名城 盛泰	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			3
古謝 義光	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4
中川 康司	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4
大城 朝功	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4
古謝 政子	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			2
米須 良成	R3.6.16	～ 令和7年度定時評議員会終結の時			4

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6名以上9名以内	(2)理事の現員	7	(3-12)理事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	6,200,000	1 特例有
(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職(注)	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況
	(3-8)理事の任期		(3-9)理事要件の区分別該当状況		(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の有無	(3-11)理事報酬等の支給形態
						(3-13)前会計年度における理事会への出席回数
渡口 彦直	1 理事長	令和3年6月24日	2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	4 その他		1 有	4
金城 徳昭	2 業務執行理事		1 常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	4 その他		2 無	4
山城 光子	3 その他理事		2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	3 施設の管理者		2 無	4
新田 朝榮	3 その他理事		2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者		2 無	4
奥間 清次	3 その他理事		2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	4 その他		2 無	4
比嘉 直樹	3 その他理事		2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	4 その他		1 有	4
村山 博子	3 その他理事		2 非常勤	令和3年6月24日		
	R3.6.15	～ 令和5年度定時評議員会終結の時	4 その他		2 無	4

(注)「(3-2)理事の役職」のうち、「理事長」とは、社会福祉法45条の13第3項で規定する理事長(会長等の他の役職名を使用している法人がある。)である。
「業務執行理事」とは、社会福祉法45条の16第2項第2号で規定する業務執行理事(常務理事等の他の役職名を使用している法人がある。)である。

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2名	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額(前会計年度実績) (円)	160,000
(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業		(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況		(3-3)監事選任の評議員会議決年月日
	(3-4)監事の任期		(3-5)監事要件の区分別該当状況		(3-7)前会計年度における理事会への出席回数
知念 榮	R3.6.15 ～ 令和5年度定時評議員会終結の時		6 財務管理に識見を有する者（その他）		令和3年6月24日 4
知花 賢昇	R3.6.15 ～ 令和5年度定時評議員会終結の時		3 社会福祉事業に識見を有する者（その他）		令和3年6月24日 4

5. 前会計年度・当該会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(1-2)前会計年度の 会計監査人の監査 報酬額（円）	(1-3)前年度 決算にかかる定 時評議員会への 出席の有無	(2-1)当該会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(2-2)当該会計年 度の会計監査人の 監査報酬額（円）

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数					
①常勤専従者の実数	0	②常勤兼務者の実数	1	③非常勤者の実数	1
		常勤換算数	1.0	常勤換算数	1.0
(2)施設・事業所職員の人数					
①常勤専従者の実数	94	②常勤兼務者の実数	3	③非常勤者の実数	19
		常勤換算数	1.0	常勤換算数	12.1

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員 会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会 計監査人別の出席者数				(3)評議員会ごとの決議事項
	評議員	理事	監事	会計監査人	
令和4年6月27日	7	2	2		【1】審議事項 第1号議案： 令和3年度計算関係書類の承認について 【2】報告事項 報告事項1： 令和3年度事業報告 報告事項2： 令和4年度監事監査報告 報告事項3： 令和4年度第1回（決算）理事会決議に関する報告 報告事項4： 理事長、常務理事業務執行報告
令和4年10月7日	8	2	2		【1】審議事項 第1号議案： 特別養護老人ホーム第1次補正予算（案）について 【2】報告事項 報告事項1： 嘉手納町社会福祉法人助成決定について 報告事項2： 令和4年度監事監査指摘事項における改善・是正について 報告事項3： 令和4年6月～8月理事長・常務理事業務執行報告
令和4年12月22日	7	2	2		【決議事項】 第1号議案： 令和4年度特別養護老人ホーム第2次補正予算（案）の承認について 【報告事項】 報告事項1： 令和4年度第3回理事会決議事項 報告事項2： 理事長・常務理事職務執行状況報告（令和4年9月～11月分）
令和5年3月22日	7	2	2		【決議事項】 第1号議案： 令和4年度補正予算（案）の承認について 第2号議案： 令和5年度事業計画（案）の承認について 第3号議案： 令和5年度予算（案）の承認について 第4号議案： 未払い賃金等請求事件和解勧告書の承認について 第5号議案： 弁護士事務所への成功報酬及び実費代の支払い承認について 【報告事項】 報告事項1： 令和4年度第4回理事会決議の内容 報告事項2： 令和5年1月特養施設新型コロナウイルス発生状況 報告事項3： 介護用入浴機器設置（嘉手納町助成）設置完了について 報告事項4： 社会福祉法人幸仁会役員（理事・監事）任期満了に伴う選任の手順について 報告事項5： 理事長・常務理事職務執行報告

(4)うち開催を省略した回数	1
----------------	---

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開 催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別 の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
令和4年6月8日	7	2	【決議事項】 第1号議案： 令和3年度事業報告の承認について 第2号議案： 令和3年度計算関係書類の承認について 第3号議案： 安全運転管理規程（案）の承認について 第4号議案： 顧問弁護士委託契約の承認について 第5号議案： 利用者ベッド購入の承認について 第6号議案： 高圧受電設備修繕工事の承認について 第7号議案： 定時評議員会の招集の承認について 【報告事項】 報告事項1： 令和4年度監事監査の報告 報告事項2： 理事長・常務理事業務執行報告
			【決議事項】 第1号議案： 就養規則の一部改正（案）について

001	比謝川の里	01030202	特別養護老人ホーム（介護福祉サービス）			特別養護老人ホーム比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	字久得242-2		1 行政からの賃借等	3 自己所有	平成3年7月1日	70	23,866
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120401	老人短期入所事業（短期入所生活介護）			短期入所生活介護事業比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	字久得242-2		1 行政からの賃借等	3 自己所有	平成3年7月1日	4	1,231
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120201	老人デイサービス事業（通所介護）			デイサービスセンター比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	字久得242-2		1 行政からの賃借等	3 自己所有	平成4年1月1日	35	6,091
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120101	老人居宅介護等事業（訪問介護）			訪問ヘルパーステーション比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町			1 行政からの賃借等	3 自己所有	平成12年4月1日	0	0
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120601	認知症対応型老人共同生活援助事業			さわかほーむ比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	水釜336-2		4 その他	4 その他	平成15年3月1日	9	3,214
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02130101	障害福祉サービス事業（居宅介護）			訪問ヘルパーステーション比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町			1 行政からの賃借等	4 その他	平成18年4月1日	0	0
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120501	小規模多機能型居宅介護事業			小規模多機能ホーム比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	水釜6-16-1		4 その他	4 その他	平成20年2月1日	25	12,216
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	02120201	老人デイサービス事業（通所介護）			デイサービスセンター比謝川の里ロータリー				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	字嘉手納 2 9 0 - 4		4 その他	4 その他	平成23年2月1日	25	5,120
		ア建設費								
		イ大規模修繕								
001	比謝川の里	06260301	（公益）居宅介護支援事業			ケアマネジメント比謝川の里				
		沖縄県	中頭郡嘉手納町	字久得242-2		1 行政からの賃借等	3 自己所有	平成11年10月1日	120	1,250
		ア建設費								
		イ大規模修繕								

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (2)公益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地			④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)		
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況（当該拠点区分における主たる事業（前年度の年間収益が最も多い事業）に計上）									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)			

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地			④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日		⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)	
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)		(オ) 建設費合計額(円)		ウ 延べ床面積	
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)		(ア) - 5修繕年月日(5回目)		(イ) 修繕費合計額(円)	

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

定款に基づ法人事務局の運営、第一種社会福祉事業、第二種社会福祉事業及び公益事業の実施										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

11-2. 地域における公益的な取組（地域公益事業(再掲)含む)

①取組類型コード分類	②取組の名称	③取組の実施場所(区域)
	④取組内容	

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況

(社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません)

(1) 社会福祉充実残額等の総額(円)

0

(2) 社会福祉充実計画における計画額（計画期間中の総額）	
① 社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	0
② 地域公益事業（円）	0
③ 公益事業（円）	0
④ 合計額（①＋②＋③）（円）	0
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
① 社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	0
② 地域公益事業（円）	0
③ 公益事業（円）	0
④ 合計額（①＋②＋③）（円）	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	～

1 3 . 透明性の確保に向けた取組状況

(1)積極的な情報公表への取組	
①任意事項の公表の有無	
㊦事業報告	1 有
㊦財産目録	1 有
㊦事業計画書	1 有
㊦第三者評価結果	2 無
㊦苦情処理結果	3 該当なし
㊦監事監査結果	1 有
㊦附属明細書	1 有
(2)前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況	
①事業運営に係る公費（円）	425,668,880
②施設・設備に係る公費（円）	5,000,000
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額（円）	488,093,457
(3)福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について	
施設名	直近の受審年度

1 4 . ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1)会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況	
①実施者の区分	
②実施者の氏名（法人の場合は法人名）	
③業務内容	
④費用【年額】（円）	
(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況	
①所轄庁から求められた改善事項	固定資産の年度末現在高の確認及び報告、嘱託医の雇用契約、感染予防対策委員会の開催
②実施した改善内容	経理規程の遵守、契約締結、運営基準の遵守

1 5 . その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）	
① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（(独)福祉医療機構）に加入	
② 中小企業退職金共済制度（(独)勤労者退職金共済機構）に加入	
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	

1 6 . 社員として所属する社会福祉連携推進法人の名称

社会福祉法人 幸仁会 役員等名簿

令和 5 年 7 月 1 日現在

評議員（任期：令和 3 年 6 月 16 日～令和 7 年度定時評議員会終結時迄）

	役職名	氏 名
1	評議員	東江 清隆
2	評議員	大城 朝功
3	評議員	古謝 政子
4	評議員	古謝 義光
5	評議員	米須 良成
6	評議員	當山 みゆき
7	評議員	中川 康司
8	評議員	世名城 盛泰

理事（任期：令和 5 年 6 月 26 日～令和 7 年度定時評議員会終結時迄）

	役職名	氏 名
1	理事	新田 朝榮
2	理事	奥間 清次
3	常務理事	金城 徳昭
4	理事長	渡口 彦直
5	理事	比嘉 直樹
6	理事	山城 光子

監事（任期：令和 5 年 6 月 26 日～令和 7 年度定時評議員会終結時迄）

	役職名	氏 名
1	監事	知念 榮
2	監事	知花 賢昇



沖縄県指令子 第 1085 号

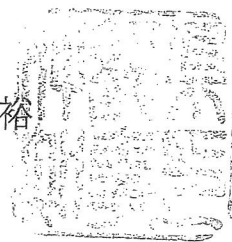
社会福祉法人の定款の一部変更認可書

沖縄県中頭郡嘉手納町字久得242番地の2
社会福祉法人 幸仁会

令和3年10月29日付けで申請のあった定款の一部変更については、
社会福祉法（昭和26年法律第45号）第45条の36の規定により認可しま
す。

令和3年12月9日

沖縄県知事 玉 城 康 裕



社会福祉法人幸仁会 定款

第1章 総

則

(目 的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 老人デイサービス事業の経営

(ロ) 老人デイサービスセンターの経営

(ハ) 老人短期入所事業の経営

(ニ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営

(ホ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営

(名 称)

第2条 この法人は、社会福祉法人幸仁会という。

(経営の原則等)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取組として、地域の独居高齢者、経済的に困窮する者等を支援するため、無料または低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を沖縄県中頭郡嘉手納町字久得 242 番地の 2 に置く。

第2章 評 議 員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員 7 名以上 10 名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

- 2 評議員選任・解任委員会は、事務局員1名、外部委員3名の合計4名で構成する。
- 3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営に関する事項は、理事会において別に定める。
- 4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合には、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を説明しなければならない。
- 5 評議員選任・解任委員会の決議は委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の2名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか1人及びその親族、その他特殊の関係がある者（租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定する者をいう。以下同じ。）の合計数が、評議員総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

- 第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時とし、再任を妨げない。
- 2 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了、または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

- 第9条 評議員に対し各年度の総額が1,000,000円を超えない範囲で、報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。
- 2 報酬等の支給の基準に関する事項は、評議員会において別に定める。

第3章 評 議 員 会

(構成)

- 第10条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。
- 2 評議員会に議長を置き、議長はその都度評議員の互選により定める。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任、または解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更

- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分
- (8) 社会福祉充実計画の承認
- (9) 事業計画及び収支予算
- (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
- (11) 公益事業・収益事業に関する重要な事項
- (12) 解散
- (13) その他評議員会で決議するものとして法令、またはこの定款で定められた事項

（開 催）

第 12 条 評議員会は、定時評議員会として毎年度 6 月に 1 回開催するほか、必要がある場合に開催する。

2 必要がある場合には、臨時評議員会を開催する。

（招 集）

第 13 条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

（決 議）

第 14 条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の 3 分の 2 以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

3 理事、または監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第 1 項の決議を行わなければならない。理事、または監事の候補者の合計数が第 16 条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

4 第 1 項及び第 2 項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面、または電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

（議事録）

第 15 条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人 2 名が前項の議事録に署名捺印する。

第4章 役員及び職員

(役員の数)

第16条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上9名以内

(2) 監事 2名

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事のうち1名を常務理事とすることができる。

4 前項の常務理事をもって、社会福祉法第45条の16第2項第2号の業務執行理事とする。

(役員の選任)

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(役員の資格)

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族、その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事（その親族、その他特殊の関係がある者を含む。）及び評議員（その親族、その他特殊の関係がある者を含む。）並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は相互に親族、その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び常務理事は、3ヶ月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員の任期)

第21条 理事または監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 理事または監事は第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了または辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、理事または監事としての権利義務を

有する。

（役員の解任）

第 22 条 理事または監事が次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- （1） 職務上の義務に違反し、または職務を怠ったとき。
- （2） 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、またはこれに堪えないとき。

（役員の報酬等）

第 23 条 理事及び監事に対し別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 報酬等の額に関する事項は、総額の範囲内で評議員会において別に定める。

（職 員）

第 24 条 この法人に職員を置く。

- 2 この法人の設置経営する施設の長、他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において選任及び解任する。
- 3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第 5 章 理 事 会

（構 成）

第 25 条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

- 2 理事会に議長を置き、議長はその都度理事の互選により定める。

（権 限）

第 26 条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

- （1） この法人の業務執行の決定
- （2） 理事の職務の執行の監督
- （3） 理事長及び常務理事の選定及び解職

（招 集）

第 27 条 理事会は、理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき、または理事長に事故があるときは、常務理事が理事会を招集する。

（決 議）

第 28 条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面、または電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該事案につい

て異議を述べたときを除く。)は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第 29 条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名捺印する。

第 6 章 資 産 及 び 会 計

(資産の区分)

第 30 条 この法人の資産は、これを分けて基本財産と、その他財産及び公益事業用財産の 3 種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

(1) 沖縄県中頭郡嘉手納町字久得 242 番地の 2 所在の鉄筋コンクリート造り 3 階建特別養護老人ホーム比謝川の里 1 棟 (3351.75 m²)

(2) 金壹百万円とする。

3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産以外の財産とする。

4 公益事業用財産は、第 38 条に掲げる、公益を目的とする事業の用に供する財産とする。

5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第 2 項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。

(基本財産の処分)

第 31 条 基本財産を処分し、または担保に供しようとするときは、理事総数(現在数)の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を得て、沖縄県知事の承認を得なければならない。

ただし、次の各号に掲げる場合には、沖縄県知事の承認は必要としない。

(1) 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合

(2) 独立行政法人福祉医療機構と協調融資(独立行政法人 福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。)に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保に供する場合(協調融資に係る担保に限る。)

(資産の管理)

第 32 条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、または確実な有価証券に換えて保存する。

(事業計画及び収支予算)

第 33 条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日まで理事長が作成し、理事総数(現在数)の 3 分の 2 以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第34条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けたうえで、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)
- (5) 貸借対照表及び収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 事業の概要等を記載した書類

(会計年度)

第35条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第36条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第37条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、または権利の放棄をしようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認がなければならない。

第7章 公益を目的とする事業

(種別)

第38条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 介護保険法に基づく居宅介護支援事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得なければならない。

第8章 解

散

(解 散)

第39条 この法人は、社会福祉法第46条第1項第1号及び第3号から第6号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第40条 解散（合併、または破産による解散を除く。）した場合における残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第9章 定 款 の 変 更

(定款の変更)

第41条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て沖縄県知事の認可（社会福祉法第45条の36第2項に規定する厚生労働省令で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省令で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を沖縄県知事に届け出なければならない。

第10章 公 告 の 方 法 そ の 他

(公告の方法)

第42条 この法人の公告は、社会福祉法人幸仁会の掲示場に掲示するとともに、官報、新聞、または電子公告に掲載して行う。

(施行細則)

第43条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

附 則

- 1 この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の成立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

理事長 伊波 剛

理 事 奥間 信一

» 玉城 幸三

» 知花 成昇

» 渡口 彦信

» 宮城 正一

» 玉城 富男

» 金城 徳昭

» 町田 宗晃

» 勝連 朝蒲

» 奥間 偉功

監 事 松堂 忠仁

» 知念 勇英

- 2 この定款は、社会福祉法人幸仁会設立登記の日（平成 2 年 1 0 月 1 9 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 4 年 5 月 1 9 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 6 年 1 0 月 7 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 8 年 1 2 月 2 7 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 0 年 2 月 1 6 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 0 年 5 月 6 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 0 年 7 月 2 7 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 1 年 7 月 1 4 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 1 年 1 2 月 7 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 2 年 5 月 2 4 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 2 年 1 2 月 2 6 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 5 年 5 月 1 3 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 8 年 3 月 3 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 1 8 年 9 月 2 0 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 19 年 11 月 30 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 20 年 4 月 21 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 20 年 5 月 19 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 23 年 1 月 17 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 25 年 3 月 25 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 28 年 6 月 1 日）から施行する。

附 則

この定款は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（平成 29 年 9 月 11 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（令和 1 年 6 月 24 日）から施行する。

附 則

この定款は、沖縄県知事定款変更認可の日（令和 3 年 12 月 9 日）から施行する。

役員等及び委員等報酬等規程

(目 的)

第1条 この規程は、社会福祉法人幸仁会（以下「法人」という。）が規定する定款及び社会福祉法に基づき、評議員、役員（以下「役員等」という。）及び評議員選任・解任委員、第三者委員及び懲戒委員（以下「委員等」という。）の報酬等に関する必要事項を定めるものとする。

(定 義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は次に定めるところによる。

(1) 評議員

定款第2章に定める評議員をいう。

(2) 役員

定款第4章に定める理事及び監事をいう。

(3) 評議員選任・解任委員

定款第6条及び定款細則第2条に定める評議員選任・解任委員会の委員をいう。

(4) 第三者委員

社会福祉法第82条に定める法人が設置経営する施設及び事業所の苦情の対応に関する第三者委員会の委員をいう。

(5) 懲戒委員

懲戒委員会運営規程第6条に定める懲戒委員をいう。

(6) 役員等報酬

勤務形態及び職務遂行の対価として受ける財産上の利益をいう。

(勤務形態の種別)

第3条 役員等の勤務形態の種別は、次のとおりとする。

(1) 常勤役員

役員のうち、法人を主たる勤務場所とし、原則として月 160 時間程度勤務する次の理事をいう。

① 定款第16条第2項に定める業務に従事する理事長

② 定款第16条第3項及び定款細則第10条に定める業務に従事する常務理事

(2) 非常勤役員等

前条以外の者で次の者をいう。

- ① 評議員
- ② 常勤以外の理事
- ③ 監事

(3) 委員等

- ① 評議員選任・解任委員
- ② 第三者委員
- ③ 懲戒委員

(役員等、委員等報酬の支給及び算定方法)

第4条 役員等、委員等には、勤務形態に応じて、次のとおり報酬を支給するものとし、源泉所得税額等を控除した額を支払うものとする。

2 前項に関する事項及び算定方法については、別添にて次のとおり定める。

- (1) (別表1) 常勤役員報酬表
- (2) (別表2) 非常勤役員等報酬表
- (3) (別表3) 委員等報酬表
- (4) (別表4) 役員等香典料等表

(役員等報酬の日割り計算)

第5条 第4条第2項第1号に定める役員報酬の取り扱いについては、次のとおりとする。

- (1) 新たに理事長及び常勤理事に就任した者には、就任承諾書を受け付けた日から役員報酬を支給する。
- (2) 理事長及び常勤理事が退任、または解任された場合は、その前日までの役員報酬を支給する。
- (3) 前項の月の途中における就任、退任、または解任された場合の役員報酬については、その月の総日数から土曜日、日曜日及び祝祭日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りの計算により支給する。

(端数の処理)

第6条 役員報酬における計算金額に1円未満の端数が生じたときは、次のとおり処理を行う。

- (1) 50銭未満の端数については、これを切り捨てる。
- (2) 50銭以上1円未満の端数については、これを1円に切り上げる。

(適用除外)

第7条 法人の職員として雇用され、給与の支給を受けている役員等については、本規程に定める報酬等の支給はしない。ただし、役員のうち次の者は除く。

(1) 理事長

(出張旅費)

第8条 役員等が職務のため出張した場合は、別に定める旅費規程により支給する。

(表彰等)

第9条 役員等の表彰等に関する事項については、別に定める。

(香典等)

第10条 役員等及び役員等の配偶者が死亡したときは、香典料を支給するほか、葬儀に際して生花及び弔電を供えることができる。

2 前項に関する事項については、別添にて次のとおりに定める。

(1) (別表4) 役員等香典料等表

(車両等)

第11条 理事長及び常務理事が法人業務に関連し、個人の車両を使用した場合、月額10,000円以内(税込み)の範囲で給油費の実費を支給する。

個人車両にかかる維持費、修理代、保険料、車両税等の経費及び交通費は支給しない。

(その他)

第12条 この規程に定めるもののほか、必要な事項は理事長が専決することができる。

(公表)

第13条 法人はこの規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項2号に定める役員報酬等の支給の基準として公表する。

(改廃)

第14条 この規程の制定及び改廃は、評議員会の決議をもって行うものとする。

附 則

この規程は平成5年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成9年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成13年4月1日から施行する。

附 則

この規程は平成14年1月1日から施行する。

附 則

この規程は平成15年5月24日から施行する。

附 則

この規程は平成19年5月1日から施行する。

附 則

この規程は平成27年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、評議員会の決議の日（平成29年10月30日）から施行し、平成29年11月1日から適用する。

附 則

この規程は、平成30年9月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年7月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年7月1日から施行する。

「別表 1」 常勤役員報酬表

(1) 理事長

役 員 名	報酬額
常勤の理事長	月額 400,000 円
理事長（原則週 3 日程度）	月額 300,000 円

(2) 常務理事

役 員 名	報酬額
常勤の常務理事	月額 350,000 円
常務理事（原則週 3 日程度）	月額 250,000 円

「別表 2」 非常勤役員等報酬

(1) 評議員（1 人あたり）

職 務 内 容	日 額
評議員会への出席	1 0,000 円

(2) 理事（1 人あたり）

職 務 内 容	日 額
理事会への出席 (理事長、常務理事、理事兼務職員は支給しない)	1 0,000 円

(3) 監事（1 人あたり）

職 務 内 容	日 額
理事会への出席	1 0,000 円
評議員会への出席	1 0,000 円
監事監査の実施	1 0,000 円

(4) 第 7 条に該当する者のうち次の役員である者

役 員 名	月 額
理事長	50,000 円

「別表 3」 委員等報酬

(1) 評議員選任・解任委員 (1 人あたり)

職 務 内 容	日 額
評議員選任・解任委員会への出席	5,000 円

(2) 第三者委員 (1 人あたり)

職 務 内 容	日 額
第三者委員会への出席	5,000 円

(3) 懲戒委員 (1 人あたり)

職 務 内 容	日 額
懲戒委員会への出席 (理事長、常務理事、施設長、事務長は支給しない)	5,000 円

(4) 「別表 2」の (1) ～ (3)、「別表 3」(1) ～ (3) 以外の法人運営にかかる会議等に、理事長からの招集に応じて参加する第 2 条に定義されるすべての者 (1 人あたり)

職 務 内 容	日 額
半日程度 (1 時間～4 時間以内)	5,000 円
1 日程度 (4 時間以上)	10,000 円

「別表 4」 香典料等

- (1) 役員等本人 : 10,000 円
- (2) 役員等の配偶者 : 10,000 円

令和4年度 事業報告

法人本部

自： 令和4年4月 1日

至： 令和5年3月31日

社会福祉法人 幸仁会

令和4年度 法人・総務課 事業報告

1. 部署名：法人・総務課
2. 報告書作成者：理事長兼施設長（法人本部事務局長）渡口彦直
3. 実施事業

（1）介護サービスの質の向上と人材育成の推進

〔実施状況〕

① 人材育成のための教育、研修の充実

新型コロナ禍の影響で、多くの研修が中止もしくはオンラインによる研修となった。職員の研修については、全法人職員一同に会した合同研修も実施できない状況であったが、研修をオンライン配信事業所と契約し研修を実施することができた。

令和4年度 社会福祉法人 幸仁会 職員 研修状況（県内）					
実施月日	研 修 会 名	参加者名	会 場	期 間	市町村名
5月14日	四分野一貫セミナー	翁長兼秀 比嘉操 花城麻奈美 新城裕之 新城紗香	オンライン オンライン いきがいきクリエーション いきがいきクリエーション いきがいきクリエーション	09:30 ～ 17:30	沖縄市
6月16日	県グループホーム外部評価勉強会	比嘉操	県総合福祉センター	14:00 ～ 15:00	那覇市
9月8日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	第三者委員 各管理者	比謝川の里	13:30 ～ 15:50	嘉手納町
9月22日	認知症キャラバンメイト養成研修	翁長兼秀 比嘉操	県総合福祉センター	10:00 ～ 17:00	那覇市
9月27日 ～ 28日	認知症対応型サービス事業開設者研修	玉城竜一	オンライン	終日	
10月21日	ハラスメント研修会	比嘉操	豊見城社会福祉協議会	14:00 ～ 17:00	豊見城市
10月29日	四分野一貫セミナー	新城裕之	琉球リハビリテーション	09:30 ～ 17:30	金武町
11月7日	県民教養講座労働関係セミナー	小渡祥子	県総合福祉センター	14:00 ～ 16:00	那覇市
11月9日	社会福祉法人経営実務検定試験入門対策講座	平田怜	オンライン	13:30 ～ 17:00	
12月1日	特養老人ホーム入所者の看取りに関する研修	介護職	オンライン	15:00 ～ 17:00	
12月8日	介護役職者向けマネジメント研修 施設経営者向けセミナー	渡口彦直	オンライン	14:00 ～ 16:00	
12月17日	介護支援専門員スキルアップ研修	大城源 玉城直美	オンライン	10:00 ～ 11:35	
1月19日	第2回福祉サービスに関する苦情解決セミナー	翁長兼秀 花城麻奈美	オンライン	13:30 ～ 16:30	
1月26日	能力開発啓発セミナー	比嘉直樹	結の街	14:00 ～ 15:30	浦添市
1月30日	施設におけるリスクマネジメントの実践	比嘉直樹	オンライン	13:20 ～ 16:30	
2月4日	看取りに関する研修会	比嘉操 金城誠	浦添社会福祉センター	13:30 ～ 17:00	浦添市
2月8日	安全運転管理者講習	玉城技 比嘉直樹	ちやたんニライセンター	09:30 ～ 17:00	北谷町
2月9日	第43期自衛消防隊研修	玉城政 玉城技 翁長兼秀 比嘉操	沖縄消防学校	08:30 ～ 17:00	中城村
2月10日	障害者雇用納付金制度事務説明会	平田怜	職業能力開発促進セン ター	13:30 ～ 16:00	北谷町
2月24日	第34回工場見学会	渡口彦直 比嘉直樹 小渡祥子	拓南製鐵株式会社	09:30 ～	沖縄市
3月15日	医療ガス安全講習会	比嘉直樹	てだこホール	13:00 ～ 17:00	浦添市

②福祉サービス第三者評価事業の受審

令和4年度予定していた「福祉サービス第三者評価事業」は、新型コロナ感染予防対策の一環から、外部の入室を制限したことから実施できず。

③ 介護サービスの点検と介護保険改正への取り組み

各事業所の事業実施状況を確認する内部点検は、内部点検委員会を中心に、ほぼ計画通り実施できた。

④ キャリアパスに基づく報酬制度の確立

キャリアパスに基づく報酬制度については、新型コロナクラスターの発生や感染予防対策を重点化したことから制度の確立まで至らなかった。来年度はキャリアパス委員会を組織し、制度の確立を目指す。上

⑤ 法人委員会の強化

新型コロナの感染予防対策の影響を受け、全事業所を跨ぐ一部各委員会活動にも影響を受けたが、ほぼ計画通り実施できた。

特に令和4年度は、産業医を含めた安全衛生委員会の定例開催が実施できた。

【評 価】

令和4年度は、オンラインによる職員の研修が定着し、多くの職員に研修の機会が保たれた。昨年同様県内における新型コロナ感染拡大を受け、利用者の健康を守るため、感染予防対策の強化を最優先とし、感染予防対策の知識やガウンテクニック等実務的な対応など、職員の感染予防に対する意識の向上を図った。

各事業所の介護保険事業を適正な運営を確認するための内部点検は、各事業所年1回以上の内部点検を実施できた。

令和5年度も引き続き、感染予防対策を強化する研修をはじめ、科学的介護のエビデンスの蓄積に取り組みながら、介護サービスの質の向上と人材育成を図りたい。

(2) 働きがいのある職場と人材確保の促進

[実施状況]

① 働き方の多様化の推進

コロナ禍の勤務形態について、オンラインでの業務が可能な事業所及び職種については在宅勤務が可能な環境を整えた。実際に居宅介護支援事業所、事務所及び栄養士がオンラインでの業務を実施することができた。

職員が特別な業務に従事した場合の手当や、職員の資格取得に対して費用の負担を軽減するなどの支援が図れるよう就業規則に追加した。

令和4年10月から支給する新たな加算（ベースアップ支援金）を規程で明記し、給与規程の一部を改正した。

また、職員が特別な業務に従事した場合の手当支給や、職員の資格取得に対して費用の負担を支援できるよう給与規程に追加しました。

4年度は男性職員3名の育児休暇が取得でき、子育て支援の一助となった。

また、職員1名から兼業の申し出もあり、本業に影響を与えない旨の誓約し兼業を許可した。

今後も、職員の声を率直に受け止め、職場環境の改善が図られるように取り組んでいく。

② 労務管理の適正化等

事務の効率化を図り、担当者が職員への詳細な説明と手続きが可能になった。年次有給休暇の取得も積極的に推進し、法人全体で1676日、職員一人平均約14日の取得となった。

また、毎年実施しているストレスチェックの評価では、事業所によってばらつきはあるものの前年度同様の評価が報告された。

雇用契約等についても、担当者の他、立会い者を付け、より客観性のある説明を行うこととしている。

令和5年度の職員代表者には、長きにわたり職員代表者であった職員が立候補せず、新たな職員が選出された。

③ 人材の確保等

令和4年度も、積極的にハローワーク及びインターネットを活用した人材募集を継続したが、応募者の減少が続いている。

人材の確保のため、職員紹介採用（リファラル採用）制度規程を整備し、令和5年度から運用することになる。

正規雇用職員の5名が60歳の定年を迎えたが、全ての職員が定年後継続雇用を希望し契約職員となっている。

また、法人事業の効果的かつ適正な運営を目的に、法人の組織体制を見直し幹部人事を選任した。

1) [職員の状況等]

ア、年間職員数の推移

年間を通し、職員数は横ばい傾向にある。正職員は 50%を超え、比較的適正な配置が保たれている。

法人役員、パートを除く 60 歳未満の正職員率は 62.2% (3 月時点) となっている。

その他にも、障がい者雇用 6 名、外国人 5 名を含む人材が利用者の生活を支えている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
法人役員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
正職員	59	59	59	60	59	56	56	56	56	57	56	55
契約職員	47	47	49	47	47	50	53	53	54	54	54	53
パート職員	6	6	6	7	8	9	9	7	6	7	7	7
合計	113	113	115	115	115	116	119	117	117	119	118	116

法人役員：常勤の役員（常務理事） 正規職員：雇用期間の定めのない 61 歳未満の職員 契約職員：雇用期間の定めのある職員及び定年後再雇用職員等
パート職員：短時間雇用の職員（社保未加入） アルバイト：主に高校生や専門学校等の学生

イ、職員の採用及び退職状況

令和 4 年度の新規採用者は 23 名（前年度 19 名）、退職者は 17 名（前年度 25 名）の退職者であった。新型コロナ禍であったものの、前年度より採用者の数は増えている。

引続き、職員の働きやすい環境に取り組み、安定した介護サービスが提供できる職員体制を目指す必要性を感じている。

令和 4 年度 採用及び退職職員数

	正規職員	契約職員	パート職員	アルバイト	計
採用職員数	0	21	2	0	23
退職職員数	4	13	0	0	17

令和 4 年度 採用及び退職職員職種

	管理職	介護職	看護職	訓練員	相談員・ ケアマネ	管理）栄 養士	調理員	事務員	用務員	その他
採用職員数	0	14	3	2	2	0	2	0	0	0
退職職員数	0	8	3	2	2	0	2	0	0	0

令和 4 年度 退職職員の勤務年数

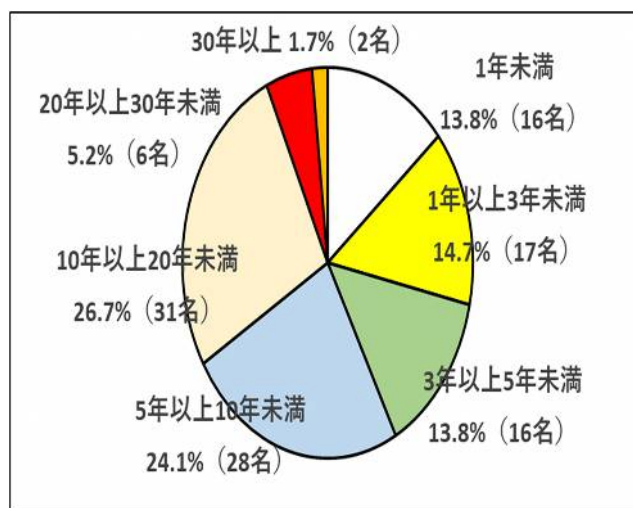
退職職員年数	正規職員	契約職員	パート職員	アルバイト	計
20 年以上	1	0	0	0	1
10 年以上～20 年未満	1	0	0	0	1
5 年以上～10 年未満	2	0	0	0	2
3 年以上～5 年未満	0	1	0	0	1
1 年以上～3 年未満	0	3	0	0	3
6 カ月以上～1 年未満	0	1	0	0	1
6 カ月未満	0	8	0	0	8
合 計	4	13	0	0	17

ウ、 職員の勤務年数

約6割の職員が5年以上の勤務年数である。(右図) 正職員への登用、待遇、職場環境の改善等の取り組みによって改善傾向が表れてきていると思える。

しかし、入職して1年未満で退職した職員が全体の5割以上あり、早期離職をいかに食い止めるかが大きな課題である。

(令和5年3月末現在)

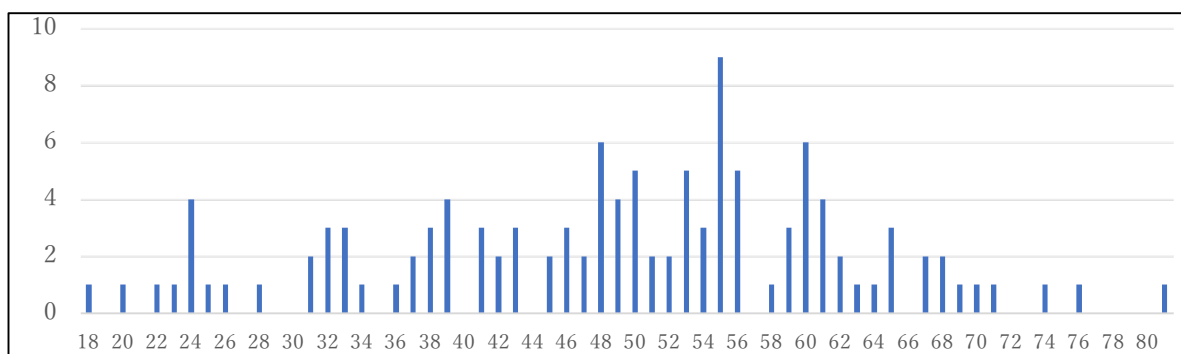
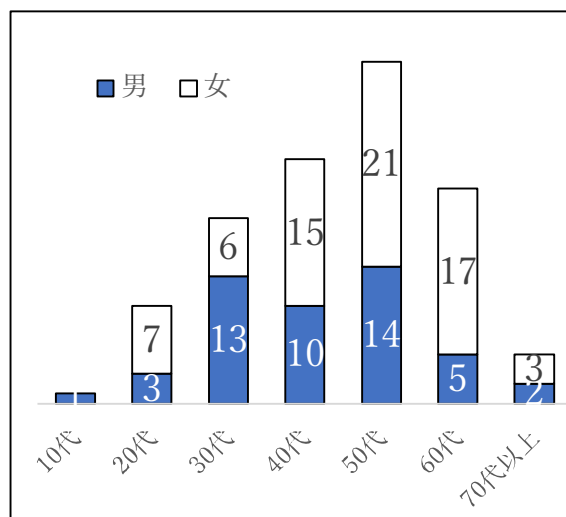


エ、 職員の年齢及び男女比

年齢別でみると50歳代の職員が最も多く、次いで40歳代と続く。(平均48.9歳) 40、50歳代の職員における割合は、全体の51%を占めている。(前年度より10ポイント低下)

20、30歳代の職員は前年度より7人増えた。

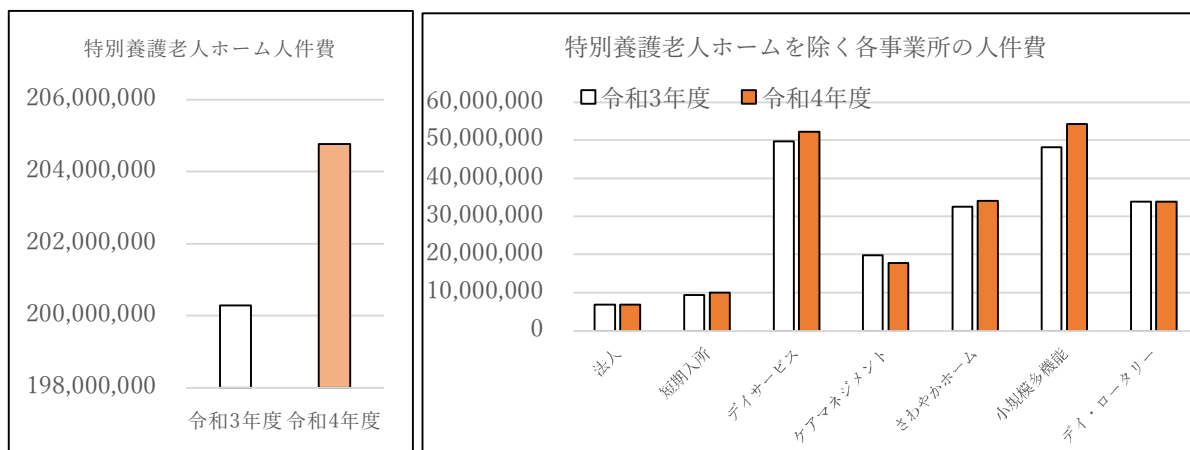
男女の割合では、41:59と女性職員の割合が高いが、30代では男性職員の割合が高い。(令和4年3月現在)



オ 職員給与支払額

事業所が負担する退職金や保険料等を含めると人件費として約4億1350万円、前年度比約1250万円増加した。収入に占める人件費の割合は78.2%。社会福祉法人の適正人件費は、事業所間の差異はあるが70%前後だと言われている。

賞与については、収入面では厳しかったもののコロナ禍の取組みを評価し正職員、契約職員、パート職員とも全額を支給。



[評価]

働き方改革を踏まえ、さらに働き方の多様性を取り入れ、職場環境の改善を検討する必要がある。人材確保が困難になる中、多様な形態での就労を検討する。

人材の育成として、次期中堅層の育成は急務であり、資格取得の支援、研修への参加等を引き続き取り組む必要がある。

労務管理については、勤務状況の ICT 化を図ったことから、適正かつ迅速に対応できるようになった。

コロナ禍での収入減少によって人件費の割合は高くなったが、適正な運営を継続するためにも収入の確保に取り組み、職員への賃金改善にむけて取り組む必要がある。

退職者は前年度より減少したが、やはり人材の確保と育成が、最大の課題である。今後、若い層へ向けての採用活動が求められる。

また、外部の優秀な人材を求めることも検討する。

(3) リスクマネジメントの強化

① 感染予防対策の強化

令和 4 年度は、特別養護老人ホーム、デイサービス、小規模多機能で利用者及び職員の感染拡がりクラスター（5人以上の感染者）が発生した。

どの事業所も感染対策の強化を図ってきたところであるが、職員及び利用者の感染ゼロを達することができなかった。

感染予防を強化するために居住系利用者（特別養護老人ホーム、グループホーム）に対し新型コロナウイルスワクチン予防接種を奨励し集団接種を行った。

全職員対象とした PCR 検査及び抗原検査キットでの検査を継続的に実施し、職員の感染者の早期発見が図られた。

職員に対して随時新型コロナ感染対策の指導、研修、情報発信を行い日常的に感染予防対策を実施した。

また、職員に対しインフルエンザの予防接種費用の一部補助を実施した。

【実施状況】

① 介護事故・苦情への対応

介護事故予防及び苦情への対応については、各事業所の委員会等でマニュアル等を整備し予防対策に取り組んでいる。

各事業所では介護事故予防委員会を設置し、介護事故が発生した場合の検証等を実施し再発防止に努めているところである。

苦情等について対応するため、令和 4 年 9 月には第三者委員をはじめ、各事業所の管理者と合同でリモート配信による研修会を開催した。

② 車両リスクへの対応

法人全体で利用者の送迎車両を含む 21 台の車両を保有。全車両については、人身及び物損事故に対して無制限の保険に加入している。

4 年度はアルコールチェックが義務化され、安全運転管理規程を整備し、新たに副安全運転管理者を配置した。

交通安全委員を中心に各事業所で常に安全運転を心がけているところである。

③ 防災・防犯への対応

消防用設備点検等で指摘のあった事項については、迅速に改善を図った。避難等の訓練については、コロナ禍の影響もあり消防の立ち合いはないものの、計画的に実施した。

防犯カメラの設置を計画していたが、コロナ禍の影響と収支状況を受け先送りとなった。

④ 経営及び業務リスクへの対応

経営及び業務リスクに対応するため、介護事故保険、車両保険、火災保険、職員の労災補償、役員・職員の感染罹患事故補償、法人役員等の賠償責任補償等に参加している。

また、前顧問弁護士の死去に伴い、新たな顧問弁護士委託契約した。

⑤ その他の対応

令和４年１０月に発生した職員による不適切な行為を虐待と判断し市町村へ報告した。市町村から虐待との判断があり、全職員に対し改善計画に基づいた研修を実施し再発防止を図った。

就業規則等に懲戒の該当する職員２名（交通安全違反、虐待行為）に対し、懲戒委員会を開催し懲戒を科した。

【評価】

法人及び事業所の運営にあたり、様々なリスクが発生する。想定しうるリスクをあらかじめ予測し、日頃からその予防に努めることが必要であるが、リスクが発生しても、いかに損失や被害を最小限にすることができるのかも大事な視点である。

そのためには、リスクマネジメントを理解し実践できる組織体制が必要であり、令和５年度も引き続き幹部会議において、リスクマネジメント委員会を位置づけ各事業所へのリスク防止について周知していく。

（４）継続可能な法人運営の推進

【実施状況】

① 法人運営

令和４年度は、新型コロナの影響を受け第２回理事会及び第２回評議員会は「決議の省略」における書面での開催となった。

施設利用者への新型コロナ感染拡大を避けるため、理事会開催場所を３回、評議員会開催場所を３回、事業所外の別会場を借用しての開催となった。

理事会の開催は年間４回（うち１回は決議の省略）、評議員会は年間４回（うち１回は決議の省略）開催された。

令和元年６月の賃金未払い等の訴訟開始から約４年間にわたる口頭弁論を経、令和５年１月に那覇地方裁判所沖縄支部から和解勧告書が提示され、理事会及び評議員会の承認を得、令和５年３月２３日に和解が成立した。

長年にわたり法人の顧問弁護士の死去により不在であったが、新たな弁護士事務所と契約が締結した。

また、令和４年７月に嘉手納町に申請した「社会福祉法人助成金」の助成決定を受け、令和５年２月に介護入浴機器の設置が完了した。

諸規程の整備として、新規規程３件、規程一部見直し７件が承認決議された。

開催年月日	実施会議（決議事項及び報告事項）
令和４年５月２４日～２５日	▷ 令和４年度監事監査
令和４年６月８日 （木）	○ 令和４年度 第１回（決算）理事会 開催場所：西浜区コミュニティーセンター 出席者：理事７名（欠席０人）、監事２名（欠席０人） 【審議事項】 第１号議案： 令和３年度事業報告の承認について 第２号議案： 令和３年度計算関係書類の承認について 第３号議案： 安全運転管理規程（案）の承認について 第４号議案： 顧問弁護士委託契約の承認について 第５号議案： 利用者ベッド購入の承認について 第６号議案： 高圧受電設備修繕工事の承認について 第７号議案： 定時評議員会の招集の承認について 【報告事項】 報告事項１： 令和４年度監事監査の報告 報告事項２： 理事長・常務理事業務執行報告
令和４年６月２７日 （月）	◎ 令和４年度 第１回評議員会（定時評議員会） 開催場所：西浜区コミュニティーセンター 出席者：評議員７名（欠席１名）、監事２名（欠席０人） 【審議事項】 第１号議案： 令和３年度計算関係書類の承認について 【報告事項】 報告事項１： 令和３年度事業報告

	報告事項2： 令和4年度監事監査報告 報告事項3： 令和4年度第1回（決算）理事会決議に関する報告 報告事項4： 理事長・常務理事業務執行報告
令和4年9月29日 （木）	○令和4年度 第2回理事会 ※新型コロナウイルス感染予防のため決議の省略（書面での決議）にて開催 出席者：理事7名（欠席0人）、監事2名（欠席0人） 【審議事項】 第1号議案： 就業規則の一部改正（案）について 第2号議案： 給与規程の一部改正（案）について 第3号議案： 安全運転管理規程の一部改正（案）について 第4号議案： 防災管理規程の一部改正（案）について 第5号議案： エアコン取替工事契約（案）について 第6号議案： 特別養護老人ホーム第1次補正予算（案）について 第7号議案： 評議員会の招集（案）について 【報告事項】 報告事項1： 嘉手納町社会福祉法人助成決定について 報告事項2： 令和4年度監事監査指摘事項における改善・是正について 報告事項3： 令和4年6月～8月理事長・常務理事業務執行報告
令和4年10月7日 （金）	◎令和4年度 第2回評議委員会 ※新型コロナウイルス感染予防のため決議の省略（書面での決議）にて開催 出席者：理事7名（欠席0人）、監事2名（欠席0人） 【審議事項】 第1号議案： 特別養護老人ホーム第1次補正予算（案）について 【報告事項】 報告事項1： 嘉手納町社会福祉法人助成決定について 報告事項2： 令和4年度監事監査指摘事項における改善・是正について 報告事項3： 令和4年6月～8月理事長・常務理事業務執行報告
令和4年12月13日 （火）	○令和4年度 第3回理事会 開催場所：嘉手納町総合福祉センター 出席者：理事7名（欠席0人）、監事2名（欠席0人） 【審議事項】 第1号議案： 令和4年度特別養護老人ホーム第2次補正予算（案）の承認について 第2号議案： 介護用入浴機器設置契約（案）の承認について 第3号議案： 管理規程（案）の一部改正について 第4号議案： 令和4年度第3回評議員会招集（案）承認について 【報告事項】 報告事項1： 比謝川の里幹部職員等人事（案）について 報告事項2： 理事長・常務理事職務執行状況報告（令和4年9月～11月分）
令和4年12月22日 （木）	◎令和4年度 第3回評議委員会 開催場所：西浜区コミュニティーセンター 出席者：評議員7名（欠席1名）、監事2名（欠席0人） 【審議事項】 第1号議案： 令和4年度特別養護老人ホーム第2次補正予算（案）の承認について 【報告事項】 報告事項1： 令和4年度第3回理事会決議事項

	報告事項2： 理事長・常務理事職務執行状況報告（令和4年9月～11月分）
令和5年3月14日 （火）	○令和4年度 第4回理事会 開催場所：嘉手納町総合福祉センター 出席者：理事7名（欠席0人）、監事2名（欠席0人） 【決議事項】 第1号議案： 令和4年度補正予算収支予算書（案）の同意について 第2号議案： 令和5年度事業計画（案）の同意について 第3号議案： 令和5年度予算（案）の同意について 第4号議案： 未払い賃金等請求事件和解勧告書の承認について 第5号議案： 弁護士事務所への成功報酬及び実費代の支払い承認について 第6号議案： 職員紹介採用（リファラル採用）制度規程（案）の承認について 第7号議案： 定款細則一部変更（案）の承認について 第8号議案： 令和4年度第4回評議員会招集（案）承認について 【報告事項】 報告事項1： 介護用入浴機器設置（嘉手納町助成）設置完了について 報告事項2： 令和5年1月特養施設新型コロナウイルス発生状況 報告事項3： 理事長・常務理事職務執行報告 報告事項4： 社会福祉法人幸仁会役員（理事・監事）任期満了に伴う選任の手順について
令和5年3月22日 （木）	◎令和4年度 第4回評議員会 開催場所：西浜区コミュニティーセンター 出席者：評議員7名（欠席1名）、監事2名（欠席0人） 【審議事項】 第1号議案：令和4年度補正予算（案）の承認について 第2号議案：令和5年度事業計画（案）の承認について 第3号議案：令和5年度予算（案）の承認について 第4号議案：未払い賃金等請求事件和解勧告書の承認について 第5号議案：弁護士事務所への成功報酬及び実費代の支払い承認について 【報告事項】 報告事項1：令和4年度第4回理事会決議の内容 報告事項2：令和5年1月特養施設新型コロナウイルス発生状況 報告事項3：介護用入浴機器設置（嘉手納町助成）設置完了について 報告事項4：社会福祉法人幸仁会役員（理事・監事）任期満了に伴う選任の手順について 報告事項5：理事長・常務理事職務執行報告

② 法人・総務課等事業報告

令和4年度は、前年度に引き続き施設設備の老朽化への対応と、職員の確保及び新型コロナウイルス感染予防対策等に重点が置かれた事業内容となった。

施設設備については、冷房機器の故障等に伴う修繕及び取替工事等が発生した。

また、労務関係では、利用者の新型コロナウイルス感染症により、医療機関に入院できず施設で療養せざる負えない状況での職員の負担を評価するため、就業規則に特別勤務手当を支給する旨の規定の変更を行った。これによりクラスター時の対応した職員に対し手当を支給できた。

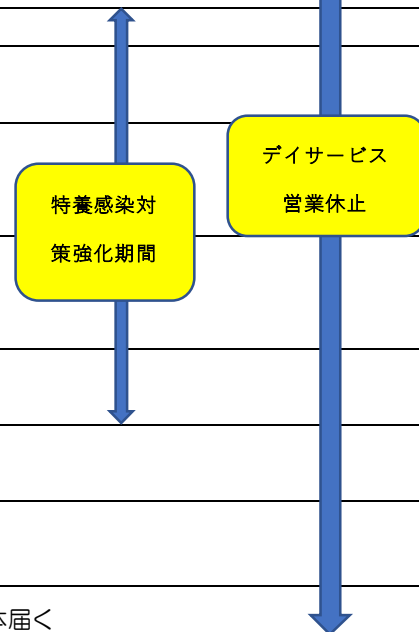
また、就業規則には職員の資格取得を支援するための支援内容を充実した。

職員に対しインフルエンザ予防接種費用の補助と予防薬の一部補助を実施し、ほとんどの職員がワクチン摂取することができた。感染予防の徹底と予防接種からインフルエンザ感染した利用者が感染ゼロを達成できたと思える。

日		令和4年4月事業内容
1	金	・変形労働時間届出→労働基準監督署提出
5	火	・4月幹部会議 ・しせつの損害補償の手引き全事業所配布 ・4月施設サービス課会議
6	水	・洗濯場2槽式洗濯機搬入（特養） ・沖縄県コロナ対策本部へ特養介護職新型コロナ陽性の報告
7	木	・嘉手納町平成4年度老人ホーム入所判定会議出席（嘉手納町役場）
8	金	・新型コロナ拡大傾向における職員への協力依頼文書作成掲示配布 ・沖縄県コロナ対策本部へデイ職員陽性者発生の報告
11	月	・IDO オンラインセミナー利用契約書締結 ・EAP サービス業務委託契約書締結（メンタルヘルス支援） ・法人委員長会議
12	火	・令和4年度第1回職員92名PCR検査提出 ・令和4年度ケアマネ受験対策勉強会案内通知
13	水	・介護職員処遇改善計画書・特定処遇改善計画書・改善支援補助金計画書提出決裁 ・職員PCR検査結果全員陰性報告
15	金	・自動販売機（コカコーラ）交換 ・入所判定会議参加
16	土	・特養内部点検実施
18	月	・消防設備部品交換
20	水	・法人感染予防委員会より通知作成全事業所配布（濃厚接触者の定義等）
26	火	・令和4年度第2回職員106名PCR検査提出 ・ケアマネ試験対策勉強会オリエンテーション
27	水	・PCR検査の結果職員4名新型コロナ陽性判明
28	木	・監事監査依頼書発送
30	土	・特養介護職員、抗原キット陽性の報告及び緊急対策会議の要請 ・特養緊急コロナ対策会議 ・沖縄県コロナ本部統括情報部「医療機関・施設支援グループ」に連絡

日		令和4年5月事業内容
1	日	・特養コロナ対策会議開催（4月30日介護職員コロナ発生） 9:30

2	月	・デイ介護職員コロナ陽性の報告 ・デイ休止判断 ・5月幹部会議
3	火	・特養利用者新型コロナ陽性の報告 20:00 ・緊急コロナ対策会議 21:30~22:30
4	水	・新型コロナ関連業務
5	木	・新型コロナ関連業務
6	金	・新型コロナ関連業務
7	土	・新型コロナ関連業務
8	日	・新型コロナ関連業務
9	月	・介護福祉士国家試験合格者の報告 グループホーム職員 ・新型コロナ関連業務
10	火	・令和4年度第3回職員PCR検査提出 ・特養介護職員育児休業申請書受理 ・新型コロナ関連業務
11	水	・PCR検査全員陰性 ・建物コンクリート剥離箇所業者下見 ・新型コロナ関連業務
12	木	・小規模利用者線型コロナ陽性報告 ・新型コロナ関連業務
13	金	・特養感染対策（隔離）解除 ・新型コロナ関連業務
17	火	・デイ利用者新型コロナ陽性報告 ・しせつの保険（感染対策費用補償）について報告書作成提出
18	水	・沖縄県保健医療部ワクチン検査推進課より抗原検査キット450体届く
23	月	・幹部職員及び管理栄養士に対し医療従事者不在時におけるコロナウイルス抗原キット検査ガイドライン及び理解度確認テスト実施。 ・5月運営会議
24	火	・令和4年度第4回職員99名PCR検査提出 ・令和4年度法人監査 ・沖縄県保健医療部ワクチン検査推進課より追加分抗原検査キット450体届く ・嘉手納町高齢者福祉計画会議参加（理事長）
25	水	・令和4年度法人監査 ・職員コロナ陽性の報告 ・緊急対策会議開催 17:30~18:00
26	木	・自動車保険満期前見積等依頼
27	金	・社会福祉法人一心の会（久米島）との意見交換会（西浜区コミュニティーセンター）
30	月	・小規模新型コロナ陽性職員報告
31	火	・令和4年度決算理事会資料完成→案内通知発送



日		令和4年6月事業内容
1	水	・特養介護職員採用
2	木	・施設サービス課会議参加 ・令和3年度収支状況EY

3	金	・6月幹部会議
8	水	・令和4年度第1回決算理事会 ・緊急コロナ対策会議（ショートステイ利用者新型コロナ陽性を受けて） ・特養でいご利用者 健康観察（隔離）開始
9	木	・車両保険見積依頼 ・沖縄海邦銀行定期切替 ・ケアマネ試験対策勉強会
11	土	・保健所から隔離期間の報告（ショート利用者6月18日まで待機期間との報告受ける） ・特養コロナ対策会議
12	日	・でいご利用者（22名）PCR検査スクリーニング受取及び検体接種 ・令和3年度計算書類、事業報告、監査報告書を事務所据え置き
13	月	・入所判定会議参加 ・特養でいご利用者全員陰性の報告
14	火	・職員PCR検査
15	水	・職員PCR検査全員陰性（99名）報告 ・職員夏季賞与
16	木	・令和4年5月分サービス増減差額報告 ▲745,972円 ・特養 外部食事提供（厨房非常時を想定）
17	金	・令和4年度分嘉手納町土地借用料支払い ・定時評議員会案内通知発送
18	土	・内部点検（ケアマネジメント比謝川の里）
19	日	・特養利用者居室大掃除 ・感染者（ショート利用者）自粛期間終了
20	月	・6月運営会議
22	水	・事務員コロナ感染報告
27	月	・令和4年度定時評議員会
28	火	・現況届作成ネット届出 ・嘉手納町民生員推薦会出席（理事長） ・社会福祉法人変更登記申請書提出
29	水	・顧問弁護士契約 吉村正夫法律事務所 ・嘉手納町社会福祉協議会評議員会出席（理事長）
30	木	・自動車保険契約完了 東京海上日動火災（株） ・小規模、グループホーム訪問看護派遣契約 ・ケアマネ試験対策勉強会



日		令和4年7月事業内容
1	金	・嘉手納町へ社会福祉法人助成申請書提出
4	月	・嘉手納町から社会福祉法人助成決定通知届く（助成額 500万円）
5	火	・職員PCR検査実施（98名分） ・7月幹部会議（法人感染予防委員会） ・ケアマネ試験対策勉強会
6	水	・沖縄県介護福祉課へ現況届提出

7	木	・沖縄県人福祉施設（特養・養護・軽費）に係る改築予定の調査についてメール回答 ・嘉手納町長への表敬訪問 ・ケアマネ試験対策勉強会
8	金	・特養・グループホーム利用者4回目ワクチン接種
11	月	・特養コロナ対策会議
14	木	・消防設備点検 ・厚労省令和4年度介護事業実態調査インターネット提出 ・ケアマネ試験対策勉強会
15	金	・九州老人福祉施設参加申込
17	日	・特養居室等清掃参加
19	火	・職員PCR検査（94名分）提出 ・7月運営会議 ・職員自粛要請通知作成通知 ・ケアマネ試験対策勉強会
20	水	・職員PCR検査（94名分）提出全員陰性
21	木	・介護職希望者面接 ・ケアマネ試験対策勉強会
22	金	・入所判定会議参加 ・特養6・7月生まれ誕生会
25	月	・新採用介護職員のロデイ配置を決定
26	火	・法人研修「ハラスメント防止」 ・介護タクシー（イーグル）営業対応 ・ケアマネ試験対策勉強会
27	水	・全館エアコン不具合箇所を業者にFAX送信 ・嘉手納町民生員推薦会議、理事長参加（嘉手納町役場）
28	木	・ケアマネ試験対策

日		令和4年8月事業内容
1	月	・総務省・経済産業省「2022年経済構造実態調査」回答送信
2	火	・職員PCR検査（94名分）提出 ・7月幹部会議
3	水	・職員PCR検査結果報告（特養介護職1名陰性） ・緊急コロナ対策会議開催（特養さくら隔離開始）
4	木	・抗原検査キット購入100個 ・スポットクーラー1台購入
7	日	・さくら隔離解除決定
8	月	・特養運営基準変更確認
9	火	・新型コロナ対応勤務継続判断基準見直し
15	月	・沖縄県依頼「災害時重要施設への石油に係る設備情報調査」の回答送信
16	火	・デイ利用者2名新型コロナ感染報告

特養さくら健康

17	水	・コロナ感染対策
18	木	・特養職員 2 名、特養利用者 1 名新型コロナ陽性判明。 ・感染予防拡大防止会議開催 ・職員 10 回目 PCR 検査提出
22	月	運営会議延期
23	火	デイサービス今月末まで休止決定
27	土	・換気用大型扇風機 2 台購入
28	日	・沖縄電気保安協会、発電機定期点検
30	火	・特養台風対策会議

特養コロナ拡大防止対策期間 8 月 18 日～9 月 2 日

デイサービス営業休止

8 月 20 日～

8 月 31 日

日		令和 4 年 9 月事業内容
1	木	
2	金	・9 月幹部会議 ・特養コロナクラスター終了
3	土	・台風 11 号対策 ・感染予防対策隔離解除
8	木	・令和 4 年度福祉サービスに関する苦情解決セミナー（オンライン）開催 ・感染者の療養期間と濃厚接触者の観察期間（基本）作成配布
12	月	・家族窓越し面会再開の通知文発送 9 月 16 日（金）再開予定
13	火	・特養利用者ベッド搬入
14	水	・職員健康診断 ・令和 4 年度社会福祉法人幸仁会監事監査指摘事項の改善・是正状況報告を県に提出
15	木	・11 回目職員 PCR 検査提出 ・特養・グループホーム利用者健康診断 ・就業規則、給与規程一部変案の職員意見について職員代表に依頼 ・ストレスチェック開始
16	金	・職員 PCR 検査全員 陰性 ・特養利用者面会解除→窓越し面会可 。建設設備定期検査
20	火	・就業規則、給与規程一部変案の職員代表意見提出 ・9 月運営会議
21	水	・沖縄労働基準監督署来所 ・特養夕涼み会 ・理事会開催通知発送
27	火	・前理事東恩納依徳氏より車椅子代金の寄贈
28	水	・沖縄労働基準監督署来所
29	木	・第 2 回理事会（決議の省略）開催 ・入所判定会議参加

30	金	・光の子幼児学園敬老の日うちわ寄贈
----	---	-------------------

日		令和4年10月事業内容
1	土	・施設サービス課会議
2	日	・野國総管まつり車椅子貸し出し
3	月	・事務所ミーティング
4	火	・幹部会議
5	水	・嘉手納町民生員推薦委員会出席（理事長） ・第2回理事会議事録配布
6	木	・インフルエンザ予防接種補助通知
7	金	・特養でいご側廊下WAXがけ ・第2回評議員会開催（決議の省略）開催
11	火	・事務所ミーティング
12	水	・第2回評議員会議事録発送
13	木	・職員PCR検査実施 ・職員インフルエンザ予防接種希望者名簿提出
14	金	・職員PCR検査全員陰性 ・厚生労働省社会福祉施設等調査及び介護サービス施設・事業所調査作成送付
16	日	・不適切な対応の疑いのケース報告
17	月	・10月運営会議
18	火	・介護補助不適切行為について確認
19	水	・比謝川の里長寿を祝う会
21	金	・琉銀定期更新 ・入所判定会議
22	土	・虐待案件について家族説明
23	日	
24	月	・事務所ミーティング ・沖縄労働基準監督署へ就業規則変更届、労働基準監督は正状況報告書の届出完了
26	水	・利用者及び職員インフルエンザ予防接種 ・特養家族面会に向けての調整会議→11月1日から面会一部解除を実施
27	木	・職員PCR検査実施
28	金	・職員PCR検査全員陰性
31	月	・厨房ガス器具点検結果報告→不具合箇所確認

日		令和4年11月事業内容
1	火	・特養家族面会一部緩和開始
4	金	・幹部会議 ・小規模福祉車両購入契約
9	水	・発電機修理

15	火	・セコムより防犯カメラ見積等説明 ・元理事（東恩納依徳氏）より車椅子 14 台の寄贈。沖縄タイムス、琉球新報取材
17	木	・沖縄県委託事業感染予防対策研修 講師 ソーシャルアクション 職員参加22名
18	金	・令和5年度嘉手納町委託事業見積書提出
20	日	・ロデイ内部点検報告書受領
21	月	・11月運営会議 ・令和4年度第1回懲戒委員会開催
22	火	・嘉手納町老人福祉計画策定委員会参加（嘉手納町役場）
24	木	・名嘉設備工業による非常灯設備不適格箇所確認
28	月	・令和4年4月～10月収支状況確認（EY事務所） ・利用者及び職員新型コロナ予防接種 ・吉村顧問弁護士事業所訪問来所
29	火	・嘉手納町地域包括ケア会議参加（理事長）
30	水	・非常灯設備取替工事見積確認 ・完全調理済食材クックチル売買基本契約書（株式会社 東屋）締結

日		令和4年12月事業内容
1	木	・特養訓練員採用
2	金	・12月幹部会議 ・令和4年度職員冬季賞与満額支払周知
5	月	・嘉手納町福祉課へ委託事業見積再提出
6	火	・令和4年度沖縄県老人福祉施設協議会・第2回総会書面評決書提出
8	木	・施設経営者向けセミナー（ZOOM）理事長参加
9	金	・厨房カス器具工事 ・特養ホールワックスがけ
12	月	・小規模・ロデイ食事提供の件で協議（食事外注について）
13	火	・令和4年度第3回理事会（嘉手納町社協会議室）
15	木	・①リスクマネジメント研修 理事長担当 ・冬季賞与
16	金	・沖縄労働局安全衛生専門家会議理事長参加（WEB）
18	日	・特養居室、廊下、食堂ホール WAX
19	月	・②リスクマネジメント研修 理事長担当
20	火	・運営会議 ・令和4年度ストレスチェック報告会
22	木	・令和4年度第3回評議員会 ・職員PCR検査実施
26	月	・緊急幹部会議（人事案提出） ・12月収支報告会

28	水	・特養介護職員 2 名結膜炎→出勤停止 ・小規模多機能利用者新型コロナ陽性の連絡 ・事務所年末大掃除
29	木	・非常用照明設備不具合個所の取替工事完了

日		令和5年1月事業内容
1	日	・特養介護職員 1 名採用 ・グループホーム、小規模多機能事業所訪問（理事長新年の挨拶）
2	月	・特養お正月会参加
4	水	・特養ご家族からオープンレンジの寄贈 ・施設サービス課会議参加（理事長）
5	木	・1 月幹部会議
6	金	・入所判定会議
7	土	・前日ショート利用者の新型コロナ陽性の報告
8	日	・緊急新型コロナ対策調整
9	月	・新型コロナ対策調整 新型コロナ感染症対策マニュアル（沖縄県）施設サービス課配布
10	火	・8 日までショート利用者の新型コロナ陽性の報告 ・特養利用者①（でいご）1 名新型コロナ陽性 17:30→沖縄県コロナ対策室に連絡 18:10
11	水	・コロナ対策会議開催 ・特養利用者②③（でいご）2 名新型コロナ陽性
12	木	・嘉手納町役場都市建設課「嘉手納 2 番地への進出可能性に関するアンケート」回答郵送
13	金	・特養利用者④（さくら）1 名新型コロナ陽性 ・沖縄県コロナ施設支援班来所
14	土	・内部点検（デイサービス）延期（コロナ拡大）
16	月	・運営委員会延期の通知（コロナ拡大） ・辞令交付 ・特養利用者⑤（さくら）1 名新型コロナ陽性
17	火	・消防設備点検延期（コロナ拡大） ・特養利用者⑥（さくら）1 名新型コロナ陽性
18	水	・辞令交付 ・特養利用者⑦⑧（さくら）2 名新型コロナ陽性
19	木	・送電線取替工事確認のため停電
20	金	・家族あてコロナの状況等について文書送付 ・特養利用者⑨⑩⑪⑫（さくら）4 名新型コロナ陽性
23	月	・令和5年1月運営会議 ・コロナ対策臨時会議
24	火	・介護用入浴機器撤去 ・辞令交付 ・特養利用者⑬（さくら）1 名新型コロナ陽性
26	木	・沖縄県老施協依頼アンケート回答 「低所得者に対する負担軽減制度」メール回答 ・職員 PCR 検査提出
27	金	・職員 PCR 検査結果→全員陰性

特養コロナ拡大防止対策期間

1月10日～2月3日

30	月	・特養入所判定会議
31	火	・特養介護事故について家族へ経緯の説明及び謝罪 ・家族あてコロナクラスターの状況等について文書送付

日		令和5年2月事業内容
1	水	・幹部人事異動 ①玉城竜一 地域支援課長→介護統括部長 ②比嘉直樹 特養介護→施設サービス課長 ③平田 怜 システム管理者→総務課長 ④翁長兼秀 小規模管理者→地域支援課長 ⑤玉城 政 施設サービス課長→業務支援課長 ・施設サービス課会議参加
2	木	・各事業所来年度購入等希望票提出 ・幹部会議
3	金	・新採用職員オリエンテーション
6	月	・新型コロナ収束について家族あて文章作成発送
7	火	・令和5年度職員代表選挙管理委員会公募通知
8	水	・交通安全管理者講習2名派遣 ・コザ年金事務所厚生年金適用調査課職員来所
9	木	・自衛消防管理者研修4名派遣 ・職員PCR検査実施 ・消防設備点検
10	金	・職員PCR検査提出全員陰性 ・入所判定会議
11	土	・内部点検（デイサービス）
13	月	・ロデイ職員インフルエンザ発症報告 ・令和5年度職員代表選挙管理委員の選任通知 ・嘉手納町成年後見人制度促進会議（理事長参加）
14	火	・ロータリーデイ看護職員逝去の報告
16	木	・職員人事異動について確認 2月16日付 ①比嘉慎之介 3月1日付 ①金城周哉 GH介護→特養介護 ②宮里千秋 小規模パート→特養パート ・令和5年度法人事業計画作成
17	金	・消毒請負契約起案決裁承認 ・沖縄労務局安全衛生労使専門家会議参加（沖縄労務局）理事長参加
20	月	・令和5年1月運営会議
21	火	・職員PCR検査提出 ・1月収支報告会
22	水	・嘉手納町助成金交付事業「介護用入浴機器」設置 ・職員PCR検査結果全員陰性
24	金	・拓南製鉄工場見学
25	土	・貯水タンク清掃 ・全館消毒

日		令和5年3月事業内容
---	--	------------

1	水	- 人事異動 ① ロデイ介護 → デイ介護 ② デイ介護 → ロデイ介護 ③ GH介護 → 特養介護 ④ 小規模介護パー特養介護パ
2	木	幹部会議
6	月	- 安全衛生委員会開催 - 故特養利用者家族から寄付 - 入所判定会議
7	火	特別勤務手当支給通知
8	水	コロナ振り返り会議
9	木	- 職員 PCR 検査提出 - 令和 4 年度嘉手納町より社会福祉法人助成金にて購入の介護用入浴機器代金の支払いについて決裁 - 上智大学研究協力依頼伺い承認
10	金	- 職員 PCR 検査結果全員陰性報告 - 中部土木事務所からは是正文書受理
13	月	- 小規模多機能車両納車 - 設計集団ファイブへ「定期報告是正完了届」公印押印 - 家族面会一部解除開始 - 車両保険（小規模多機能車両）乗せ換え手続 - ゆい社労士来所相談
14	火	令和 4 年度第 4 回理事会
15	水	エレベーター故障→修繕依頼
16	木	- 夜勤対応職員健康診断 - 沖縄県老施協第 3 回総会（理事長、介護統括部長、施設サービス課長出席）
20	月	- 令和 5 年度職員代表決定（デイ訓練員） 3 月運営会議 - 沖縄県社会福祉経営協総会（理事長、介護統括部長出席）
21	火	特養美容サービス（約 3 か月ぶりに再開）
22	水	令和 4 年度第 4 回評議員会（西浜区コミュニティーセンター）
23	木	- 職員 21 回目 PCR 検査提出 - 裁判 和解成立
24	金	- 令和 4 年度沖縄県介護保険施設等集団指導確認アンケート送信 - 職員 PCR 検査結果全員陰性報告
27	月	- 介護補助職員新型コロナ陽性 - 緊急感染予防対策会議開催
28	火	IDO オンラインセミナー契約更新承認
29	水	- 消防設備等交換及び修繕伺い決裁 - 令和 5 年度社会福祉施設の損害賠償保険料支払い承認 - 施設内研修「主任育成プログラム」理事長担当 - 沖縄県主催「感染症の予防・まん延防止に係る研修・訓練を実施するための研修会」オンライン参加
30	木	令和 5 年度法人委員会メンバー決定
31	金	嘉手納町民生児童員推薦会（理事長参加）

③ 幹部会議

幹部会議は、理事長、常務理事、各課長、各事業所管理者が定期的に参集し、その目的である職員の労務管理に関する内容や、事業所の課題、事業所の運営方針等を協議する会議。

特に４年度は、新型コロナ感染に関する議題や周知事項が提出され、感染予防対策の周知、発生時の対応等について協議した。

（幹部会議の主な内容）

開催日	会議の主な内容
４月５日	○ 令和４年度「しせつの損害補償の手引き」について ○ 令和４年度法人委員会について ○ 令和４年度介護支援専門員実務研修受講試験対策勉強会開催について ○ 幹部会議の目的 ○ 令和４年度各事業所年間介護収入目標等について
５月２日	○ 安全運転管理規程の整備について ○ 感染予防対策の徹底について
６月３日	○ 令和３年度事業収支状況報告 ○ 新型コロナ関係 ○ 令和４年度夏季賞与について
７月５日	○ 安全運転管理規程の周知 ○ 顧問弁護士契約について ○ 食費の適正化について（案） ○ 嘉手納町助成金決定について
８月２日	○ 新型コロナ感染拡大による職員自粛要請及び感染対策の周知 ○ 施設防音工事申請取り下げについて ○ 食費の値上げについての周知
９月２日	○ 第１０回目 PCR 検査提出の再日程変更 ○ 台風１１号接近に伴う台風対策について ○ 介護職員等ベースアップ等支援加算処遇改善計画書について ○ デイサービス及び特養新型コロナクラスター発生状況
１０月４日	○ ローターデー継続判断について ○ 規程等の変更について ○ 新型コロナ９月３０日以降の沖縄県対処方針について ○ インフルエンザ予防接種の補助について ○ 法人事業組織の見直しについて
１１月４日	○ 比謝川の里から「虐待」を発生させない（周知） ○ 感染者の療養期間と濃厚接触者の観察期間（再確認） ○ 沖縄県委託事業「感染予防対策研修」実施について（周知）
１２月２日	○ 比謝川の里職員幹部組織図（案） ○ 新型コロナ及び季節性インフルエンザに係る通知（周知） ○ PCR 検査再開のお知らせ ○ 令和４年度冬季賞与率（周知）
緊急開催 １２月２６日	○ 組織機構について ○ 抗原キット説明 ○ 年末年始の対応等について
１月５日	○ 令和５年度 購入等希望物品届出書について ○ 介護職員等人事異動について ○ 新型コロナ及び季節性インフルエンザに係る通知（再周知）
２月２日	○ 令和５年度 比謝川の里職員代表選挙 選挙管理委員会の公募 ○ 喫煙のマナーについて

	○ 各事業所の令和5年度年間収入見込額（利用率）と事業計画案作成について ○ 特養クラスター発生状況
3月2日	○ 特例インフルエンザに関する勤務の取り扱い方針終了 ○ 令和5年度 各事業所事業計画（案） ○ 令和5年度法人委員会（案）について

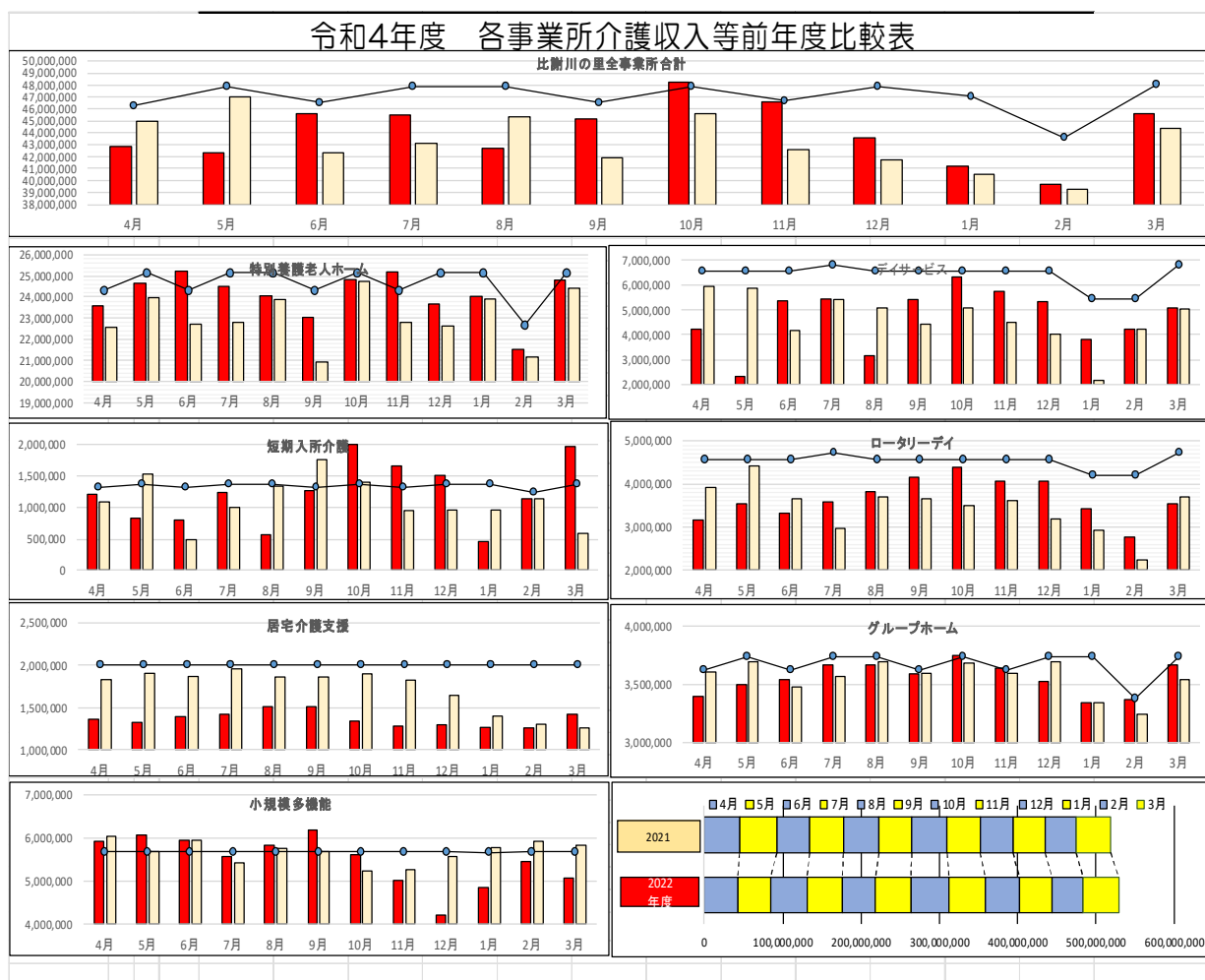
④ 全事業所の介護等収入と事業収支差額

【実施状況】

（令和4年度各事業所の介護報酬）

令和4年度の全事業所の介護報酬収入等は、デイサービスの事業休止、利用制限や利用控え、利用前の実態調査等の制限等新型コロナの影響を受け、約5億2890万円で前年度より約1035万円増加した。前年度よりも法人事業所全体で2%増加した。

目標達成率は93.8%と新型コロナの影響が収まれば、増収の改善が期待できる。



令和4年度 令和3年度 折れ線 令和4年度目標

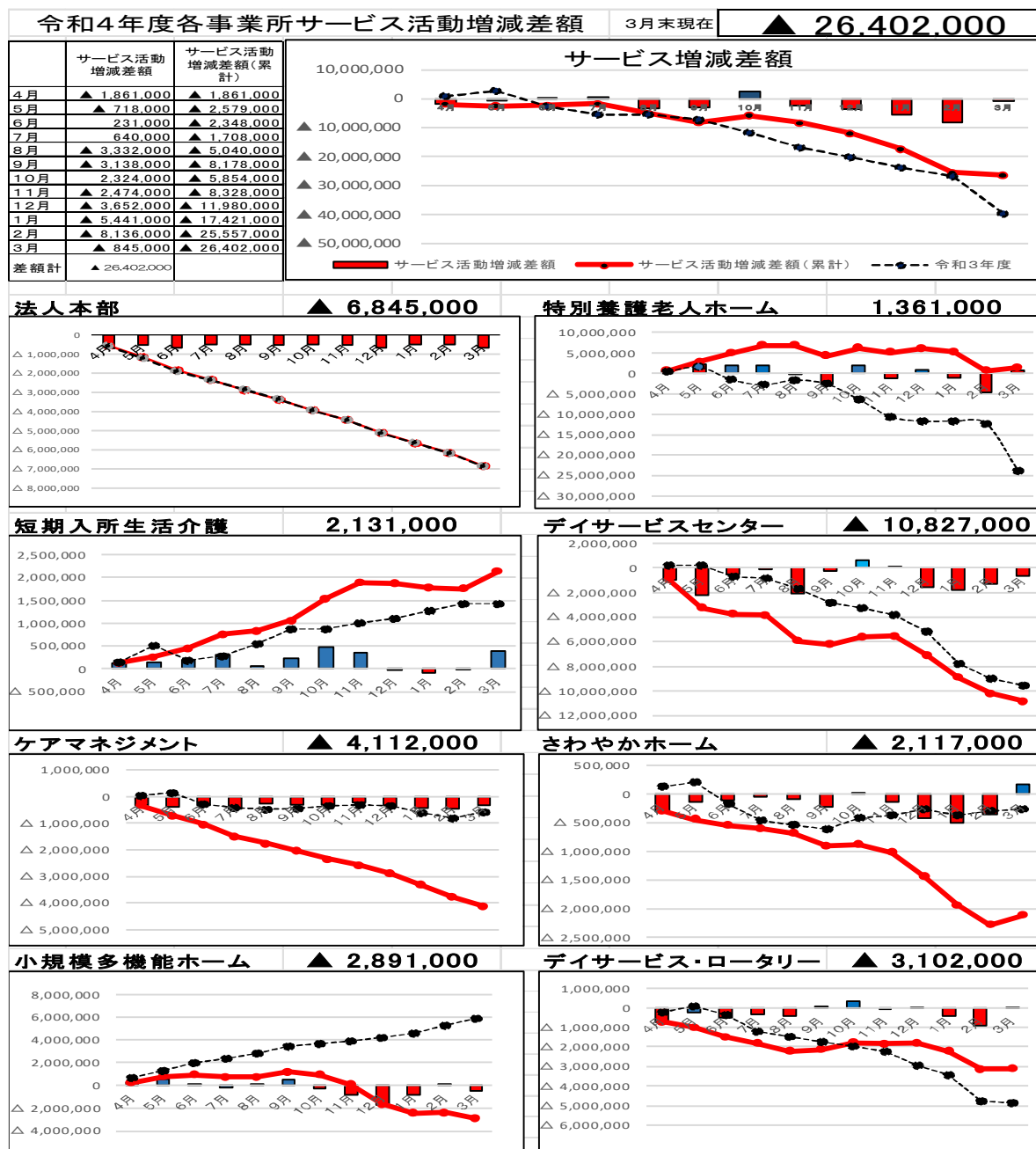
(令和4年度各事業所のサービス増減差額)

法人事業所全体として、事業活動収支は赤字(約▲2640万円)となった。

目標としていた全事業所の黒字化は達成できず、特別養護老人ホームと短期入所のみが黒字であった。デイサービス及び小規模多機能は、新型コロナの影響等を受け大幅な介護収入減となり、赤字幅が広がった。

その他の赤字の要因として、事業所の超過職員配置による人件費増と加算の未取得が影響を受けた。

特別養護老人ホームについては、前年度約2400万円の赤字から136万円の黒字に回復した。



折れ線 令和3年度、

点線折れ線 令和2年度、

棒グラフ 収支差額

⑤ 設備の修繕、改修、購入

令和4年度は、30周年記念事業で計画していた利用者の環境整備の電動ベッド、床頭台（キャビネット）の老朽化に伴う残りの取替等の改善が図られた。

また、嘉手納町の助成金（500万円）を活用し、老朽化し修繕不能であった固定式介護浴槽の整備ができた。

（10万円を超える資産・物品等）

資産・物品・工事 等	購入	修繕	事業所名	取得年月日	数量	価格	補助金等
非常用照明器具取替工事		○	特別養護老人ホーム	R4/4	1	143,000	
冷蔵庫	○		特別養護老人ホーム	R4/4	1	106,590	
天カセエアコン取替工事一式（さくら1）	○		特別養護老人ホーム	R4/5	1	324,626	
電動ベッド（サイドレール含む）	○		特別養護老人ホーム	R4/9	33	7,659,300	
電動ベッド（サイドレール含む）	○		短期入所	R4/9	4	928,400	
男女トイレ扉、引き戸取替工事		○	小規模多機能	R4/11	1	215,160	
非常用発電装置点検及び部品交換		○	特別養護老人ホーム	R4/11	1	202,818	
LED証明取替工事修繕工事		○	特別養護老人ホーム	R5/1	1	176,000	
固定式介護浴槽（一式）	○		特別養護老人ホーム	R5/3	1	5,387,725	5,000,000

【評価】

令和4年度は、新型コロナの影響を受け昨年度同様厳しい経営状況となった。

介護収入等については、新型コロナの影響を受け在宅サービス、デイサービス、小規模多機能、ケアマネ事業所が大きく減収となったが、各事業所での取り組みによって差異もあることから、各事業所における収支を把握し指揮系統を強化し安定した経営を維持する必要がある。

令和5年2月に新年度に向け、職員の安全衛生向上及び人材育成、組織の活性化と事業の適正な介護事業推進のため、比謝川の里組織体制を一部見直し、課長職以上の幹部人事を行った。

利用者が安心してサービスを受け、職員が働きがいのある職場となるために、職員の資質向上へ向けた取組と、キャリアパスに基づく処遇体系の充実が課題である。

また、利用者の生活環境をより一層向上していくためにも、設備等の改善、整備に対処していく。

4. 年間統括と今後の課題

令和4年度は、法人全体でサービス活動収入等は前年度より約1500万円の収入増となったが、活動収支差額が約▲2220万円（前年度約▲3720万円）の赤字となり前年度に続き、新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。

そのため、4年度も昨年度に続き新型コロナウイルス感染予防対策に重点が置かれた事業内容であったため、他の事業や計画に支障が出た。

この間、在宅サービス利用者の方へは、サービスの一部制限等にご協力いただいた。居住系サービス（特養、グループホーム）の利用者に対しては、様々な外部との交流の制限や、ご家族との面会制限など、利用者の施設生活に少なからず影響を与えている。

職員には長期にわたり、私生活においても自粛を要請している状況から負担をかけていることと考える。

5年度からはコロナが5類に移行するに伴い、ウイズコロナを見据えた事業を模索し、利用者の方々へ普通の生活を支援できるよう取り組むことが必要と考える。

令和4年度は、約4年間にわたる2件の法人に対する訴訟が和解により解決した。

労働環境の改善として、令和4年度から60歳以上及び短時間契約職員へ賞与を支給するなど待遇の改善を図った。社会保険労務士による指導を受け、就業規則の一部改正をしたところである。また、会議等や職員代表者の意見等から、正当な職場環境の改善が図られるよう、法人として真摯に改善に取り組んでいく。

それぞれの事業所において収支差額の黒字化を目指したが、結果は7つの事業所のうち2つの事業所の黒字にとどまった。各事業所の管理者等には引き続き経営の状況等を開示し、全職員が一丸となって目標を達成できるように取り組んでいく。

法人として最大の課題は、介護収入の安定的確保、職員の確保と育成、そして施設設備の老朽化対策に加え、コロナ5類移行の対応である。

継続して安定した法人の運営には、法人の掲げた理念に基づき、行動を実践することが必要である。そのためには、各事業所及び職種の役割を發揮し、協働関係を維持しながら質の高いサービスを求めることにある。

これら課題を解決するため、職員及び役員等と共に改善に向け取り組んでいきたい。

安定した介護収入を維持しながら、より公平で透明性の高い社会福祉法人を運営していきたい。

令和4年度事業報告
施設サービス課・業務支援課

自： 令和 4年 4月 1日

至： 令和 5年 3月31日

社会福祉法人幸仁会

令和4年度 施設サービス課・業務支援課事業報告

1. 報告書作成者（管理職員）

施設サービス課 比嘉 直樹

業務支援課 玉城 政

2. 実施事業（事業所名）

（1） 特別養護老人ホーム比謝川の里

（2） 短期入所生活介護事業所比謝川の里

3. 実施事業

（1） 誕生会の実施： 11回実施

（2） 入所者外出： 2回実施

（3） 理髪サービス： 5回実施

（4） 美容サービス： 4回実施

（5） 居室清掃： 5回実施

（6） 特養まつり： 令和4年9月21日（水曜日）開催

（7） 長寿祝い会： 令和4年10月19日（水曜日）開催

（8） クリスマス会： 令和4年12月26日（月曜日）開催

（9） 正月会： 令和5年1月2日（月曜日）開催

（10） 夜間想定避難訓練・総合訓練： 2回実施（みなし）

（11） 健康診断： 2回実施

4. 実施会議及び研修

（1） 実施会議

① 施設サービス課会議

② でいご、さくら、2階チーム定例会議（主任会議）

③ 多職種会議（スタッフ室職員）

④ サービス担当者会議

⑤ モニタリング会議

⑥ 入所判定会議

（2） 実施研修（法定研修等）

- ① 倫理関係（令和4年6月実施）
- ② 接遇の基本（令和4年7月実施）
- ③ 事故対策（令和4年9月実施）
- ④ ターミナルケア（令和4年10月実施）
- ⑤ 虐待防止（令和4年11月、令和5年2月実施）
- ⑥ 認知症関係（令和4年11月実施）
- ⑦ 医療的理解（令和4年12月実施）
- ⑧ 感染症対策（令和4年12月実施）
- ⑧ 精神的ケア（令和5年1月実施）
- ⑨ 緊急時対応（令和5年1月実施）
- ⑩ プライバシーの保護（令和5年2月実施）
- ⑪ 非常災害対策（令和5年3月実施）
- ⑫ 身体拘束廃止（令和5年3月実施）

（3） 委員会活動

- ① 感染予防対策委員会（年3回実施）
 - ー 委員会開催： 令和4年7月、令和4年9月、令和4年10月
- ② 栄養ケア委員会（新型コロナウイルスによる影響のため開催なし。）
- ③ 身体拘束廃止委員会（年2回実施）
 - ー 委員会開催： 令和4年4月、7月
- ④ 事故予防対策委員会（年3回実施）
 - ー 委員会開催： 令和4年5月、8月、12月、令和5年3月
- ⑤ 褥瘡予防委員会（新型コロナウイルスによる影響のため開催なし。）
- ⑥ 虐待防止委員会（委員会年1回、研修2回実施）
 - ー 委員会開催： 令和4年9月
 - 二 研修会開催： 令和4年11月、令和4年12月

5. LIFE届出関連

- （1） 令和4年5月10日届出（令和4年4月施設入所者状況）
- （2） 令和4年8月10日届出（令和4年5月～7月施設入所者状況）
- （3） 令和4年11月10日届出（令和4年8月～10月施設入所者状況）
- （4） 令和5年2月10日届出（令和4年11月～令和5年1月施設入所者状況）

6. 令和4年度取得加算関係

(1) 特別養護老人ホーム比謝川の里

① 定期取得主要加算

- 一 日常生活継続支援加算（1日36単位）
- 二 看護体制加算(Ⅰ)（1日4単位）
- 三 看護体制加算(Ⅱ)（1日8単位）
- 四 夜勤職員配置加算(Ⅰ)□（1日13単位）
- 五 個別機能訓練加算(Ⅰ)（1日12単位）
- 六 個別機能訓練加算(Ⅱ)（1ヶ月20単位）令和4年8月から取得
- 七 栄養マネジメント強化加算（1日11単位）令和4年11月から取得
- 八 科学的介護推進体制加算(Ⅰ)（1ヶ月40単位）令和5年2月まで
- 九 科学的介護推進体制加算(Ⅱ)（1ヶ月50単位）令和5年3月から変更

② 新規入所時等取得加算

- 一 初期加算（1日30単位）入所日から30日間
- 二 安全対策体制加算（1回20単位）入所時

(2) 短期入所生活介護事業所比謝川の里

① 定期取得主要加算

- 一 夜勤職員配置加算（1日13単位）
- 二 送迎加算（片道）（1回184単位）
- 三 サービス提供体制強化加算(Ⅱ)（1日18単位）

7. 利用実績等

(1) 特別養護老人ホーム比謝川の里

年間入所者延べ人数23,779人（1ヶ月平均約1,982人）、年間平均要介護度3.91、1ヶ月平均在所率は93.03%であった。また、前年度（令和3年度）では年間入所者延べ人数23,405人（1ヶ月平均約1,950人）であったことから比較すると年間入所者延べ人数374人増の結果となったが6月、8月頃に新型コロナウイルスによるクラスターの発生のほか、発熱等による入院が多かったため、年度目標とした1ヶ月平均在所率98.00%を達成することができなかった。

(2) 短期入所生活介護事業所比謝川の里

年間利用者延べ人数1,292人（1ヶ月平均約108人）、年間平均要介護度2.29、利用率は88.57%であった。また、前年度（令和3年度）では年間利用者延べ人数1,217人（1ヶ月平均約101人）であったことから比較すると年間入所者延べ人数75人増の結果と

なったが、特別養護老人ホーム比謝川の里の空床利用及び併設型の事業所であることから、新型コロナウイルスによるクラスターの発生により利用中止、または延期したことによる利用者数の減少もあり、年度目標とした1ヶ月平均利用率95.00%を達成することができなかった。

8. 年間総括と今後の課題

(1) 「安全快適な生活への支援と配慮」について

- ① 介護事故対策について、予見可能性の視点に基づいた対策に取り組みを行ったところ、令和4年度中において転倒による大腿骨頸部骨折は2件となっている。事故予防対策委員会を中心に事故の場所や時間、曜日別などデータ抽出に取り組んだ結果であった。さらに職員間の異なる視点を共通化するためにリスクマネジメント研修を行い、ケアの質の向上を研鑽した。

令和5年度は令和4年度の事故データをもとに事故10%削減を目指し、ケア技術の向上に取り組んでいきたい。

- ② 感染症を持ち込まない対策に取り組みを行ったところ、令和4年度は5月、8月、1月の計3回入所者にコロナ陽性者が出た。特に令和5年1月においては、入所者13名、職員2名の一日に5名以上の陽性者が施設内療養するクラスターにまで拡大した。社会的に役割が大きい短期入所は、これまで実施していた健康管理に加え利用当日に抗原検査を実施しての受け入れを実施し事業を継続した。入所者へのワクチンは行政や医療機関との協力により計5回を接種し、感染対策には万全を期した。見えない敵との闘いは不安と恐怖の中、感染対策の難しさを経験した。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症は第5類に分類への移行に伴い感染症の理解、感染対策の向上を目指していきたい。

- ③ 苦情等については、コロナ感染の影響により、面会の中止をはじめとする感染症対策を強化したことによる入所者の家族等との接する機会が少なかったなかで、令和4年10月に職員による虐待が発生し、苦情件数は1件であったが、令和5年度より新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い家族面会等の入所者と家族等との接する機会も平常に移行してゆくことを見据え、部署内の職員が一丸となって「常に対応している姿勢について見られている。」という意識の啓発に努めてゆきたい。

(2) 「礼儀正しさ」に基づく尊厳への配慮について

- ① 「「おもてなしの姿勢」による業務を提供します。」及び「「言葉遣い」や「声かけ」について常に見直しします。」と2つのテーマを設定し、取り組みを行ったが令和4年10月に職員による虐待が発生したことに伴い、虐待の要因である「不適切な対応」に

について確認したところ、「感覚の麻痺」がまん延した状況も見受けられたため、早急に改善の取り組みとして看護職員、介護職員及び多職種の意見を踏まえて設定したキーワードの読み合わせを毎日行い、業務に反映させる取り組みを行った。

令和5年度は、改善の取り組みについて振り返りを行い、更なる改善への取り組みを進めてゆきたい。

(3) 「感動を大切にできる場の提供」への取り組みについて

- ① すべての入所者及び利用者の大切な一日に対して、小規模ではあるが行事やレクリエーション活動等、職員の提案による変化ある生活の変化への対応ができるよう計画したが、新型コロナウイルスの影響もあり実施時期を変更する等により実施した。
- ② すべての入所者、利用者の心の支えである家族等の思いを大切にできる場として、特養入所者の家族面会を可能な限り継続したかったが感染症対策のため、やむを得ず一時中止や延期した時期もあった。

令和5年度は、感染症対策も平常時へと移行する見込みであることを踏まえ、「感動を提供できる場の提供」が実現できるよう努めてゆきたい。

(4) 「人財として相互に認め合える関係創り」への取り組みについて

- ① 令和5年2月より、施設に施設サービス課と業務支援課の2部署が誕生し、従来からの課題であった職員間のコミュニケーションの促進に向けた取り組みが少しずつではあるが、着実に進んでいる。

令和5年度においても継続した取り組みを行い、人財について安定かつ強靱な部署へと進化できるよう努めてゆきたい。

(5) 業務効率化への取り組みについて

- ① 常に安定した利用率を確保できるよう「多職種連携」に基づいた業務分掌を設定し、円滑に遂行できるよう努めることを目標としたが、新型コロナウイルスの影響や外部受診の件数の増加もあり、実態調査や短期入所の空床活用ができなかったことがあったが、令和5年2月から業務支援課が協力体制として新たに創設されたことにより安定した利用率を確保できるよう業務分掌を見直し実施したことによって着実に利用率が上昇した。

令和5年度も常に安定した利用率が確保できるよう、努めてゆきたい。

(施設サービス課)

令和4年度 事業所利用実績推移表

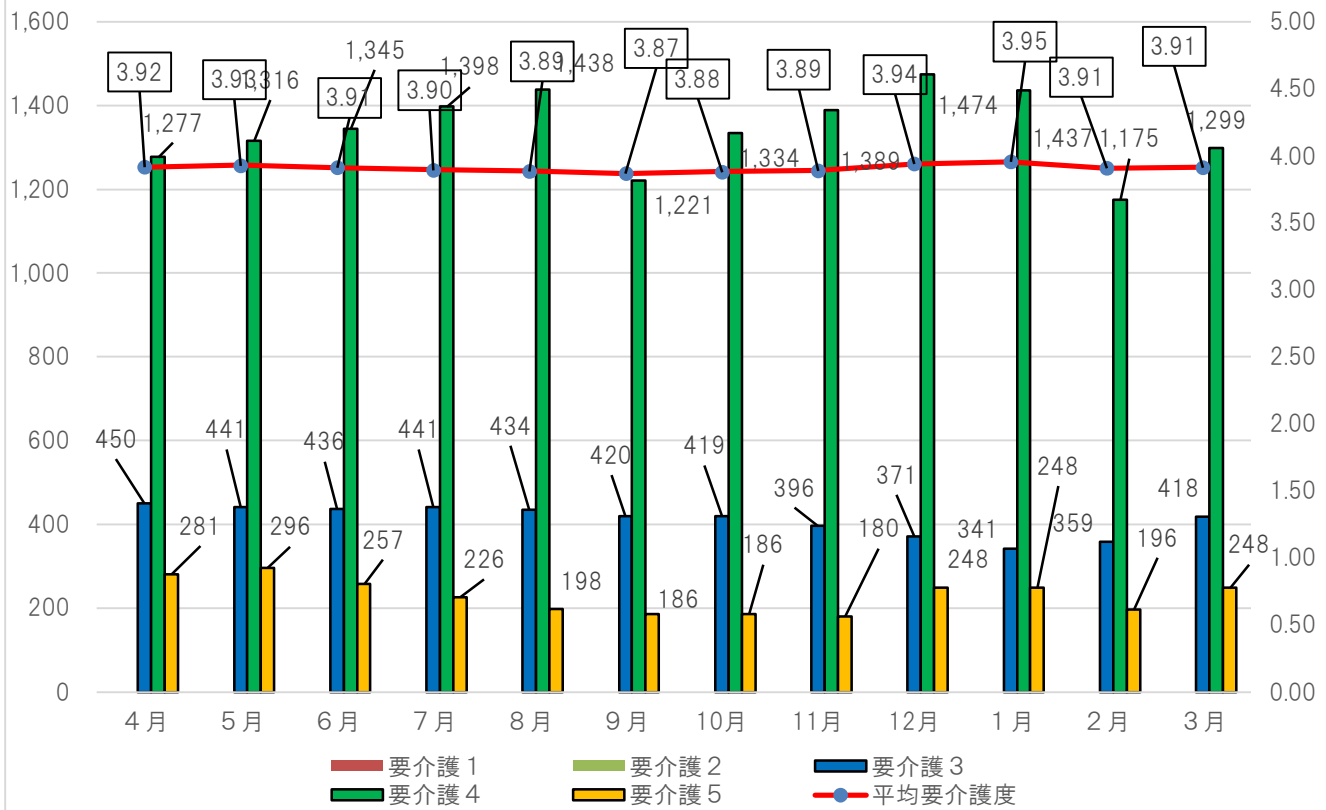
事業所名 特別養護老人ホーム特別養護老人ホーム比謝川の里

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	月平均
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日	
利用者数	2,008	2,053	2,038	2,065	2,070	1,827	1,939	1,965	2,093	2,026	1,730	1,965	23,779人	1,981.58人
利用率	95.62%	94.61%	97.05%	95.16%	95.39%	87.00%	89.35%	93.57%	96.45%	93.36%	88.27%	90.55%		93.03%
平均要介護度	3.92	3.93	3.91	3.90	3.89	3.87	3.88	3.89	3.94	3.95	3.91	3.91		3.91
利用要介護1													人	人
利用要介護2													人	人
実要介護3	450	441	436	441	434	420	419	396	371	341	359	418	4,926人	410.50人
実要介護4	1,277	1,316	1,345	1,398	1,438	1,221	1,334	1,389	1,474	1,437	1,175	1,299	16,103人	1,341.92人
数要介護5	281	296	257	226	198	186	186	180	248	248	196	248	2,750人	229.17人
新規入所者数			3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	16人	1.33人
利用終了者数	1	1	1	1		2	2	1	1	1	2	3	16人	1.33人
受診件数	42	26	37	22	46	40	34	34	39	43	45	61	469件	39.08件

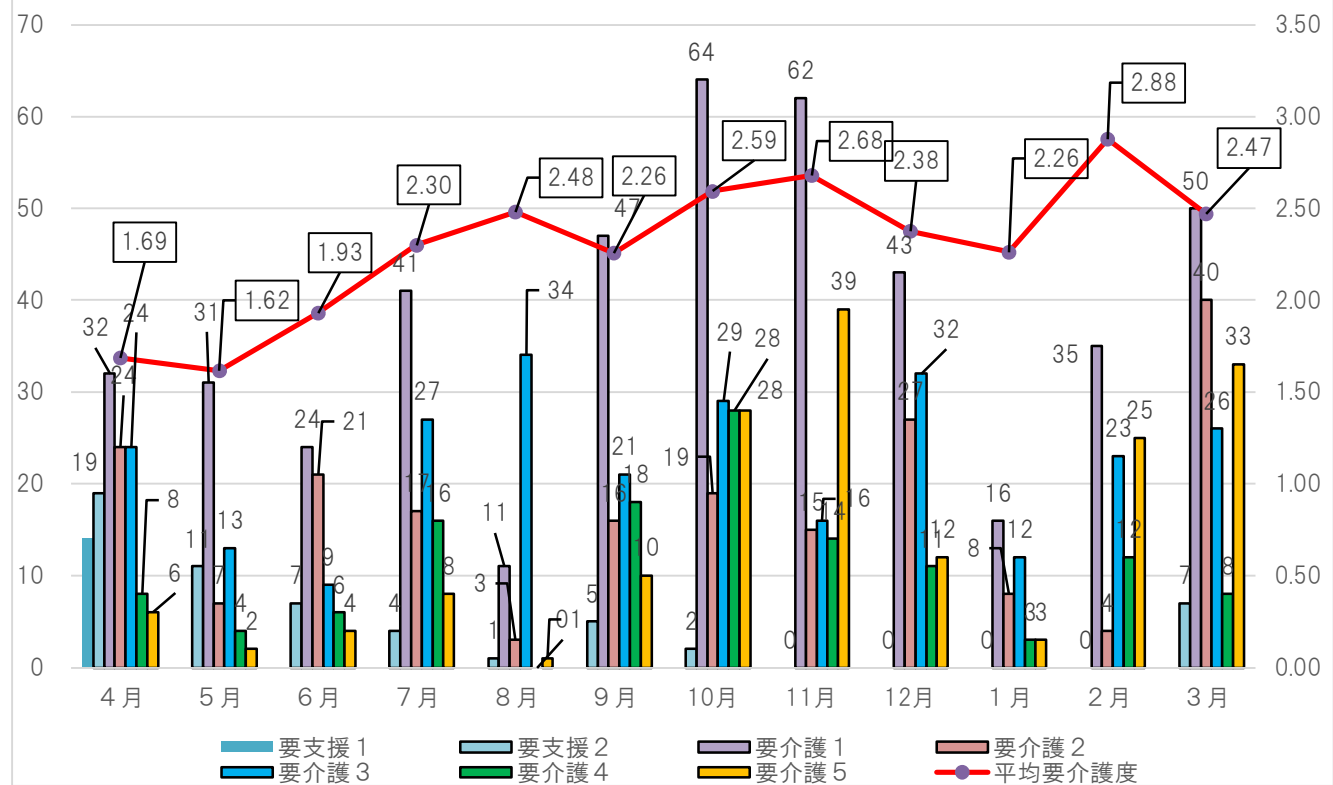
事業所名 短期入所生活介護比謝川の里

事業所名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	月平均
事業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日	
利用者数	127	68	71	113	50	117	170	146	125	42	99	164	1,292人	107.67人
利用率	105.83%	54.84%	59.17%	91.13%	40.32%	97.50%	137.10%	121.67%	100.81%	33.87%	88.39%	132.26%		88.57%
平均要介護度	1.69	1.62	1.93	2.30	2.48	2.26	2.59	2.68	2.38	2.26	2.88	2.47		2.29
利用要支援1	14												14人	1.17人
利用要支援2	19	11	7	4	1	5	2					7	56人	4.67人
実要介護1	32	31	24	41	11	47	64	62	43	16	35	50	456人	38.00人
実要介護2	24	7	21	17	3	16	19	15	27	8	4	40	201人	16.75人
実要介護3	24	13	9	27	34	21	29	16	32	12	23	26	266人	22.17人
実要介護4	8	4	6	16		18	28	14	11	3	12	8	128人	10.67人
実要介護5	6	2	4	8	1	10	28	39	12	3	25	33	171人	14.25人
受診件数	1				2		2	1					6件	0.50件

令和4年度 特別養護老人ホーム比謝川の里 利用者数推移グラフ



令和4年度 短期入所生活介護事業比謝川の里 利用者数推移グラフ



令和4年度 事業報告

比謝川の里 地域支援課

自； 令和4年 4月 1日

至； 令和5年 3月31日

社会福祉法人幸仁会

令和4年度 比謝川の里 地域支援課事業報告

1、報告書作成者；介護統括部長 玉城竜一

2、実施事業

- ① 嘉手納町夜間休日相談業務の委託
- ② 認知症サポーター養成事業への参画
- ③ 嘉手納町及び包括支援センターが主催する各種協議会、連絡会への参加
- ④ 嘉手納町社協等、各種団体が主催する各種協議会、連絡会への参加
- ⑤ 法人内外における認知症研究会や各種人材育成に係る事業の展開

3、実施会議・研修

(1) 実施会議

- ・幹部会議（毎月）
- ・法人委員長会議（毎月）
- ・運営委員会（毎月）
- ・収支報告会（書面にて実施）
- ・居宅会議（毎週水曜日）
- ・内部点検委員会
- ・規定委員会
- ・職員全体会議（7月、12月、1月すべて書面にて行う）
- ・次年度事業方針説明会（書面にて行う）
- ・感染症予防委員会（随時）
- ・嘉手納町野國總管まつり；10/1,2
- ・外部団体会議、委員会等
 - 中部地区医師会Bブロック委員会 5/19、8/18、10/25、2/16
 - 中部地区医師会広域管轄委員長会議 9/29
 - 嘉手納町生活体制整備研究会（社協）4/22、2/2
 - 嘉手納町見守り協定連絡会（社協）3/3
 - IDO教育担当者委員会 8/25、11/24、12/14、2/7
 - 沖縄県GH協会 役員会 11/25、2/4、2/13、3/16
 - 嘉手納町役場福祉課 MTG 8/25
 - 沖縄県老人福祉施設協会 総会 3/13

(2) 実施研修

- ・外部研修等（講師）
 - 沖縄県指導者会

実践者研修①；7/8,9,12,13,21,24、8/24
実践者研修②；9/9,10,12,13,21,22、10/26
実践者研修③；11/4,5,8,9,17,18、12/22
リーダー研修；1/11,13、2/17
地域密着型計画作成者研修；2/24,25
沖縄県介護支援専門員協会
配信担当；10/13,21
沖縄県介護支援専門員協会三町村支部連絡会
スキルアップ研修；10/25
沖縄県グループホーム協会
法定研修；2/14
県大会；2/4
沖縄県医師会
看取り研修；2/1
中部地区医師会
ファシリテーター養成研修；6/22、10/26
看取り研修；3/9
嘉手納町社会福祉協議会
社会福祉士実習；9/1
認知症サポーター講座
嘉手納町役場職員むけ；2/21

・受講研修

BCP 作成セミナー（RKC）；8/6
ナラティブセミナー（中部地区医師会）；12/1

4. 年間総括と今後の課題

地域支援課の嘉手納町委託事業である夜間休日相談業務は、昨年度と同じく対応件数が年間 1 件、総収入額は 125,000 円で昨年と同額であった。

各職能団体や福祉関係機関が行う委員会や会議が、新型コロナウイルス感染症流行期に相次いで中止となった。ZOOM を活用したオンライン研修も多かったが、関係者自身の感染や所属する事業所でのクラスター対応などで開催できなくなるケースが目立った年であった。夏以降落ち着いた頃に再開されるケースも多く、今年は久しぶりに嘉手納町野國總管まつりも開催され、無料車椅子貸し出しを行ったが、すでに多くの町民に私たち比謝川の里が無料車椅子貸し出しを行っていることを認知されており、6 名の方に貸し出すことができた。多くの町民の方に認知されていることは、10 年以上継続してきた活動だけに、高い評価を得られていることを実感した。

令和5年2月の人事により、私は地域支援課長から介護統括部長へ昇格、新たにこれまで小規模多機能ホーム比謝川の里管理者翁長兼秀が兼務することになった。新任の翁長課長が落ち着いた頃に、嘉手納町社会福祉協議会が行う委員会や会議等を引き継ぎ、その他の事業に関して介護統括部長で継続していくことになる。

新年度に向けて、新型コロナウイルス感染症類型変更に合わせて、地域での活動を再開していく予定である。地域での活動を再開することで、法人のブランディング強化を強化していきたい。そのためには人材育成の強化も不可欠で、法人理念である「利用者と地域の癒しに貢献する」を体現できる職員の育成に尽力したい。これらの活動が、法人暫定の事業活性化につなげるよう、次年度は様々な事業計画を行っていく予定である。

令和4年度 事業報告

デイサービスセンター比謝川の里

自： 令和 4年 4月 1日

至： 令和 5年 3月31日

社会福祉法人幸仁会

令和4年度 デイサービスセンター比謝川の里 事業報告

1、報告書作成者；玉城竜一 介護統括部長兼デイサービス管理者

2、実施事業

- ① 通所介護事業
 - ② 介護予防通所介護相当サービス事業
 - ③ 嘉手納町いきがい支援通所事業
 - ④ 避難訓練（通報訓練のみ）
 - ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策
 - ・令和4年4月25日（月）職員陽性者1名出現
 - ・同年4月26日（火）～27日（水）営業自粛中、職員陽性者3名出現
 - ・同年4月28日（木）～30日（土）縮小営業
 - ・同年5月2日（月）～14日（土）営業自粛
 - ・同年8月16日（火）利用者2名陽性者出現、以降19日（金）までに利用者12名、職員2名の陽性者出現
 - ・同年8月20日（土）～31日（水）営業自粛
 - ・令和5年1月9日（月）～14日（土）職員2名、利用者2名の陽性者出現、縮小営業
- *合計；感染利用者計14名・職員8名、縮小営業9日間、営業自粛24日間

3、実施会議・研修

（1） 実施会議

- ・幹部会議（毎月）
- ・法人委員長会議（毎月）
- ・運営委員会（毎月）
- ・収支報告会（書面にて実施）
- ・定例会（毎月）
- ・職員全体会議（7月、12月、1月すべて書面にて行う）
- ・次年度事業方針説明会（書面にて行う）
- ・担当者会議（毎月、計40件）
- ・感染症予防委員会（随時、7回）

（2） 実施研修

- ・実習生受け入れ

12月15、16、20、26日の4日間、計20名の琉球リハビリテーション学院作業療法士学科生の受け入れ

・法人研修

集合型法人研修は、コロナ禍につき、すべて中止

＊ただし、以下の内容の研修を、定例会及びオンラインで実施

身体拘束適正化

虐待予防

事故予防

認知症ケア

介護技術

感染対策

4. 年間総括と今後の課題

令和4年度は新型コロナウイルスの影響を昨年度に引き続き大きく受けた年となった。デイサービス職員や利用者などにコロナ陽性者が発生し、3度のサービス休止で24営業日、2度の縮小営業で9営業日の機会損失となった。

事業運営実績は、年間利用者数 6,070 人で前年度比▲36 人の 99.4%、年間介護報酬が 54,114,060 円で前年度比▲ 1,026,970 円の 98.1%と昨年度と同様に低調であった。新規登録者は年間 13 人、終了者は 15 人であった。その内訳は永眠 7 名、他施設入所 4 名、比謝川の里入所 2 件、その他（サービス拒否など）2 件であった。

コロナ禍において、一人暮らしや老夫婦世帯での生活が困難な状況に陥りやすくなっていると考えられ、介護度が軽い段階で有料老人ホーム等へ入所される方が相次いだ。

今年度の総括として、新型コロナウイルスの爆発的な感染力に、改めて認識することになった。デイサービスという業務形態上、感染症流入を完全に防ぐことは不可能であり、利用者及び家族、各関係者などの日常生活にまで感染予防対策を促しても、社会生活を送る上で完全な対策も難しい。弱毒性による重症化率が下がったとはいえ、高齢者にとって生命を脅かす怖い感染症であることに変わりはない。感染後、無事症状が治っても、その後に体調不良が続く方も散見されており、職員でも同様に体調不良が長く続くものもいた。令和5年5月8日より新型コロナウイルス感染症の感染類型が5類へ移行したが、高齢者介護サービスにとっては未だ怖い感染症であることに変わりはなく、引き続き感染対策が求められるであろう。

一方で、コロナ禍における制限された社会生活からの脱却も必要な要素だと考えられる。令和元年から続くコロナ禍において、私たちはかなりの日常生活に制限を設けてきた。人とのつながりを大切にする介護事業において、感染対策に付随する日常生活の制限は、利用者及び家族のみならず、私たち職員や地域の方々に大きな影響を与えてきた。

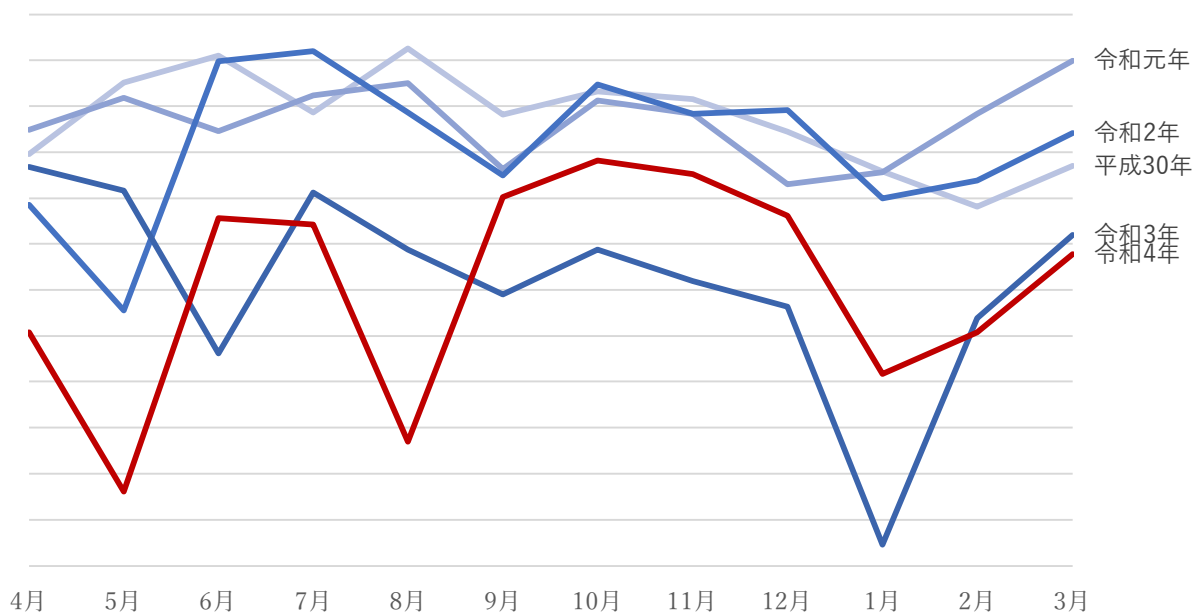
コロナ禍において、デイサービス事業に最も大きな影響を与えているのが新規サービス利用者の減少である。本来ならば介護の必要性が軽い段階からサービスを利用開始し、住み慣れた地域で暮らし続けられていたケースが、一人暮らしや老夫婦世帯にとって離れて住む家族や近隣の方々などの支援が受けられないことから入所に至るケースが増えている。家族と離れて暮らすのが当たり前になった昨今、暮らしづらさの発見が送れるようになり、コロナ禍以前であれば回復もしくは維持された生活は容易く破綻しているように感じる。

実際にコロナ禍のここ数年、嘉手納町におけるデイサービス利用者の減少は顕著であり、近隣の有料老人ホームや特養、グループホーム、宿泊サービスが可能な小規模多機能型居宅介護サービスに流れている。この減少は嘉手納町のみならず、県内至る所で起きている。今年度もコロナの流行が一旦落ち着いた夏以降は、サービス利用者が一時的に戻りつつある状況となり、令和3年度を上回る利用状況であった。しかし、年末から再びコロナの流行が始まると、当事業所においても利用者や職員への感染が起これ、縮小営業や営業自粛せざるを得ない状況に見舞われた。近隣市町村のほとんどの事業所も同じような状況に見舞われ、冬場の感染が落ち着き始めた3月あたりから、受け入れを再開した入所系サービスへ移行される方が増えた。

新年度になり、コロナ感染症の類型が変更された5月のGW明けから、新規サービスの相談が少しずつ増えてきている。この状況下でコロナ再流行による感染蔓延も怖い、新しい生活様式によるwith コロナを見据えた受け入れ体制の構築し、地域とのつながりを再開する必要がある。コロナ禍において獲得した感染対策の経験や知識を活用し、デイサービス事業の復活を成し遂げたい。そのために、新年度はこれまで以上に地域との関わりを持ち、介護が必要な状態になっても、住み慣れた嘉手納町で暮らし続けることへのお手伝いをアピールしていく。現在最も高いニーズであるリハビリテーションに注力し、多くの町民及び介護が必要な方の希望に沿いたい。

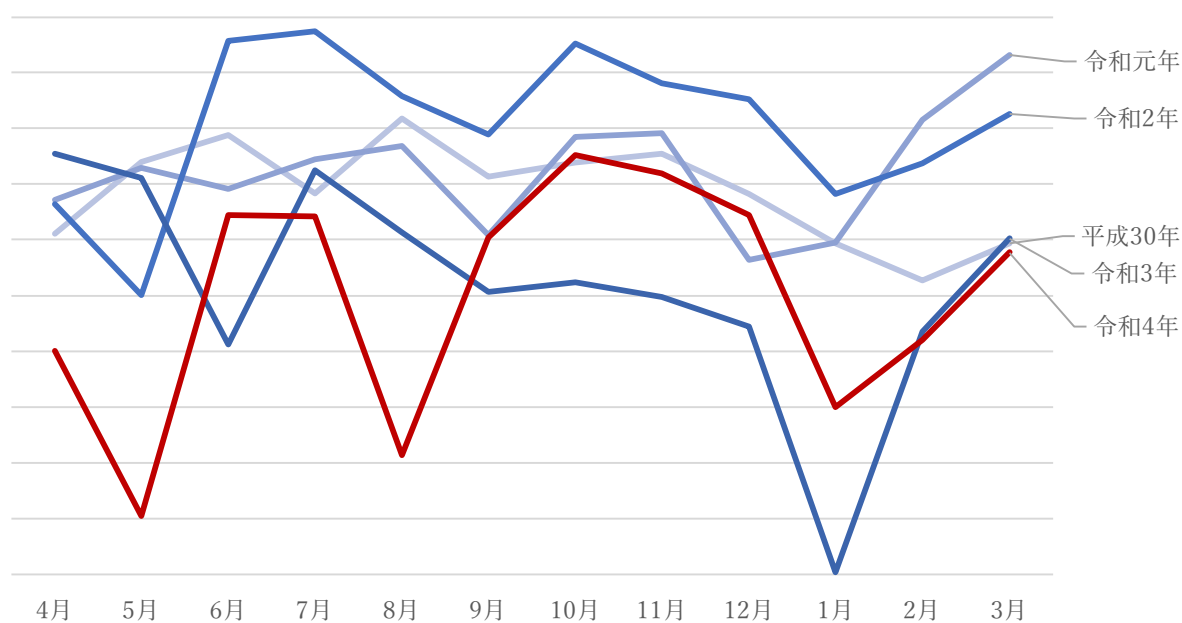
(資料1) デイサービスセンター比謝川の里 過去5年 利用者数推移

	平成30年 (311日)	令和元年 (311日)	令和2年 (308日)	令和3年 (289日)	令和4年 (286日)
4月	648	674	593	634	454
5月	726	709	478	608	281
6月	755	673	749	431	578
7月	693	712	760	606	571
8月	763	725	693	544	335
9月	691	632	625	495	601
10月	716	706	724	544	641
11月	708	692	692	510	626
12月	672	615	696	482	581
1月	629	628	600	223	409
2月	591	692	619	469	454
3月	635	750	671	560	539
計	8227	8208	7,900	6,106	6,070
平成30年比		▲ 19	▲ 327	▲ 2,121	▲ 2,157
元年比			▲ 308	▲ 2,102	▲ 2,138
2年比				▲ 1794	▲ 1830
3年比					▲ 36
率		0.0%	76.8%	99.4%	100.0%
1日	26.5	26.4	25.6	21.1	21.2



(資料2) デイサービスセンター比謝川の里 過去5年 介護報酬推移

	平成30年 (311日)	令和元年 (311日)	令和2年 (308日)	令和3年 (289日)	令和4年 (286日)
4月	5,054,370	5,357,760	5,316,160	5,777,210	4,003,350
5月	5,695,020	5,648,710	4,505,300	5,555,740	2,524,750
6月	5,937,080	5,456,770	6,784,750	4,059,430	5,223,260
7月	5,413,890	5,720,030	6,870,160	5,624,300	5,209,610
8月	6,093,350	5,840,080	6,291,480	5,065,760	3,067,200
9月	5,567,520	5,045,740	5,942,650	4,531,790	5,021,400
10月	5,690,910	5,920,660	6,762,170	4,615,110	5,761,610
11月	5,772,450	5,958,796	6,403,270	4,483,680	5,594,190
12月	5,412,200	4,823,260	6,260,660	4,224,350	5,222,210
1月	4,970,650	4,975,920	5,407,990	2,017,590	3,496,120
2月	4,640,370	6,079,330	5,686,460	4,174,380	4,103,320
3月	4,969,560	6,662,430	6,129,860	5,011,690	4,887,040
計	65,217,370	67,489,486	72,360,910	55,141,030	54,114,060
平成30年比		2,272,116	7,143,540	-10,076,340	-11,103,310
元年比			4,871,424	-12,348,456	-13,375,426
2年比				-17,219,880	-18,246,850
3年比					-1,026,970
率		0.0%	74.8%	98.1%	100.0%
1日	209,702	217,008	234,938	190,799	189,210



令和4年度 事業報告

ケアマネジメント比謝川の里

自： 令和 4 年 4月 1日

至： 令和 5 年 3月31日

社会福祉法人幸仁会

令和4年度 ケアマネジメント比謝川の里事業報告

1. 部署名： ケアマネジメント比謝川の里
2. 報告書作成者： 大城 源
3. 実施事業
 - ① 介護保険居宅介護支援業務
 - ② 嘉手納町介護予防支援にかかる委託業務
4. 実施会議、研修等
 - ① 居宅会議（毎週水曜日実施）
 - ② 三町村（嘉手納・読谷・北谷）支部介護支援専門員同士の連携会議
 - ・第1回 総会（6月13日）・意見交換会：コロナ禍における担当者会議やモニタリングのあり方について
 - ・第2回 「きくこと」ケアマネにとってきくこととは？（10月25日）
 - ・第3回 三町村・中城・北中城合同勉強会（11月25日）
 - ◎「在宅患者さんの薬剤師としての関わり方」
 - ◎「利用者及び家族の生活に対する意向を踏まえた課題分析の結果」の記載についての考え方、導き出し（記載）方法について学ぼう！
 - ・第4回 三町村・中城・北中城・西原合同勉強会（令和5年3月23日）
スーパービジョン 基礎・実践
 - ③ 三事業所（比謝川の里、中部地区医師会居宅、ケアプラン花織）合同事例検討会
 - ・令和4年6月15日（水）、令和4年9月21日（水）、令和4年12月21日（水）、令和5年3月22日（水）
 - ※新型コロナウイルス感染症の為、すべてZOOMでのオンラインでの検討会
 - ④ 沖縄介護支援専門員主催の研修等
 - ・スキルアップ研修（12月17日）
解決志向アプローチでみんな元気に
 - ⑤ 法人研修（IDO）
4月：倫理および法令遵守 5月：基本接遇 6月：介護予防及び要介護度進行予防 7月：家族の心理的理解 8月：リスクマネジメント 9月：認知症の”人の気持ち” 10月：感染対策の基本と食中毒 11月：緊急時の対応 12月：プライバシー保護の取り組み 1月：高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止 2月：自然災害BCP

5. 実績

① 要支援者の実績

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援	354件	228件	246件

・前年比7%増。令和4年度より職員減少（4名⇒3名）もあったが、新たに北谷包括より要支援の受け入れを開始した為、微増となる。

② 要介護者の実績

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要介護1	378件	368件	358件
要介護2	371件	298件	270件
要介護3	331件	284件	193件
要介護4	197件	170件	139件
要介護5	128件	87件	49件
合計	1405件	1207件	1009件

・総合計で昨年度より198件（16%）減少。令和2年度（職員5名）⇒令和3年度（職員4名）⇒令和4年度（職員3、4名）と職員減少に伴い件数も減少。またコロナの影響で新規利用者も以前に比べ減少しているのが要因と思われる。

特に要介護5の利用者（前年比44%減）など要介護度の重い利用者の減少が著しい。

③ 年度別介護報酬（居宅介護支援費）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援	1546080円	1022640円	1107480円
要介護	22780850円	19566510円	15303470円
合計	24326930円	20589150円	16410950円

・職員減少に伴い、件数、介護報酬額ともに減少。

④ 通所介護の事業所別比率（要介護者）上位3事業所

年度（総数）	2年度（1166件）	3年度（938件）	4年度（748件）
比謝川の里本体	439件（38%）	337件（36%）	272件（36%）
ロータリー	168件（14%）	144件（15%）	125件（17%）
サンハート	217件（19%）	204件（22%）	165件（22%）

・職員減少に伴い総件数も減少。※この表には地域密着型通所（リハビリ特化型など）の件数は含まれていないが、地域密着型通所の利用件数は増。

要支援者、要介護度の軽い利用者（要介護1、2）の割合が増えた為、1日型の通所介護より半日型のリハビリ特化型の通所を選択する利用者が増えている。

⑤ 短期入所の事業所比率（要介護者）上位3事業所

年度（総数）	2年度（107件）	3年度（73件）	4年度（91件）
比謝川の里	80件（75%）	48件（66%）	72件（79%）
長寿苑	2件（2%）	谷茶の丘：14件（19%）	谷茶の丘：14件（15%）
陽明園	22件（20%）	8件（11%）	3件（3%）

- ・令和4年度はコロナによる短期入所の受け入れ制限が緩和されたこともあり、前年より18件増。

⑥ 初回加算（新規利用者、入院3か月以上、要介護⇔要支援）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
要支援	7件	5件	5件
要介護	31件	20件	24件
合計	38件	25件	29件

- ・今年度は退職者とコロナ禍を受けて、新規利用者はほぼ横ばい。

⑦ 終了者（永眠、入所：特養・療養型・老健、グループホームなど）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	37件	34件	39件

- ・今年度、永眠11名、特養1名、療養型4名、老健3名、小規模2名、他事業所への移譲18名
- ・職員退職に伴い他事業所への変更が多くなった。

⑧ 実績無しの利用者（入院など）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
合計	73件	86件	63件

- ・コロナの影響も弱まり、利用を控える利用者が減少。またコロナの影響で本来、入院すべき利用者も在宅での療養が多く、結果として実績が無い利用者は減少。

6. 年間総括と今後の課題

令和4年度は職員が変動が激しく（職員が3名の時期あり）、総件数は13%減。また要支援者、要介護度の軽い利用者（要介護1、2）の割合が増えた事も影響し、総居宅介護支援費は20%減となりました。

令和5年度は職員4名体制を維持し、収入の増大、安定を図るとともに令和5年4月より特定事業所加算をⅢ⇒Ⅱに変更し、収入増を考えています。

また今後、要介護度の重い利用者の割合をいかに増やしていくかが課題となります。

令和4年度 事業報告

さわやかホーム比謝川の里

自： 令和4年4月 1日

至： 令和5年3月31日

社会福祉法人 幸仁会

令和4年度 さわやかホーム比謝川の里 事業報告

1 報告書作成者：比嘉 操（管理者）

2 実施事業

（１）利用者外出・外食

（新型コロナウイルス感染予防により一部制限、ドライブ・外食対応）

外出・外食先 読谷村役場近くコスモス畑、泡瀬そば、マクドナルド

（２）誕生会（月一度）

（３）敬老会・ひな祭り会・花見・クリスマス会余興・歌

（４）消防避難訓練（年２回）

3 実施会議・研修

（１）＜会議＞

① 運営会議

② 地域密着型事業所運営推進会議

※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、開催場所変更

嘉手納社会福祉協議会

③ 月例定例会

④ 安全衛生委員会

⑤ 給食委員会

⑥ 感染予防委員会

⑦ 身体拘束適正化委員会 （動画研修含む・英語翻訳対応）

⑧ キャリパス委員会

⑨ リスクマネ委員会

（２）＜研修＞

※新型コロナウイルス感染拡大予防により、オンラインセミナー開催

① 沖縄県認知症グループホーム連絡会

② 法人研修（事故予防）

③ ケアマネ研修

④ 看取りについて

⑤ 施設ケアプラン向上セミナー

（３）＜実習受け入れ＞

① 沖縄リハビリテーション福祉学院実習受け入れ無し

最終調整 令和5年1月 実習生家族コロナ感染により中止

4 介護報酬

(1) 令和4年度 目標額との比較

令和4年度 目標 ¥44,295,000

実績 ¥41,969,360 (−2,325,640)

事業費・事務費・やや上がっている。食費に関しては押さえているが改善の余地あり。収入の部においては、入居者入院・退所が多く(令和3年12月～令和4年1月)収入低下時期があった。

	目標報酬	実績報酬	比較増減
4月	¥3,640,685	¥3,375,900	¥-264,785
5月	¥3,762,041	¥3,471,820	¥-290,221
6月	¥3,640,685	¥3,375,900	¥-264,785
7月	¥3,762,041	¥3,595,170	¥-166,871
8月	¥3,762,041	¥3,595,170	¥-166,871
9月	¥3,640,685	¥3,512,340	¥-128,345
10月	¥3,762,041	¥3,670,520	¥-91,521
11月	¥3,640,685	¥3,569,970	¥-70,715
12月	¥3,762,041	¥3,511,020	¥-251,021
1月	¥3,762,041	¥3,326,935	¥-435,106
2月	¥3,397,973	¥3,356,950	¥-41,023
3月	¥3,762,041	¥3,607,665	¥-154,376
合計	¥44,295,000	¥41,969,360	¥-2,325,640

※目標達成に対し、令和4年度▲約230万近くあった。

(2) 介護報酬 前年度との比較(年間) 前年度比較

令和3年度 目標 ¥44,050,000

実績 ¥42,770,000 (▲1,280,000)

※令和4年度 目標が前年度に比べ目標金額 (+約29万)

加算増加、食費値上げ等増収見込み踏まえられて、節約意識を持ち収入増収を意識していったが、結果(▲約230万)となった。

	令和3年度	令和4年度	比較増減
4月	¥3,569,790	¥3,375,900	¥-193,890
5月	¥3,669,350	¥3,471,820	¥-197,530
6月	¥3,446,800	¥3,375,900	¥-70,900
7月	¥3,544,600	¥3,595,170	¥50,570
8月	¥3,669,350	¥3,595,170	¥-74,180
9月	¥3,567,040	¥3,512,340	¥-54,700
10月	¥3,664,276	¥3,670,520	¥6,244

11 月	¥3,564,500	¥3,569,970	¥5,470
12 月	¥3,666,720	¥3,511,020	¥-155,700
1 月	¥3,326,628	¥3,326,935	¥307
2 月	¥3,230,150	¥3,356,950	¥126,800
3 月	¥3,515,550	¥3,607,665	¥92,115
合計	¥42,434,754	¥41,969,360	¥-465,394

目標設定が前年度同様、実績に比べ高い設定もあり、令和4年事業所目標として¥44,048,000 設定とした。

(3) 減収要因と対策

- ・少しでも目標へ近づけるため、入院・退所時後の空床期間を減らし、日々入居者観察をする。
(今年度は入居者入院が多く空床期間が20日以上あった。)
- ・入居者が入院した時の費用算定の見直しを併せて行っていく事とする。(入院期間6日間)1日につき246単位算定 広域連合指導係へ確認予定。
- ・平均介護度が前年度より低くなっていることもあり、入居者状態変化時、明らかに介護度が上がると見込まれるときは区分変更等迅速な対応を行う。
- ・今年度1名 区分変更 介護1～3 更新時変更 介護2～3とした。

5 令和4年年度利用者の状況等

(1) 要介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護①	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要介護②	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4
要介護③	1	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3
要介護④	3	3	3	3	3	3	3	2	2	1	1	1
要介護⑤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援②	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平均介護	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.7	2.8	2.7	2.7	2.5	2.5	2.5

※ 年間平均介護度：2.6

令和4年10月介護4退所・新入所介護3

令和5年1月介護3.4退所 新入所介護2.3

(2) 年齢と要介護度

令和5年3月31日現在

	計（人）	要介護①	要介護②	要介護③	要介護④	要介護⑤
70～74 歳	1		1			
75～79 歳						
80～84 歳	2		1	1		
85～89 歳	1	1				
90～94 歳	5		2	2	1	
95～102 歳	0					

(3) 介護度と利用延べ人数

	要支援②	要介護①	要介護②	要介護③	要介護④	要介護⑤	計
4 月 (30)	0	30	120	30	90	0	270
5 月 (31)	0	31	124	31	93	0	279
6 月 (30)	0	30	120	30	90	0	270
7 月 (31)	0	31	124	31	93	0	279
8 月 (31)	0	31	124	31	93	0	279
9 月 (30)	0	30	120	30	90	0	270
10 月 (31)	0	31	93	87	68	0	279
11 月 (30)	0	30	90	90	60	0	270
12 月 (31)	0	31	93	88	54	0	266
1 月 (31)	0	31	100	90	31	0	252
2 月 (28)	0	28	112	84	28	0	252
3 月 (31)	0	31	124	93	31	0	279
計	0	365	1344	715	821	0	3245

(4) 年間利用者延べ人数と利用率

	延べ利用者数	利用率
4 月 (270)	270	100%
5 月 (279)	279	100%
6 月 (270)	270	100%
7 月 (279)	279	100%
8 月 (279)	279	100%
9 月 (270)	270	100%
10 月 (279)	279	100%
11 月 (270)	270	100%
12 月 (279)	279	100%
1 月 (279)	252	90%
2 月 (252)	252	100%
3 月 (279)	279	100%
計 (3294)	3245	98%

6 課 題

- (1) 入退所者増加（入院期間が長い）
- (2) 介護度が軽くなった（新入居者等受け入れにより）
- (3) 退職職員補充、引継ぎ期間による人件費増加
- (4) 管理者、リーダー業務育成（次世代リーダー、主任候補者がいない）

7 評 価

理念「利用者と共に地域とのつながりを大切にする」は、前年度同様、コロナ状況下、一部実現が厳しい状況があったが、徐々に緩和化されると共に職員対応意識も向上し、今後は対策を取りつつも地域を意識し、利用者とともに地域活動参加や地域知人との交流を増やしたい。

- ・地域イベント交流

野國そうかん祭り・産業まつり・自治会イベント参加

- ・関係者各位（自治会長、包括支援センター、関係ケアマネ職員等）
推進会議を利用したコミュニケーション等。

令和5年度 4月推進会議より予定、実行済

前年度同様、運営理念を振り返る。大切な事3つ

- ・家庭的な雰囲気の中で、地域とのつながりを大切にする
- ・自立・尊厳・自己決定・自分らしさを大切にする。
- ・思いやりのある、寄り添うケアを大切にする。

入居者、家族、職員それに関わる方々を繋ぐこと。ケアプラン見直し、チームで考え理念に沿ったプランであるかを検討

ここ2・3年振り返り感じた事は、いつも理念を意識しながらやっていたが、意識したつもりでいたように思う。

人材不足、配置困難、入居者急変による入退所調整。いつも大変だと感じた。きっと今年度も大変だと思う。

目の前の対処に追われ、管理者、職員ゆとりのないと感じた事も多かった。それはコロナ禍に関わらず介護職としては常にあった。

では、何故職員皆頑張っているのかと思った時に、楽しい笑顔と自然な絆が出来ていた。一時意見食い違いあったが話し合うこと、伝える事で続けている。

それは、介護職が楽しいから、入居者と過ごす時間が心地良いと思うから。

次年度は、理念を意識しつつ、職員全てが入居者の事を共に考え、家族と話し合い、皆が楽しく分かり合える取り組みを考えていきたい。

令和4年度 事業報告

小規模多機能ホーム比謝川の里

自： 令和4年4月 1日

至： 令和5年3月31日

社会福祉法人 幸仁会

令和 4 年度 小規模多機能ホーム比謝川の里 事業報告

(1) 報告書作成者：翁長 兼秀（地域支援課長：管理者兼居宅介護支援専門員）

(2) 実施事業

- ① 利用者外出（嘉手納町、読谷村、恩納村）
- ② 敬老会
- ③ クリスマス忘年会
- ④ 誕生会
- ⑤ 避難訓練

※前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大予防の為、外出支援、事業所行事、地域の行事やイベント等への参加を自粛した。

(3) 実施会議・研修

<会議>

- ① 幹部会議
- ② 運営会議
- ③ 定例会

※地域密着型事業所運営推進会議
新型コロナウイルス感染拡大予防の為、中止。

<研修>

- ・介護支援専門員研修（6/14）
- ・ハラスメント研修（7/26）
- ・苦情解決担当者研修（9/8）
- ・認知症キャラバンメイト養成研修（9/22）
- ・苦情解決セミナー（1/19）
- ・自衛消防管理者研修（2/9）
- ・地域密着型サービス事業所及び居宅介護支援事業所集団指導（3/3）
- ・地域見守り協力活動連絡会（3/3）

<実習受け入れ>

- ・北部看護学生施設見学受け入れ（10/12）
- ・令和 5 年 1 月 16 日～1 月 20 日：5 日間
沖縄福祉保育専門学校：1 名

<その他>

- ① 消防設備点検
- ② 職員健康診断
- ③ 全館消毒、ベットマット、畳み消毒

(4) 年間総括と今後の課題

令和4年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、年間を通して様々な活動を自粛し感染予防に努める日々であった。予定していた行事やイベントの中止、延期、規模縮小を余儀なくされ、利用者の皆様が楽しみにされていた外出活動や行事などは計画通りに実施できない状況であった。

誕生会に関しては個々の誕生日に、ささやかではあるが誕生会を実施する事ができた。

新型コロナウイルス感染対策を行いながら日々の業務に取り組んだが、令和4年度は利用者11名、職員10名が感染し、その都度利用受け入れや業務の調整により、利用者のご家族に多大なご負担とご迷惑をおかけする事となった。ご家族のご協力とご理解、職員の頑張りで、厳しい期間を乗り切る事ができた。

令和4年度は4名の利用者が永眠された（病院2名・在宅1名・事業所1名）。利用者1名（R4.3）は訪問診療、訪問看護事業所との連携を図り、本人、家族の思いに寄り添いながら、在宅での看取り支援を実施する事ができた。8月には小規模多機能ホーム比謝川の里で最高齢利用者（104歳）の看取りも実施し事業所内で家族、職員、訪問看護職員の協力のもと支援する事ができた。また、施設入所3名（特養2名・有料1名）、サービス変更3名、長期入院2名の合計12名の利用者が利用終了となった。

令和4年度の年間の収支状況においても新型コロナウイルスの影響により、目標額や前年度との差異が大きく厳しい年度となった。令和5年度は利用者の確保、収支状況の面でも安定した運営が維持できるように取り組みたい。

前年度と同様に業務内容や職員間の連携等細かい部分で改善が必要な課題もある。令和5年度も感染症対策を行いながら、ふり返し・評価・計画・実践を繰り返し登録者数と収支が安定するように継続性と計画性を持ち、地域の方との交流や外出等の余暇活動の充実が図れるように取り組み、「安心できる在宅生活」の支援を心がけながら、ご家族や地域の方との連携を図る。

また、学ぶ機会を設け「気づき、寄り添う」事を大切に、住み慣れた地域、在宅生活が支えられるよう小規模多機能型事業所（地域密着型サービス）として質の向上に努めて行きたい。

(5) 利用実績等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録人数	24	23	24	22	23	22	23	21	20	20	22	23
要支援 1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
要支援 2	4	4	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3
要介護 1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	2	2
要介護 2	6	6	6	8	9	8	8	7	8	7	7	6
要介護 3	3	2	2	2	3	3	3	2	2	2	3	3
要介護 4	7	7	7	6	6	7	7	7	6	6	6	7
要介護 5	2	2	2	2	1	0	1	1	0	0	0	0
通 い	440	411	461	368	376	403	380	188	287	332	376	398
泊 り	153	173	156	157	185	160	128	69	87	92	108	127
訪 問	757	731	674	680	804	758	722	824	742	778	751	732
朝 食	188	200	201	188	215	205	171	159	119	128	156	190
昼 食	388	369	395	337	342	353	318	336	262	311	336	352
夕 食	311	292	275	305	326	325	305	237	214	217	226	301
新規利用者	1	0	1	1	1	0	1	0	0	2	2	2
利用終了者	0	0	1	1	3	0	1	1	1	1	1	2
平均介護度	2.8	2.8	2.8	2.7	2.6	2.6	2.6	2.4	2.6	2.7	2.8	2.6

(6) 構成比 (%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
支 1	4.4	4.6	4.8	5.1	4.5	4.4	4.9	5.6	5.6	5.2	4.6	6.4
支 2	10.4	11.0	11.3	11.3	8.8	9.2	10.1	12.2	11.1	9.7	9.0	9.2
介 1	1.6	2.2	2.3	0	0	0	0	0	0	2.7	5.6	6.1
介 2	35.7	27.3	28.4	28.4	41.9	38.7	41.8	45.1	42.2	40.8	38.5	23.5
介 3	10.1	8.1	7.5	7.1	9.2	11.4	7.5	7.8	8.2	7.0	9.8	16.2
介 4	36.3	35.8	36.7	35.7	30.7	36.3	32.5	27.0	33.0	34.6	32.5	38.5
介 5	8.7	9.4	10.5	6.4	4.9		3.3	2.3	0	0	0	0
男性	50.4	52.3	49.8	49.1	40.0	41.5	38.1	42.6	48.7	59.2	57.4	45.3
女性	49.6	47.7	50.2	50.9	60.0	58.5	61.9	57.4	51.3	40.8	42.6	54.7

令和 4 年度 事業報告

デイサービスセンター比謝川の里ロータリー



自；令和 04 年 04 月 01 日

至；令和 05 年 03 月 31 日

作成者；玉城技(タマキタクミ)

作成日；令和 05 年 05 月 11 日

1, 事業所の概要

(1) 事業所の概要

- ① 事業所名 デイサービスセンター比謝川の里ロータリー
- ② 事業所番号 4772300085 (沖縄県指定事業所番号)
有効期間 令和 05 年 02 月 01 日～令和 11 年 01 月 31 日
- ③ 住 所 〒904-0203
沖縄県中頭郡嘉手納町字嘉手納 290 番地 4 ロータリー2 号館 1 階
- ④ 連絡先 ア 電話番号 098-957-3500
イ Fax 番号 098-923-3522
- ⑤ 事業開始 平成 27 年 02 月 01 日
- ⑥ 事業所種別 ア 通所介護事業所
(沖縄県子ども生活福祉部中部福祉事務所地域福祉班)
イ 介護予防・日常生活支援総合事業
(沖縄県介護保険広域連合業務課指導係)
- ⑦ 事業所規模 通常規模型事業所 (年間利用延べ人数 750 人以下)
- ⑧ 利用定員 25 人
- ⑨ 保有車両 令和 05 年 03 月 31 日時点
ア 沖縄 800 す 3632 (定員 10 車イス 2)
初年度登録 平成 23 年 03 月 18 日 経年 12 年目
イ 沖縄 302 せ 3000 (定員 10 車イス 0)
初年度登録 平成 26 年 02 月 27 日 経年 09 年目
ウ 沖縄 583 き 3500 (定員 03 車イス 1) (定員 04 車イス 0)
初年度登録 平成 27 年 10 月 29 日 経年 06 年目
- ⑩ 主な備品等 令和 05 年 03 月 31 日時点
ア ウォーターベッドマッサージャー 1
イ メドマー (両足用) 2
ウ ホットパック (電熱線パック 2 つ同時使用) 1
エ マット 1 (約 2 畳)
オ シャワーチェア 5 (寄贈 2 台)
カ シャワーキャリー 1
キ 車イス 2
ク 通信カラオケ (FREE DAM) 1
ケ エアロバイク 1
コ 歩行訓練用平行棒 1
サ ウォーカー 1
シ 空気清浄機 2 (除湿加湿 1 加湿 1)
ス IH コンロ (2 口) 1

(2) 職員の概要

① 職員の人員配置

	実人数				常勤換算			
	常勤		非常勤		常勤		非常勤	
	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務
管理者		1				0.2		
生活相談員		2				1.0		
看護職	1				1.0			
機能訓練員				1				0.1
介護職	3	1	2		3.0	0.5	1.4	
うち介護福祉士	2	1			2.0	0.8		

② 職員保有資格

資格名	職種	人数
社会福祉士	生活相談員	0
社会福祉主事任用資格	生活相談員	2
看護師	看護・機能訓練員	0
准看護師	看護・機能訓練員	1
理学療法士	機能訓練員	0
作業療法士	機能訓練員	1
柔道整復師	機能訓練員	0
介護福祉士	生活相談員・介護	4

③ 年代

16 歳 ～ 20 歳	1
21 歳 ～ 40 歳	0
41 歳 ～ 60 歳	6
61 歳 ～ 70 歳	1

(3) 利用料等

① 介護報酬 ※介護保険法による介護報酬告示上の単位数

ア 介護報酬（要支援）

介護度	利用回数	単位数
要支援 1	4 回までの利用	384×利用回数
	5 回以上の利用	1,672
要支援 2	8 回までの利用	395×利用回数
	8 回以上の利用	3,428

イ 加算等（要支援）

サービス提供体制加算Ⅱ			
要支援 1	72	要支援 2	144

ウ 通常規模型通所介護費（要介護）

介護度	3h～4h	4h～5h	5h～6h	6h～7h	7h～8h
要介護 1	368 単位	386 単位	567 単位	581 単位	655 単位
要介護 2	421 単位	442 単位	670 単位	686 単位	773 単位
要介護 3	477 単位	500 単位	773 単位	792 単位	896 単位
要介護 4	530 単位	557 単位	876 単位	897 単位	1,018 単位
要介護 5	585 単位	614 単位	979 単位	1,003 単位	1,142 単位

エ 加算等（要介護）

加算名	回数	単位数
入浴介助加算（Ⅰ）	1 回につき	40 単位
送迎減算	1 回につき	-47 単位
科学的介護推進体制加算	1 月につき	40 単位
サービス提供体制加算Ⅱ	1 回につき	18 単位

オ 加算（共通）

加算名	処遇改善加算合計
介護職員処遇改善加算（Ⅰ）	所定単位数 の 59/1000
介護職員等特定処遇改善加算（Ⅰ）	所定単位数 の 12/1000
介護職員等ベースアップ等支援加算	所定単位数 の 11/1000

※ 所定単位数＝（介護報酬の合計）＋（加算の合計）

② その他

昼食・おやつ代；1 日 600 円

その他；事業所において提供される便宜のうち、日常生活においても通常必要となるものに関わる費用で、利用者が負担することが適当と認められるものについては、実費とします。

ももの会 会費；デイサービスセンター比謝川の里ロータリー利用者の会を『比謝川の里ロータリーももの会』（略称『ももの会』）と称し、会費として利用料とは別に 500 円/月徴収します。主に、朝のお菓子や誕生会等のイベントの費用として活用しています。

2. 事業の運営

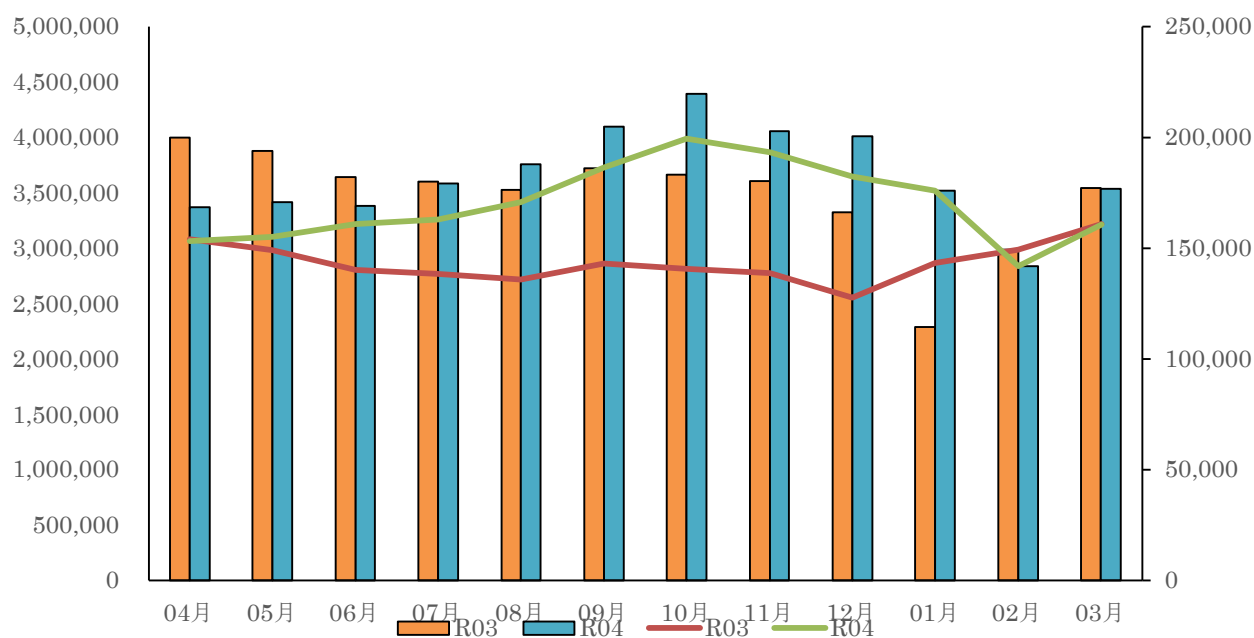
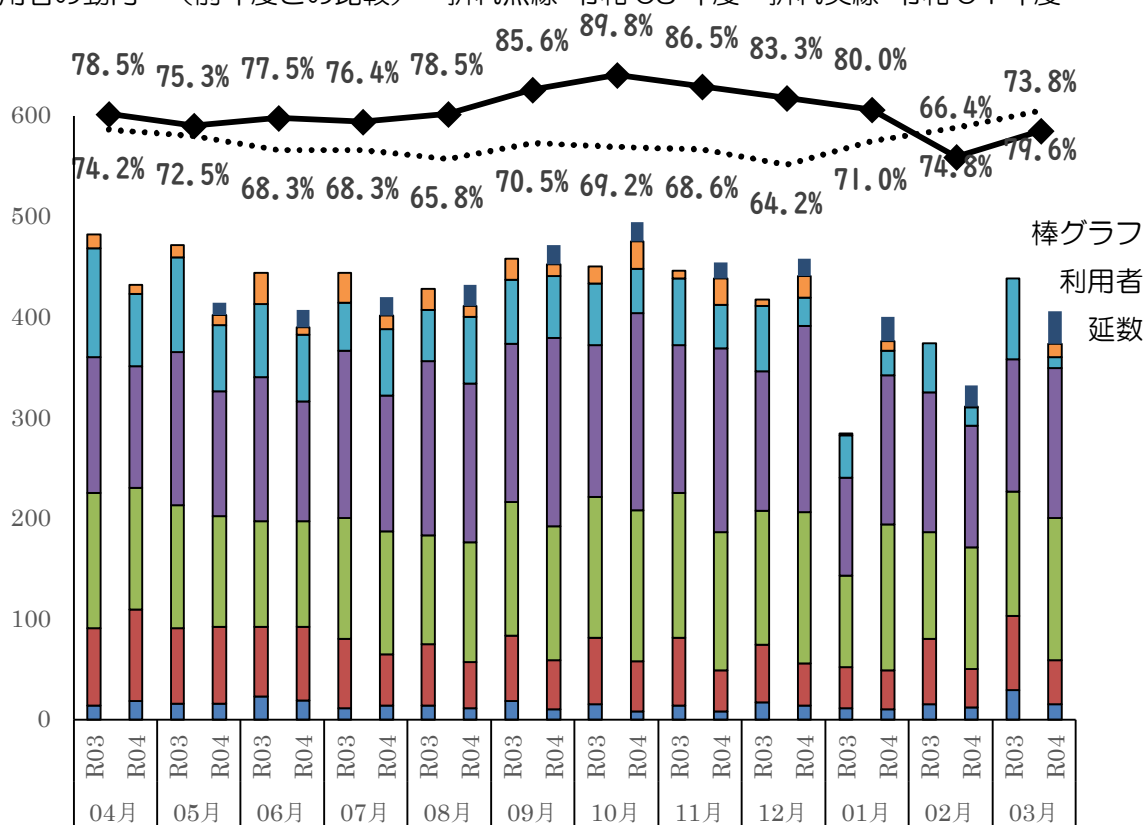
（1）運営理念

老若男女
楽しんで時間を過ごし、
リフレッシュできる事業所

法人設立当時の基本理念「利用者と地域の癒やしに貢献する」を基本に据え、当事業所を利用している利用者並びにその家族、職員が「今日も、ロータリーで楽しく時間を過ごすことができて良かった」と思える事業所を目指してきました。

(2) 運営の実績

① 利用者の動向 (前年度との比較) 折れ点線 令和03年度 折れ実線 令和04年度



☆ 棒グラフ→収入

☆折れ線→1日あたり

	利用率		営業日数		平均介護度	
	R03	R04	R03	R04	R03	R04
04月	74.2%	78.5%	26	22	1.7	1.5
05月	72.5%	75.3%	26	22	1.7	1.7
06月	68.3%	77.5%	26	21	1.7	1.7
07月	68.3%	76.4%	26	22	1.7	1.8
08月	65.8%	78.5%	26	22	1.7	1.9
09月	70.5%	85.6%	26	22	1.6	1.8
10月	69.2%	89.8%	26	22	1.6	1.8
11月	68.6%	86.5%	26	21	1.6	1.9
12月	64.2%	83.3%	26	22	1.6	1.7
01月	71.0%	80.0%	16	20	1.5	1.7
02月	74.8%	66.4%	20	20	1.5	1.6
03月	79.6%	73.8%	22	22	1.5	1.8
合計等	70.4%	79.4%	292	258	1.6	1.8

	収入		1日当たり		R04 - R03		
	R03	R04	R03	R04	収入	1日あたり	営業日数
04月	3,999,520	3,368,970	153,828	153,135	-630,550	-693	-4
05月	3,877,280	3,413,570	149,126	155,162	-463,710	6036	-4
06月	3,640,797	3,376,690	140,031	160,795	-264,107	20,764	-5
07月	3,599,790	3,581,650	138,453	162,802	-18,140	24,349	-4
08月	3,526,031	3,756,440	135,617	170,747	230,409	35,131	-4
09月	3,718,620	4,096,444	143,024	186,202	377,824	43,178	-4
10月	3,660,250	4,390,010	140,779	199,546	729,760	58,767	-4
11月	3,605,500	4,055,192	138,673	193,104	449,692	54,431	-5
12月	3,322,191	4,008,510	127,777	182,205	686,319	54,428	-4
01月	2,290,000	3,519,880	143,125	175,994	1,229,880	32,869	4
02月	2,987,980	2,837,300	149,399	141,865	-150,680	-7,534	0
03月	3,539,740	3,534,760	160,897	160,671	-4,980	-226	0
合計等	41,767,699	43,939,416	143,040	170,308	2,171,717	27,268	-34

前述のグラフのように、令和 03 年 01 月に新型コロナウイルス感染症による営業自粛並びに時短営業により収入が大幅に減りましたが、それ以降当事業所は新型コロナウイルス感染症による影響は一切なく、令和 05 年 03 月 31 日に至るまで通常営業を続けています。このことは、介護支援専門員や家族からも「ロータリーがこの状況の中でも営業し続けているし、感染者も出していないから安心して預ける事が出来る。」とお褒めの言葉もいただいています。

しかしながら、例年 10 月から 01 月にかけて利用者の入院や他事業所への移動などによる利用人数の減少による介護報酬減になる為、利用人数の確保が課題となっています。

令和 04 年度は、常勤の機能訓練員を採用することにより、日常生活自立支援のみならず、個別機能訓練を行いより収入が上がるような運営を目指しました。しかしながら機能訓練員が定着する事が出来ず残念な結果となってしまった。今年度の 11 月と 12 月の 2 か月間について、非常勤専従の機能訓練員がいて、利用者とのコミュニケーションを図りながら様々なトレーニングやリラクゼーションを行っており、利用者からは好評でした。しかしながら、01 月に退職したことがその後の利用者数減につながったと考えられます。

常日頃近隣の事業所とコミュニケーションをとるようにしていたので、近隣事業所から紹介を受けて、新規の利用につながったケースが令和 04 年度にありました。今後も近隣事業所とコミュニケーションをとりながらこちらからも紹介できるようにしていきたいです。また、サービス提供票の実績を提出する際に、空き状況を知らせるだけでなく、事業の取組や利用者の状況等を報告し、介護支援専門員に興味を持ってもらえるような事業所を目指していきます。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
開始	1	3	1	3	1	3		2	1	3		1
終了	2	3	3	2	3		1	3		3	3	1
増減	-1	0	-2	+1	-2	+3	-1	-1	+1	0	-3	0

新規利用者数と利用終了者数の人数を比較したところ-5 人という結果になりました。新規の介護職員等の採用がままならない為、労働時間等を考慮した結果、令和 04 年 01 月より水曜日を定休日にして営業を行っていました。その中で介護報酬が前年度を上回ったのが 08 月～01 月の 6 か月、ほぼ同じなのが 07 月 03 月の 2 か月、下回ったのが 04 月～06 月と 02 月の 4 か月、特に令和 04 年 01 月の新型コロナウイルス感染症による休業および時短営業による収入減のようなことが今年度は一切なく、全体的に良好となっています。

しかしながら、同法人の別事業所への移動等による終了者があった 02 月以降、新規の紹介や新規利用者等がの申し込みが少ないため、今後の打開策として定休日の水曜日を明け、現利用者の利用回数増や新規利用者の獲得を目指し、新規採用を待ちながら、現職員の中から正職員を中心に水曜日の勤務を組み、人件費を抑えつつ収入増を目指すことと、未取得の加算が取得できるような体制を整えていきます。

	男性		女性		合計		割合	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
要支援 1	1	20	5	135	6	155	9.7%	3.0%
要支援 2	2	161	10	479	12	640	19.4%	12.5%
要介護 1	3	486	12	1068	15	1554	24.2%	30.4%
要介護 2	7	773	7	1053	14	1826	22.6%	35.7%
要介護 3	2	147	6	419	8	566	12.9%	11.1%
要介護 4	3	85	2	76	5	161	8.1%	3.1%
要介護 5	0	0	2	218	2	218	3.2%	4.3%
合計	18	1672	44	3448	62	5120	100.0 %	100.0 %

今年度の平均介護度は、男性が 1.7、女性が 1.8、平均で 1.8 でした。

昨年度の平均介護度は、男性が 2.0、女性が 1.4、平均で 1.6 でした。昨年度よりも平均介護度は、男性は減、女性は増、合計も増となっています。平均介護度の増は介護報酬における収入増に直結しているので、昨年度よりも介護報酬が上がっています。

② 各月の動き

04 月

01	金	実績提出・担当国会議
05	火	幹部会議・チームミーティング
07	木	交通安全運動
09	土	おやつ会
12	火	PCR 検査・誕生会
25	月	運営会議
26	火	PCR 検査・定例会・担当国会議・感染症実践研修（ガウンテクニック）
28	木	担当国会議
30	土	実績提出

05 月

02	月	実績提出・幹部会議・法定研修（倫理及び法令遵守）
09	月	令和 03 年度事業実績報告書提出・体験利用
10	火	担当国会議
18	水	自動車税減免申請（沖縄県）
23	月	運営会議・誕生会・法定研修（基本接遇）
24	火	PCR 検査
25	水	軽自動車税減免申請（嘉手納町）
27	金	担当国会議

31	火	抗原抗体検査・実績提出
06月		
01	水	実績提出
03	金	幹部会議・抗原抗体検査
06	月	チームミーティング
07	火	抗原抗体検査
10	金	抗原抗体検査
11	土	おやつ会
14	火	PCR 検査
16	木	お楽しみ会
23	木	担当者会議
27	月	誕生会
29	水	担当者会議
30	木	実績提出
07月		
01	金	実績提出
05	火	PCR 検査・幹部会議
11	月	チームミーティング・法定研修（家族の心理的理解）
19	火	運営会議
21	木	担当者会議
25	月	担当者会議
26	火	お楽しみ会
29	金	担当者会議
30	土	担当者会議
31	日	実績提出
08月		
01	月	実績提出
02	火	PCR 検査・幹部会議
08	月	チームミーティング・法定研修（事故発生又は再発防止）
09	火	抗原抗体検査
11	木	お楽しみ会
12	金	抗原抗体検査
18	木	PCR 検査・認知症介護基礎研修
19	金	おやつ会・苦情処理担当者研修
23	月	抗原抗体検査
25	木	誕生会
26	金	抗原抗体検査・消防設備点検及び避難訓練

29	月	定例会・法定研修（ターミナルケア）
30	火	担当者会議
31	水	実績提出

09月

01	木	実績提出・職員交流研修・抗原抗体検査
02	金	幹部会議
03	土	台風 11 号による時短営業（09:15～13:30）
05	月	チームミーティング・法定研修（認知症の人の気持ち）
08	木	PCR 検査
13	火	担当者会議
14	水	職員健康診断
15	木	PCR 検査
20	火	運営会議・おやつ会・手工芸クラブ・抗原抗体検査
23	金	抗原抗体検査
26	木	敬老週間（～30 日）
29	木	PCR 検査・担当者会議（2 件）
30	金	担当者会議・誕生会・実績提出

10月

01	土	実績提出
04	火	幹部会議・チームミーティング
08	土	おやつ会
10	月	お楽しみ会
11	火	法定研修（医療的理解）（感染症・食中毒の予防及び蔓延防止）
14	金	厚生労働省事業所調査提出
18	火	定例会
20	木	誕生会
21	金	担当者会議
26	水	担当者会議
31	月	Halloween のお菓子プレゼント（敬老週間のお返し）・実績提出

11月

01	火	実績提出・担当者会議
02	水	実績提出
04	金	担当者会議
08	火	チームミーティング
10	木	おやつ会
12	土	内部点検（ロータリー）
15	火	お楽しみ会

17	木	感染予防対策研修
21	月	運営会議
22	火	定例会
23	水	担当者会議
24	木	担当者会議
25	金	誕生会
29	火	法定研修（精神的ケア・緊急時の対応）・実績提出
30	水	実績提出

12月

01	木	実績提出
02	金	幹部会議
05	月	担当者会議
06	火	チームミーティング・担当者会議
09	金	おやつ会
12	月	おやつ会
14	水	個別機能訓練加算Ⅰ及び運動器機能向上加算申請
20	火	運営会議・定例会・クリスマス忘年会準備
21	水	沖縄県事業所指定更新申請
23	金	担当者会議
24	土	クリスマス忘年会
27	火	誕生会
28	水	事業所大掃除
31	土	年末年始休（12/31～01/04）・実績提出

01月

04	水	実績提出
05	木	抗原抗体検査・幹部会議・チームミーティング
09	月	お屠蘇週間（～14日）
12	木	PCR検査
16	月	担当者会議
17	火	業務従事者届（医療従事者届出システム）
20	金	担当者会議
23	月	運営会議・担当者会議
24	火	定例会
26	木	PCR検査
30	月	介護サービス情報報告システム（沖縄県）報告完了
31	火	実績提出

02月

01	水	指定更新許可（R05.02.01～R11.01.31）・実績提出
02	木	幹部会議
03	金	節分イベント
08	水	安全運転管理者講習
09	木	自衛消防隊研修
11	土	おやつ会
24	金	担当者会議・消防設備保守点検及び避難訓練
25	土	担当者会議
28	火	担当者会議・実績提出

03月

01	水	実績提出
03	金	抗原抗体検査
07	火	チームミーティング・法定研修（プライバシー保護・高齢者虐待）
09	木	
11	土	法定研修（非常災害対策策定・身体拘束排除）
13	月	集団指導アンケート提出
18	土	誕生会
24	金	誕生会
28	火	お楽しみ会・定例会
29	水	NHK 受信料免除通知

3. まとめ

令和 04 年度は令和 03 年度に比べ利用率や収入面について良好であり、今後も期待できそうな予感があります。ただし、現状維持を考えていると地域の高齢者数の推移や人件費、水道光熱費等の値上げに対し、介護報酬の改定が令和 06 年度に行われるため令和 05 年度は厳しい状況になることが明白です。

令和 04 年度が好調だった要因として、前述のように新型コロナウイルス感染症の猛威の中、営業し続けた事があります。

今後も今までと同様の取り組みを維持、できれば発展させていきたいと思います。ほかの要因として、周囲の事業所との連携です。これも前述のように近隣の通所事業所から利用者を紹介していただいたことや、介護支援専門員と職員が連絡を取り、細かく利用者様の様子を報告することが出来たことにより信頼度が上がったのではないかと思います。

また、外部からのボランティアを呼べない状況の中、法人内の他事業所から応援によって、誕生会イベントを行ったり、営業を行う事が出来たことも要因と考えられます。
中身が変わり続けることを目標にトライ＆エラーを繰り返していきたいと思います。